

長崎県県政世論調査

—●●●●—

調査結果報告書

平成 25 年 3 月



- 目次 -

I	調査概要	1
II	調査結果	8
1.	日常生活の満足度など	9
	「日常生活の満足度」(問1・2)	9
	「今後の居住意向」(問3)	14
	「日常生活の優先順位」(問4)	15
2.	県の政策における満足度・政策の重要度	18
	「県の政策の満足度」(問5・6)	18
	「県の政策の重要度」(問7)	44
3.	個別施策に関する調査	47
	「雇用・産業振興」(問8～12)	47
	「人材の育成・活用について」(問13～15)	52
	「地域コミュニティの活性化について」(問16・17)	55
	「福祉・保健・医療について」(問18～20)	57
	「防災対策について」(問21・22)	60
	「県の職員について」(問23)	62
付録	アンケート調査票	63

I 調査概要

(1) 調査概要

1. 調査目的

本調査は、県の政策に対する県民の満足度や、日常生活や意識の変化などを定期的に把握し、県政運営のための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象・地域

長崎県に居住する20歳以上の男女個人

3. 調査方法

郵送による自記入式調査

4. 標本抽出

各市町住民基本台帳による等間隔無作為抽出

5. 標本数・回収数

発送数：3,000

回収数：1,701（回収率56.7%）

6. 調査実施期間

平成24年10月26日（金）～11月13日（火）

7. 調査主体

長崎県総務部 県民センター

8. 報告書の見方

(1) 比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の計が100%にならないことがある。

(2) 基数となる実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。

(3) 1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

9. 分析における地域区分

集計データの地域別分析においては、県内を5地域に区分し、その地域特性等について考察を行った。地域区分については、以下のとおりとした。

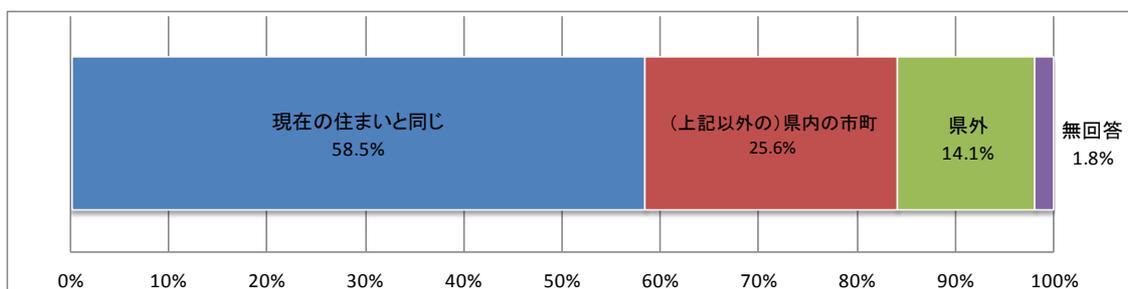
地域	市町
県南地域	長崎市、西海市、長与町、時津町
県央地域	諫早市、大村市
県北地域	佐世保市、平戸市、松浦市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町
島原半島地域	島原市、雲仙市、南島原市
離島地域	対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町

10. 回答者属性(基礎情報)

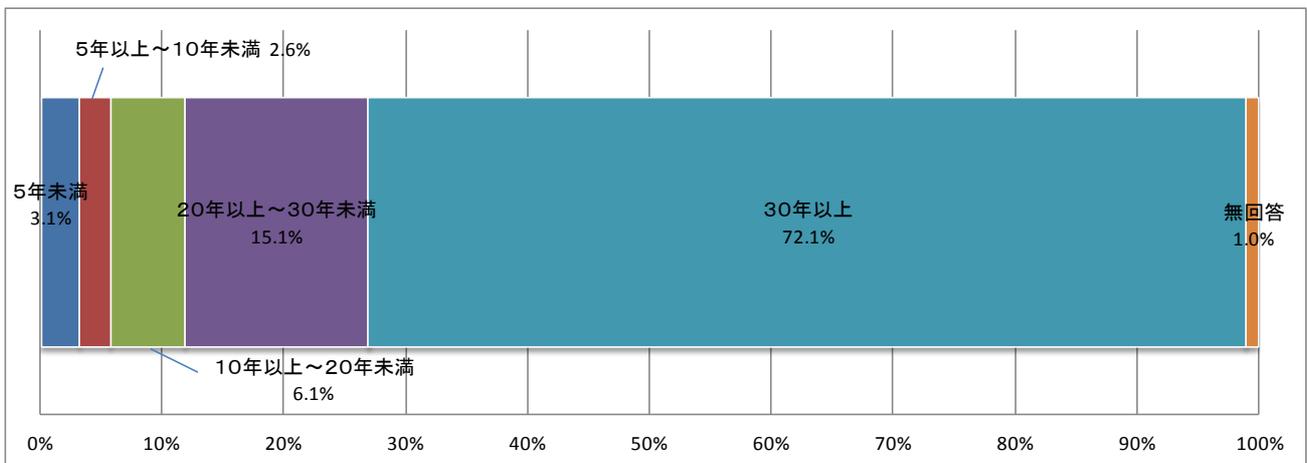
【居住地】 (n=1,701)

	現住所	回答数	構成比
(1)	長崎市	518	30.5%
(2)	佐世保市	307	18.0%
(3)	島原市	54	3.2%
(4)	諫早市	157	9.2%
(5)	大村市	97	5.7%
(6)	平戸市	37	2.2%
(7)	松浦市	28	1.6%
(8)	対馬市	38	2.2%
(9)	壱岐市	29	1.7%
(10)	五島市	53	3.1%
(11)	西海市	33	1.9%
(12)	雲仙市	55	3.2%
(13)	南島原市	70	4.1%
(14)	長与町	47	2.8%
(15)	時津町	34	2.0%
(16)	東彼杵町	19	1.1%
(17)	川棚町	26	1.5%
(18)	波佐見町	24	1.4%
(19)	小値賀町	10	0.6%
(20)	佐々町	21	1.2%
(21)	新上五島町	23	1.4%
	無回答	21	1.2%
	計	1701	100.0%

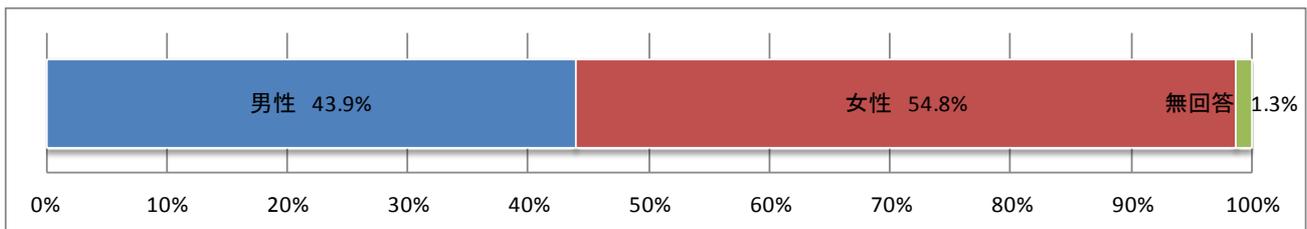
【出身地】 (n=1,701)



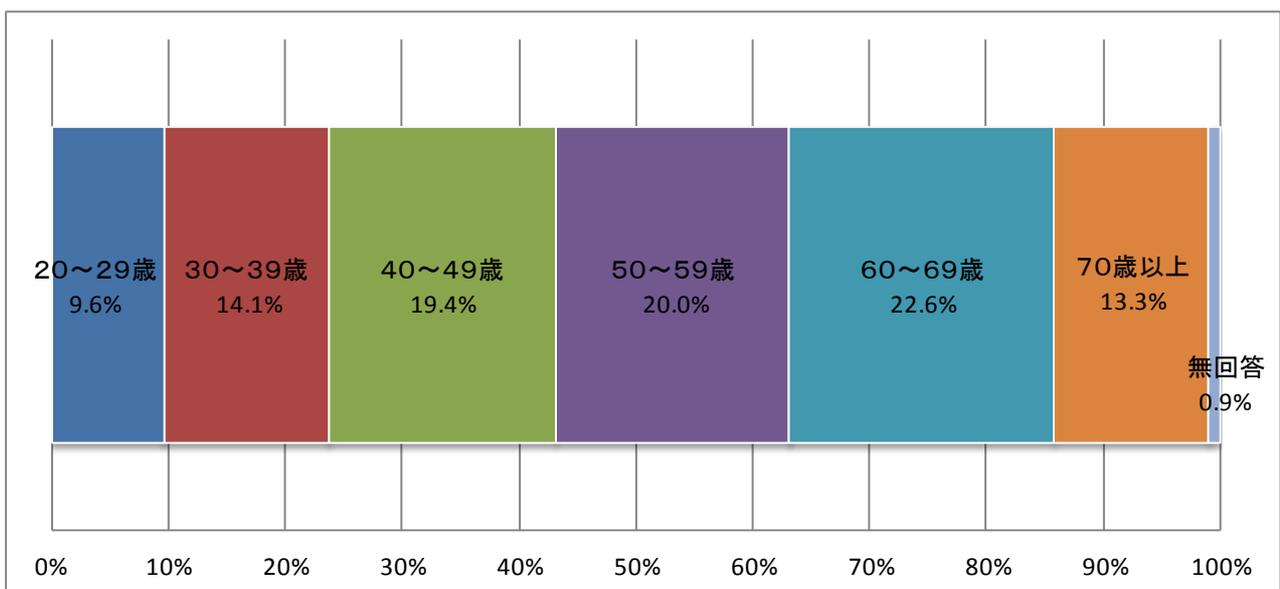
【居住年数】 (n=1,701)



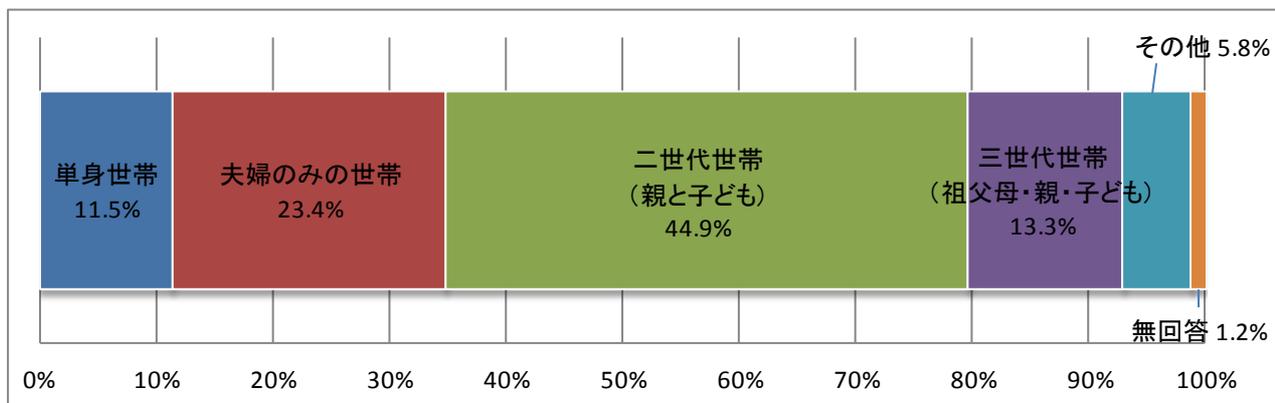
【性別】 (n=1,701)



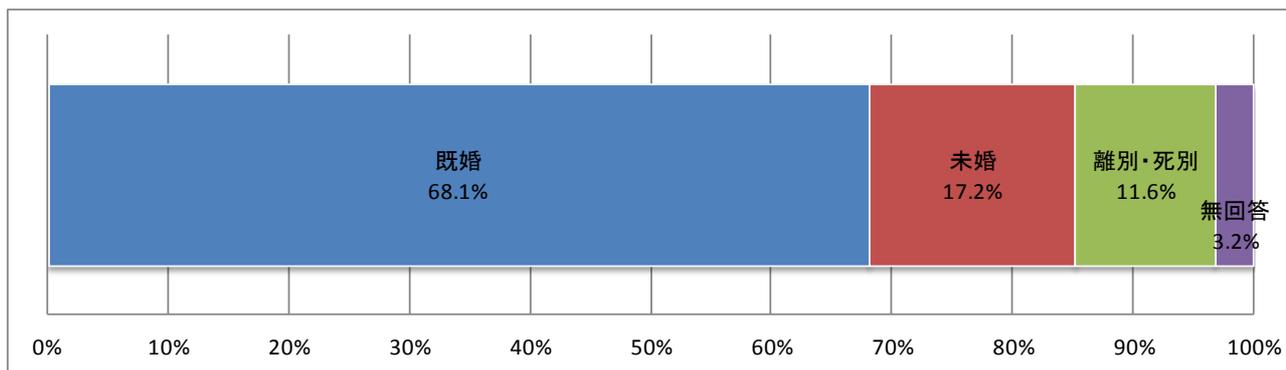
【年代】 (n=1,701)



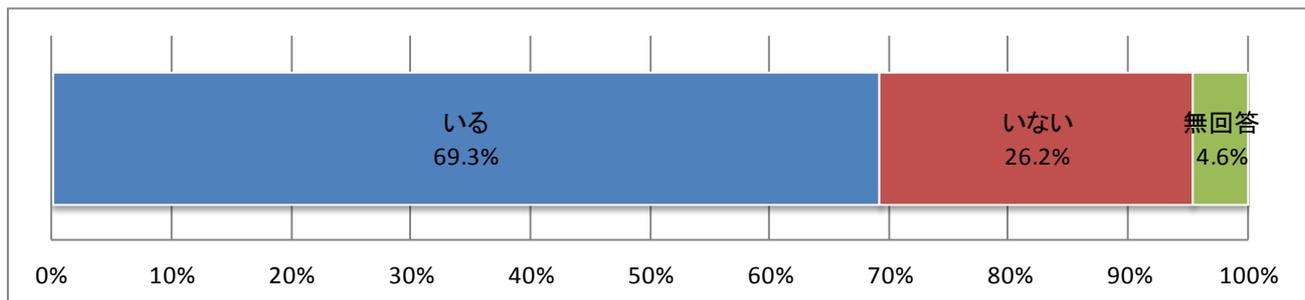
【世帯種別】 (n=1,701)



【婚姻状況】 (n=1,701)

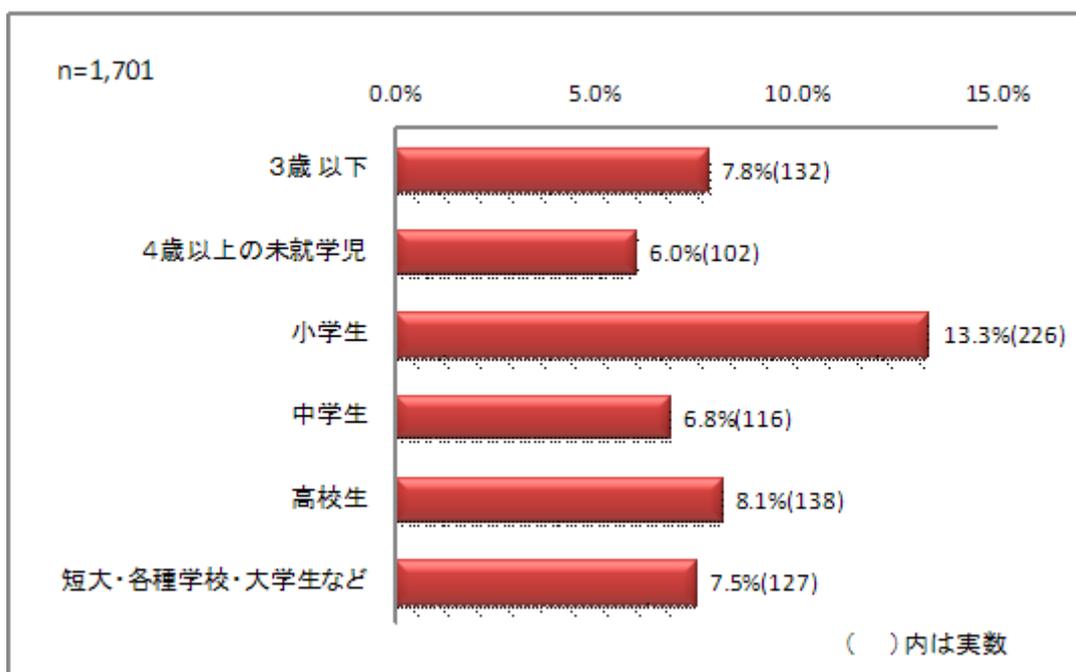


【子どもの有無】 (n=1,701)

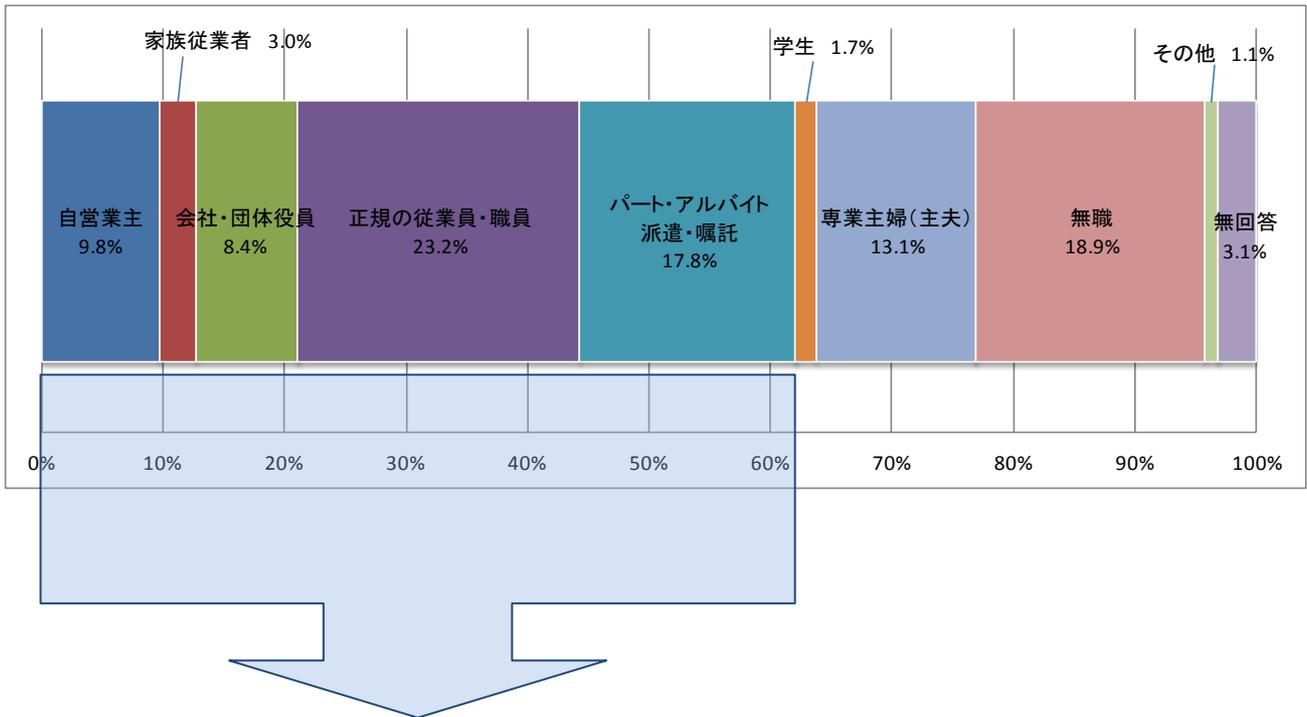


【同居している子どもの年代】 (n=1,701)

※同居している子どもの年代（下記に該当する方のみ）を調査した。＜該当するもの全てを回答＞

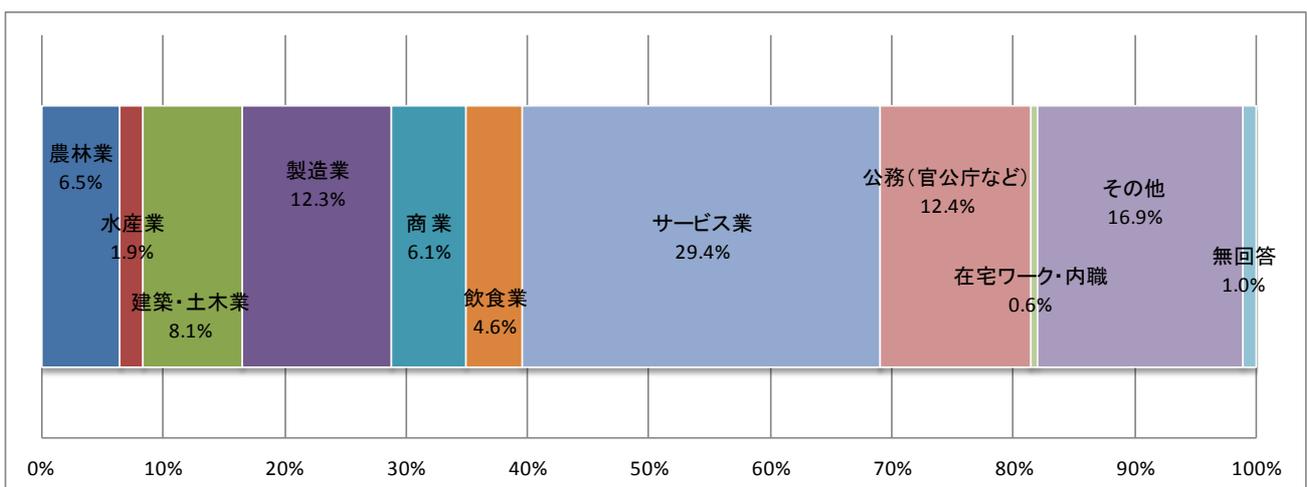


【職業】 (n=1,701)



【職種】 (n=1,057)

有職者（自営業主、家族従業者、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パート・アルバイト・派遣・嘱託）を母数とする。



II 調查結果

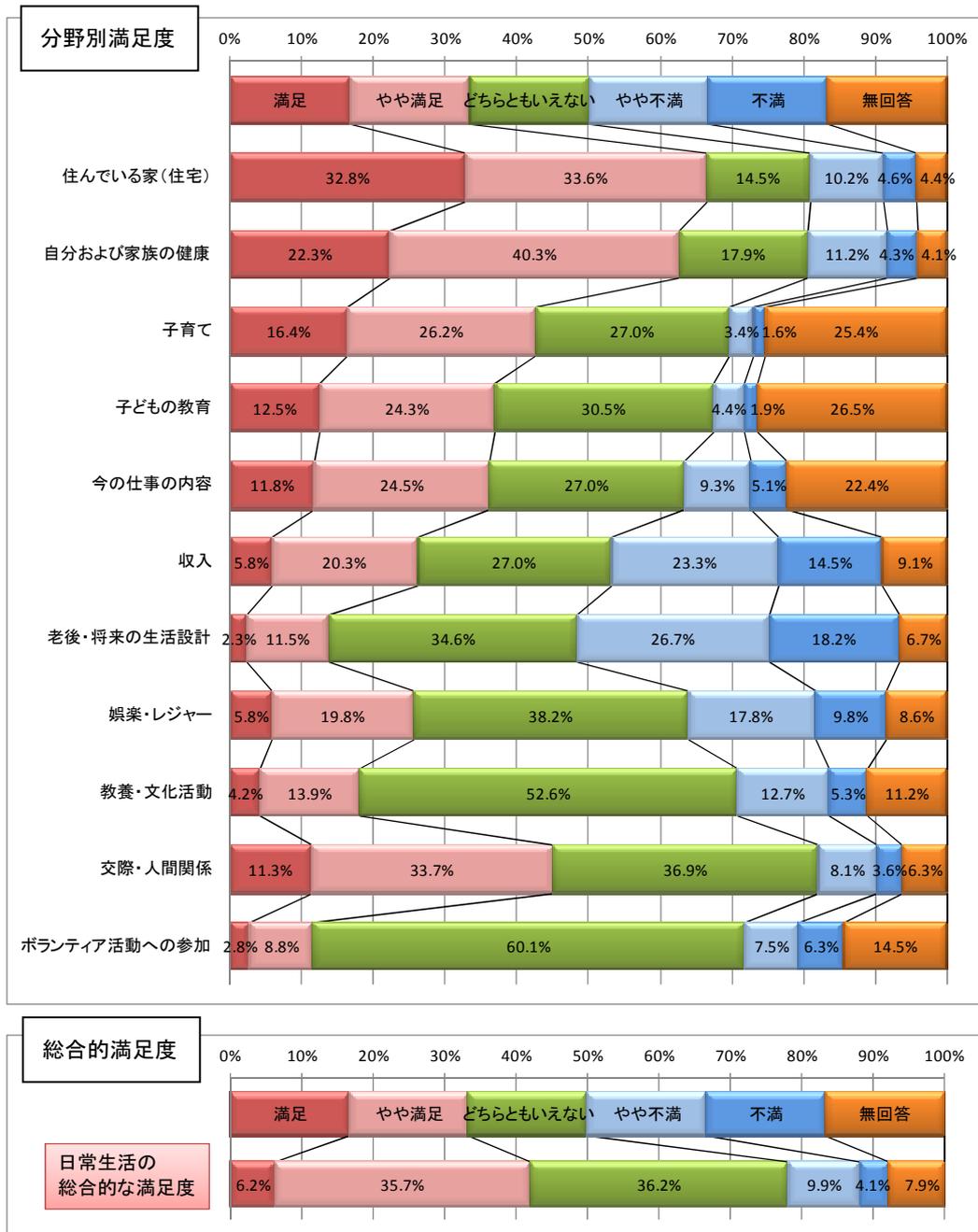
1. 日常生活の満足度など

[問 1・2]

日常生活についての満足度についてお聞きします。

(それぞれ該当するものに、1つ○印をつけてください。)

(全体：単純集計) n=1,701

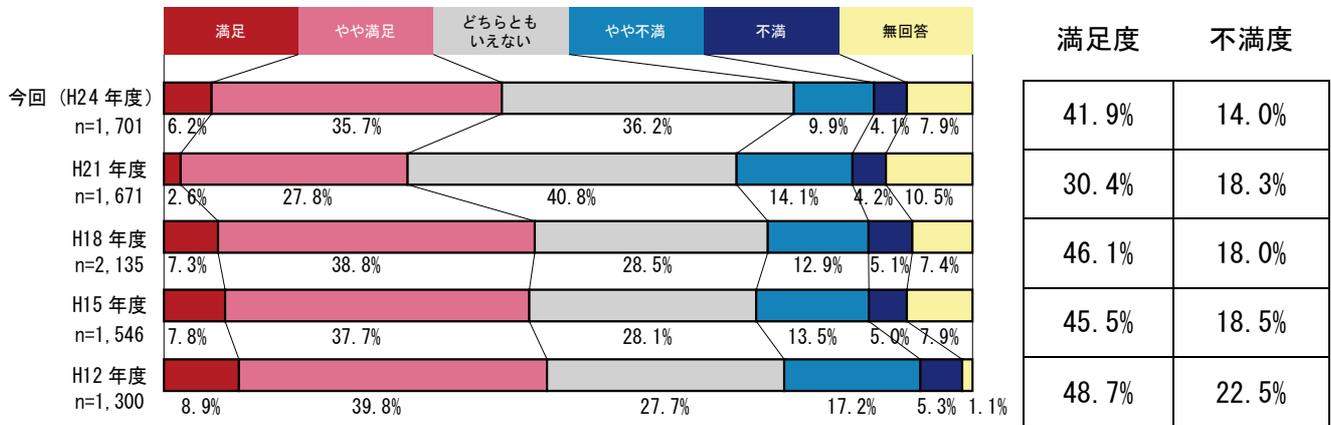


日常生活の総合的な満足度

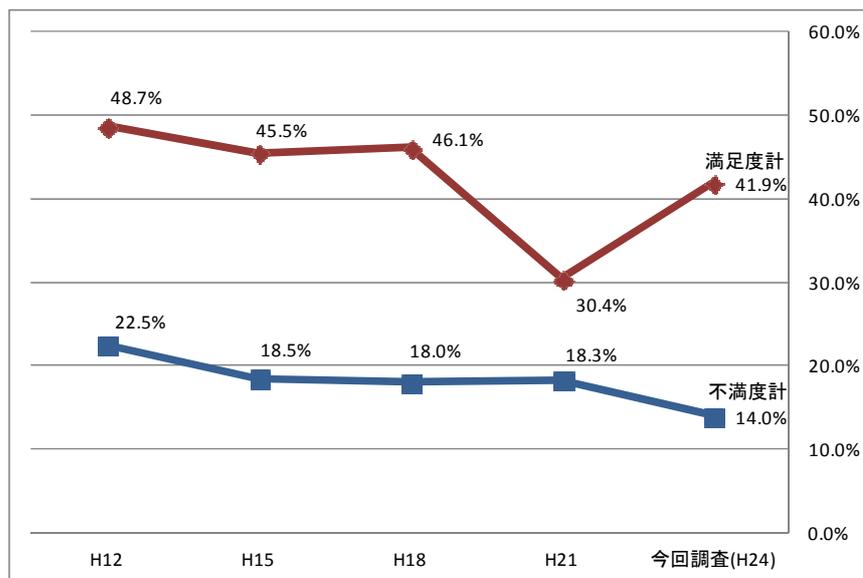
- 日常生活の総合的な満足度は、「満足」「やや満足」の合計（満足度）が 41.9%、「やや不満」「不満」の合計（不満度）が 14.0%と、満足度が不満度を大きく上回った。

[経年比較]

- 前回調査（平成 21 年度）と比較すると、満足度が 11.5 ポイント上昇、不満度は 4.3 ポイント低下した。これは、前回調査が世界同時金融危機以降の厳しい経済雇用情勢の中で行われ、調査当時、一時的に県民の満足度が低下していたことが変動要因と考えられる。
- 平成 12 年度からの経年変化をみると、満足度・不満度ともに低下傾向にあり、「どちらともいえない」が増加傾向にある。満足度の低下要因としては、依然として厳しい雇用情勢や先行きの見えない社会保障制度、人口減少や少子高齢化の進行など、日常生活全般に対する不安感が根強いことが考えられる。



[満足度計と不満度計の経年変化]

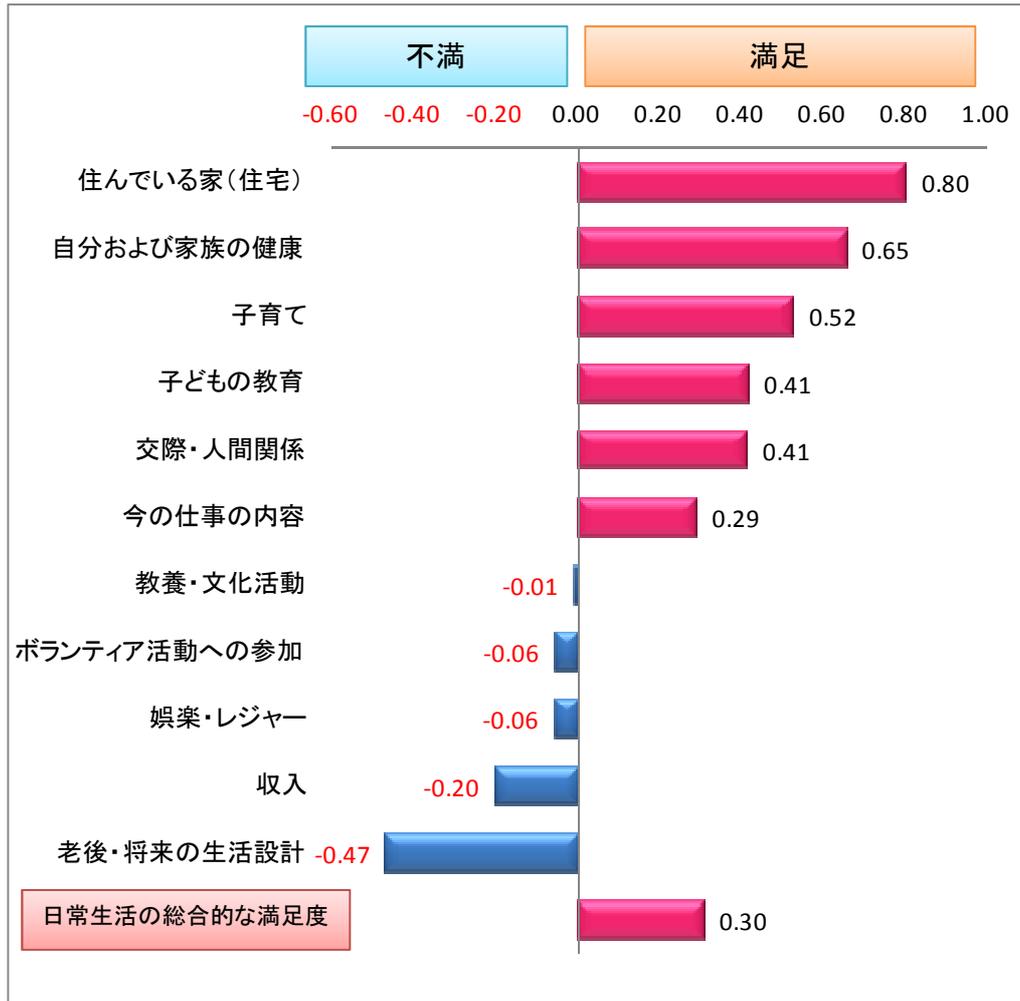


日常生活の満足度（分野別）

[指数化]

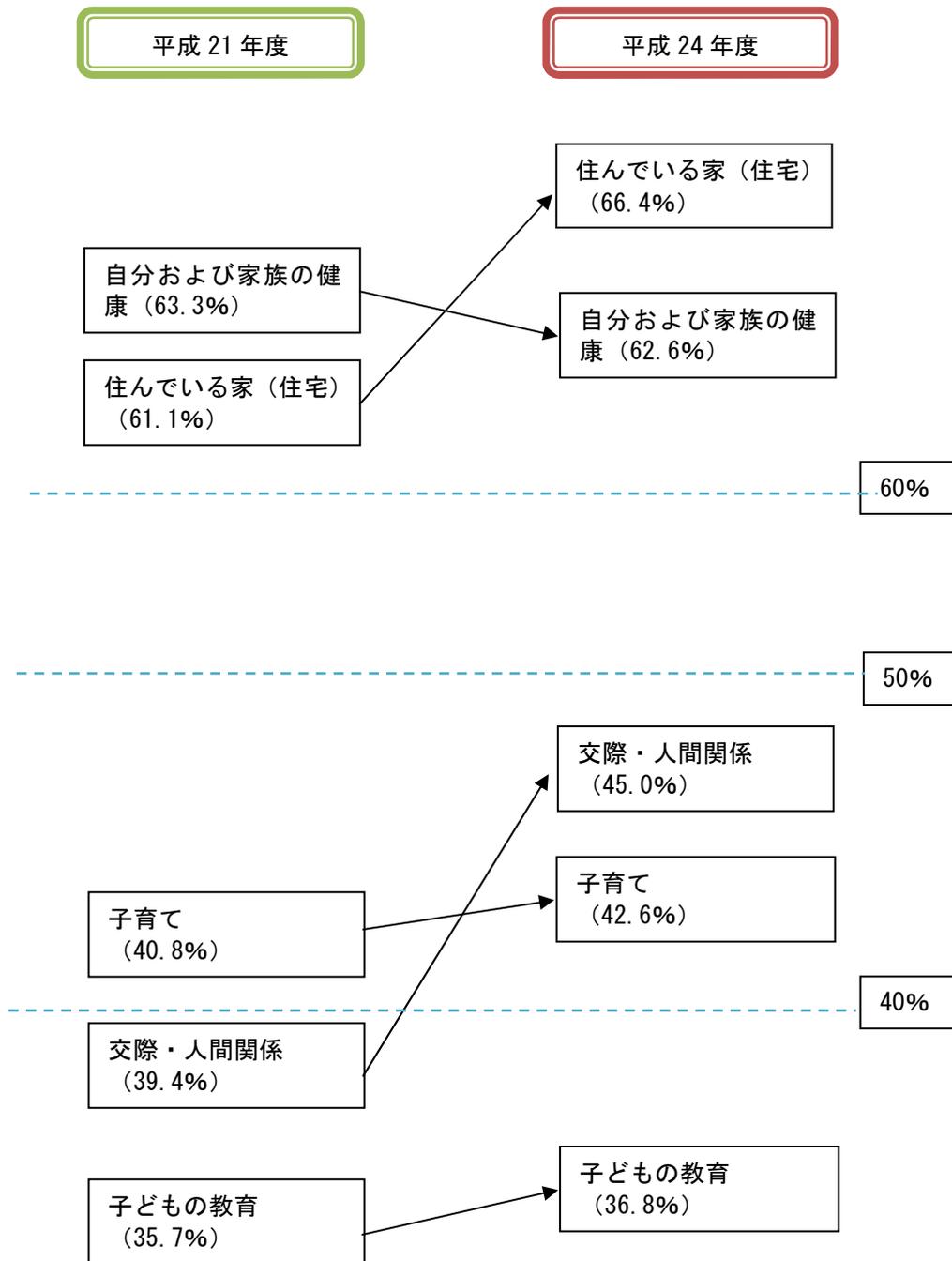
日常生活の満足度・不満度の総合的な傾向をみるため、分野毎に指数化し順位付けを行った。

満足=2、 やや満足=1、 やや不満=-1、 不満=-2



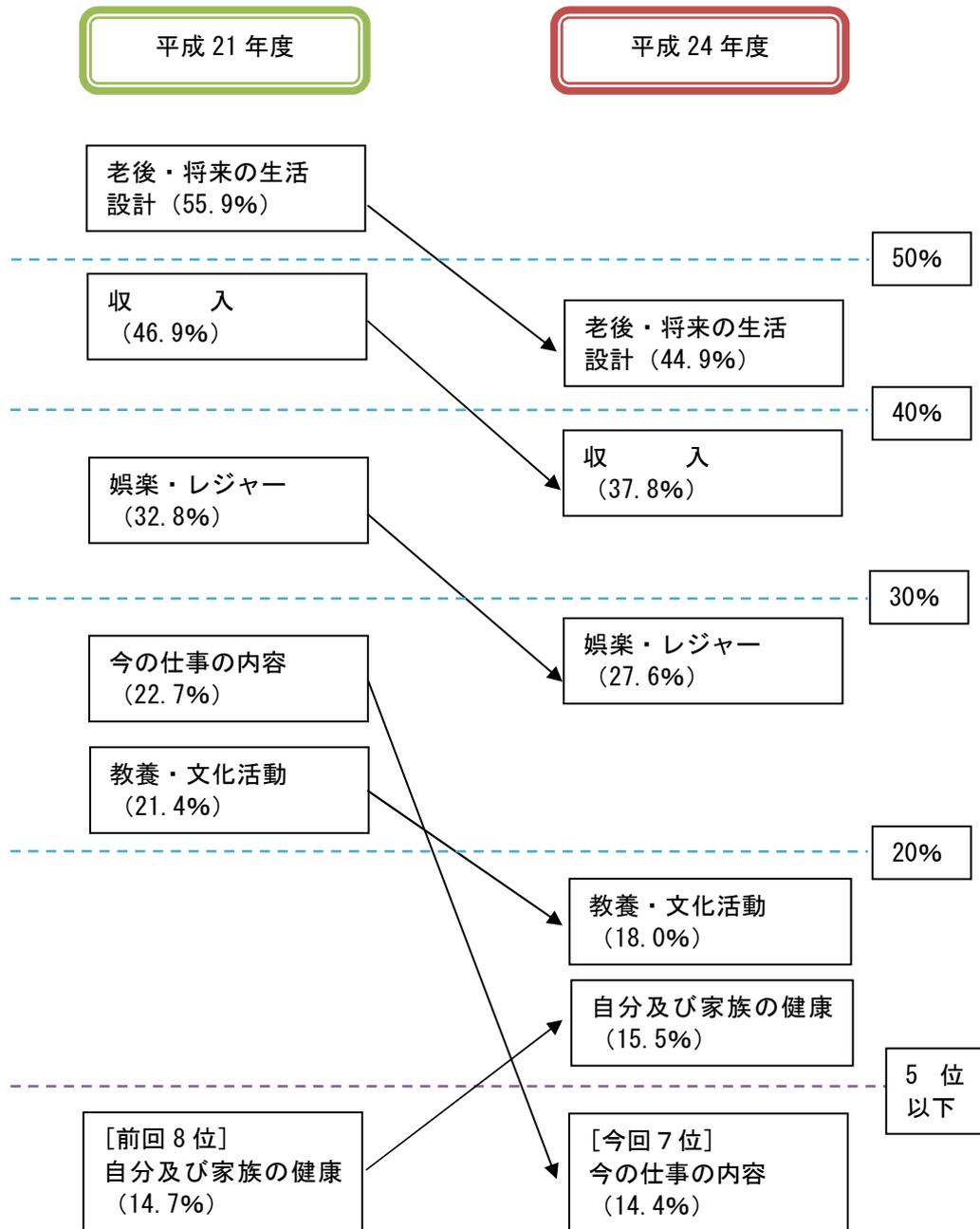
「住んでいる家（住宅）」や「自分及び家族の健康」、「子育て」では満足度が高い傾向が見られた。一方、「老後・将来の生活設計」、「収入」などで不満度が高い傾向が見られた。

「日常生活の満足度」上位項目の前回調査との比較



- ◆満足度上位5項目の経年変化では、順位に大きな変化はなく、満足度が全体的にやや上昇傾向にある。
- ◆満足度が最も高かったのは「住んでいる家 (住宅)」(66.4%) で、次いで、「自分および家族の健康」(62.6%) と、ともに満足度が6割を超えている。
- ◆この他、「交際・人間関係」(45.0%)、「子育て」(42.6%)などで比較的満足度が高くなっている。

「日常生活の不満度」上位項目の前回調査との比較

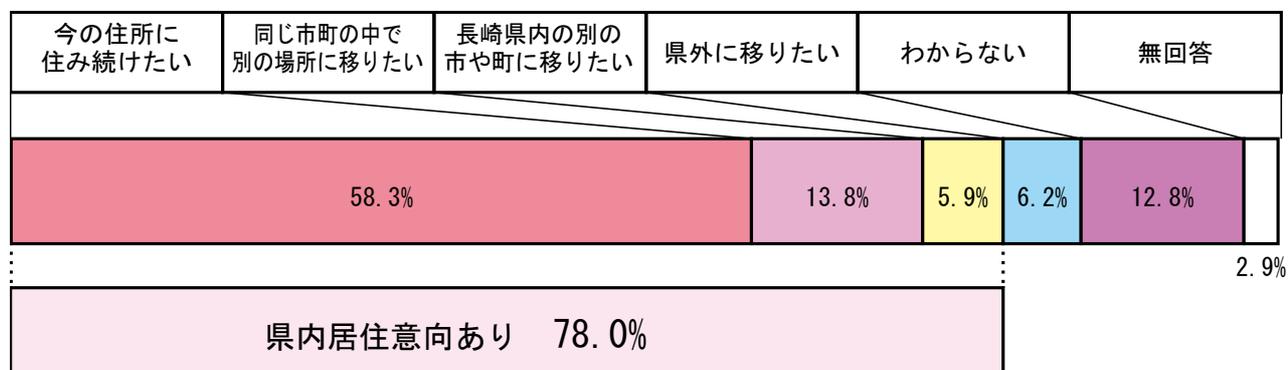


- ◆経年変化を見ると、順位に大きな変化はないが、全体的に不満度が減少傾向にあり、特に「老後・将来の生活設計」及び「収入」の不満度は10ポイント程度低下している。
- ◆「収入」の不満度は、20歳代で48.1%と特に高くなっている。
- ◆「老後・将来の生活設計」の不満度は、「パート・アルバイト・派遣・嘱託」が57.3%と最も高くなった。

[問 3] 今後の居住意向

あなたは、今後も現在の住所で暮らしたいと思いますか？

n=1,701



[全体]

- ・「今の場所に住み続けたい」が過半数を超える 58.3%となり、「同じ市町の中で別の場所に移りたい」、「長崎県内の別の市や町に移りたい」を合わせると 78.0%の人が今後の県内居住を希望している。
- ・一方、「県外に移りたい」は 6.2%となった。

[地域別]

- ・離島地域の県内居住意向(66.7%)は、他の地域と比べおよそ 10 ポイント低く、「県外に移りたい」(13.7%)の割合が他の地域より高い。
- ・島原半島地域と県北地域では、「今の住所に住み続けたい」が 6 割を超え、他の地域よりやや多い。

[性別]

- ・男性、女性ともほぼ同様の結果であり、性別による際立った傾向は見られない。

[年代別]

- ・年代が高いほど、「今の場所に住み続けたい」とする割合が多くなっている。
- ・20 歳代では、「今の場所に住み続けたい」が 31.7%にとどまり、同じ市町内の別の場所や県内の他の市町、県外への移住希望者が他の年代に比べやや多くなっている。

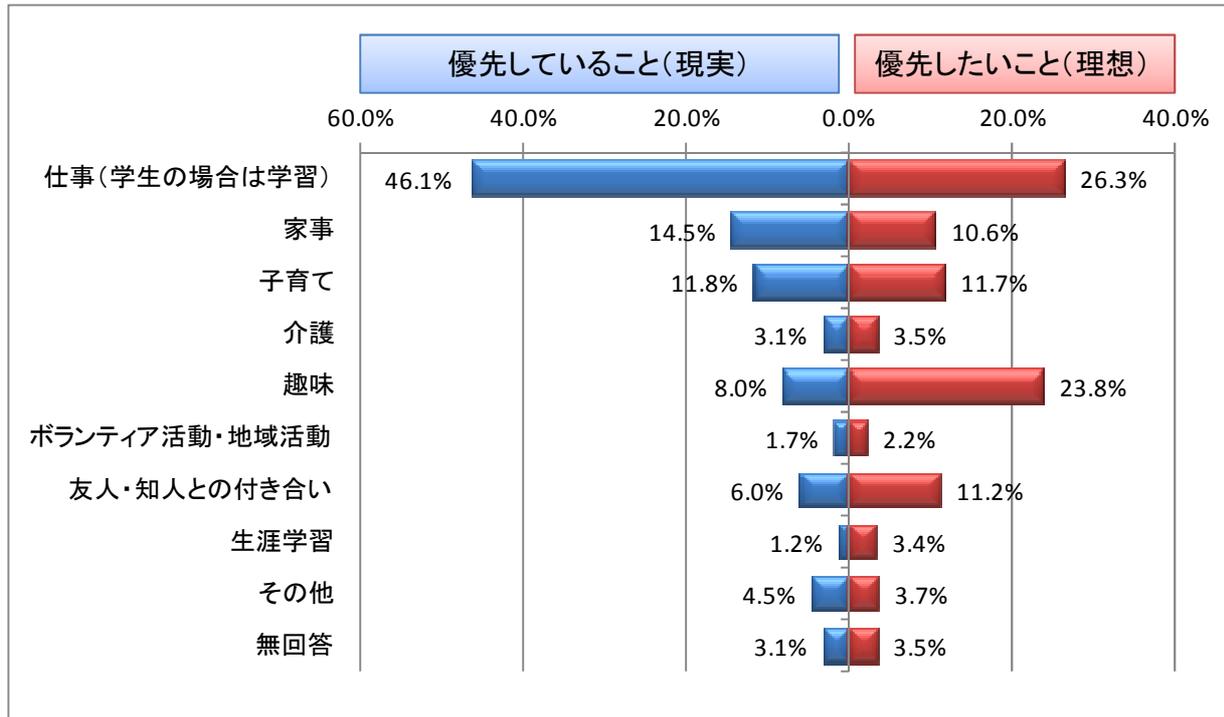
(日常生活の優先順位について)

[問 4] 日常生活（日常生活の優先順位）

あなたの日常生活についてお聞きします。

- (1) 現在、あなたが一番優先していることは何ですか？
- (2) 今後の希望として、あなたが一番優先したいことは何ですか？

n=1,701



[全体]

- ◆ 優先していること（現実）
 - ・「仕事」（46.1%）が最も多く、次いで、「家事」（14.5%）、「子育て」（11.8%）となった。
- ◆ 優先したいこと（理想）
 - ・「仕事」（26.3%）が最も多く、次いで、「趣味」（23.8%）、「子育て」（11.7%）と続いている。
- ◆ 優先したいことの理想と現実のギャップ（理想－現実）
 - ・「仕事」（▲19.8%）や「家事」（▲3.9%）の時間を減らし、「趣味」（+15.8%）や「友人・知人との付き合い」（+5.2%）を優先したいという傾向が見られる。

[地域別]

- ◆ 優先していること（現実）
 - ・全体の傾向と同様、全ての地域で「仕事」が最も多く、次いで、「家事」、「子育て」の順となっている。
- ◆ 優先したいこと（理想）
 - ・県南・県北地域以外で「仕事」が最も多く、次いで、「趣味」となった。県南・県北地域では、「趣味」が最も多く、次いで「仕事」となった。
- ◆ 優先したいことの理想と現実のギャップ（理想－現実）
 - ・島原半島地域では、「仕事」（▲24.0%）のギャップが他地域より高く、離島地域では、「仕事」（▲13.7%）のギャップが他地域より低くなっている。

【性別】

◆優先していること（現実）

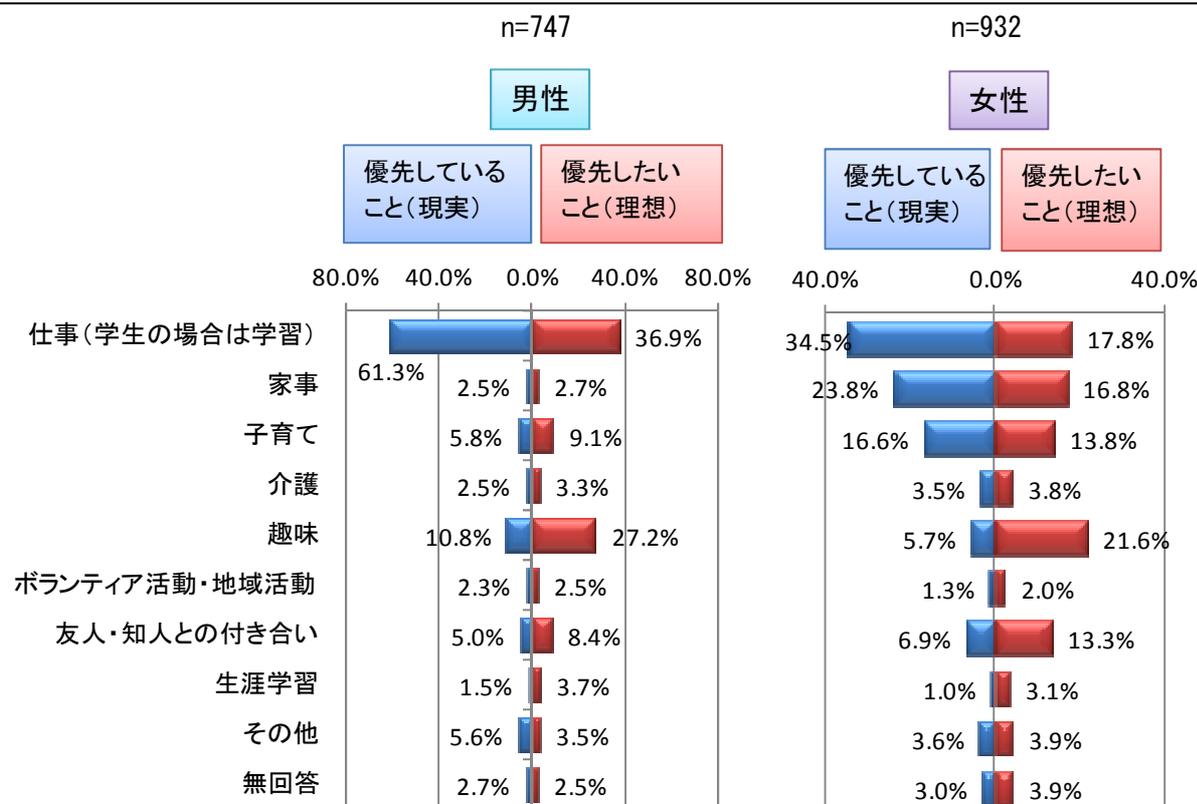
- ・男性・女性ともに「仕事」が最も多く、男性では6割を超えている。女性は「仕事」（34.5%）に加え、「家事」（23.8%）や「子育て」（16.6%）を優先している割合が高い。

◆優先したいこと（理想）

- ・男性では「仕事」（36.9%）及び「趣味」（27.2%）が大きく他を引き離している。女性では、「趣味」（21.6%）が最も多く、次いで、「仕事」（17.8%）、「家事」（16.8%）、「子育て」（13.8%）、「友人・知人との付き合い」（13.3%）となっている。

◆優先したいことの理想と現実のギャップ（理想－現実）

- ・男性では、「仕事」（▲24.4%）の時間を減らし、「趣味」（+16.4%）や「友人・知人との付き合い」（+3.4%）、「子育て」（+3.3%）などを、女性では、「仕事」（▲16.7%）、「家事」（▲7.0%）、「子育て」（▲2.8%）の時間を減らし、「趣味」（+15.9%）や「友人・知人との付き合い」（+6.4%）などを優先させたいとの傾向が見られる。



【年代別】

◆優先していること（現実）

- ・20～60歳代では「仕事」が最も多く、70歳代では「家事」（27.4%）が最も多くなっている。

◆優先したいこと（理想）

- ・20歳代、40～50歳代では「仕事」が最も多く、30歳代では「子育て」（36.7%）が最も多くなっている。60歳以上では「趣味」（60歳代:30.7%、70歳以上:25.2%）が最も多くなっている。

◆優先したいことの理想と現実のギャップ（理想－現実）

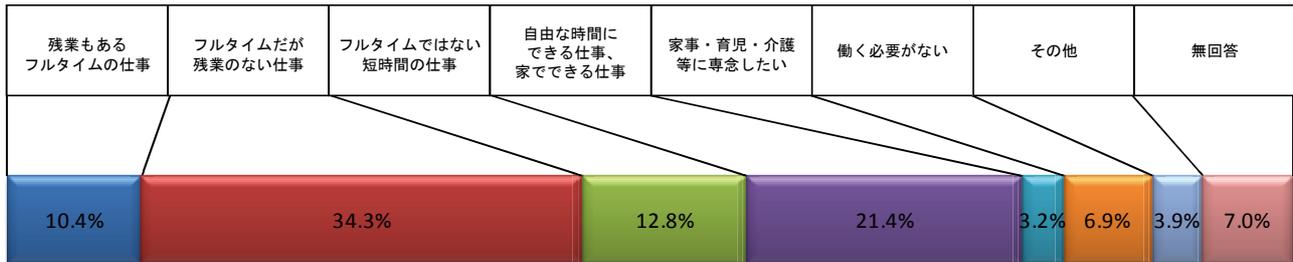
- ・50歳代では、「仕事」（▲29.6%）の時間を減らし、「趣味」（+26.7%）を優先させたいとの傾向が強くなっている。

[問 4] 日常生活（理想とする働き方）

あなたの日常生活についてお聞きします。

（3）現在の家族構成において、今の仕事の内容にかかわらず、あなたが理想とする働き方はどのようなものですか？

n=1,701



[全体]

- ・「フルタイムだが残業のない仕事」が 34.3% で最も多くなっている。次いで、「自由な時間に行える仕事」（21.4%）、「フルタイムではない短時間の仕事」（12.8%）と続いている。

[地域別]

- ・全ての地域で「フルタイムだが残業のない仕事」が最も多くなっている。島原半島地域では 40.8% と他の地域に比べやや高くなった。
- ・離島地域では、「残業もあるフルタイムの仕事」（4.6%）が他の地域に比べ低く、「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」（28.1%）がやや高くなっている。

[性別]

- ・男性では「フルタイムだが残業のない仕事」（41.9%）が最も多く、次いで「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」（18.6%）、「残業もあるフルタイムの仕事」（16.6%）となっている。
- ・女性では、「フルタイムだが残業のない仕事」（28.8%）が最も多く、次いで「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」（23.5%）、「フルタイムではない短時間の仕事」（18.2%）となっている。

[年代別]

- ・20歳～50歳代で、「フルタイムだが残業のない仕事」が最も多くなっており、若い年代ほど、その割合が高くなっている。
- ・年代が高くなるとともに、「フルタイムだが残業のない仕事」の割合は減少傾向となり、「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」の割合が増加傾向となっている。

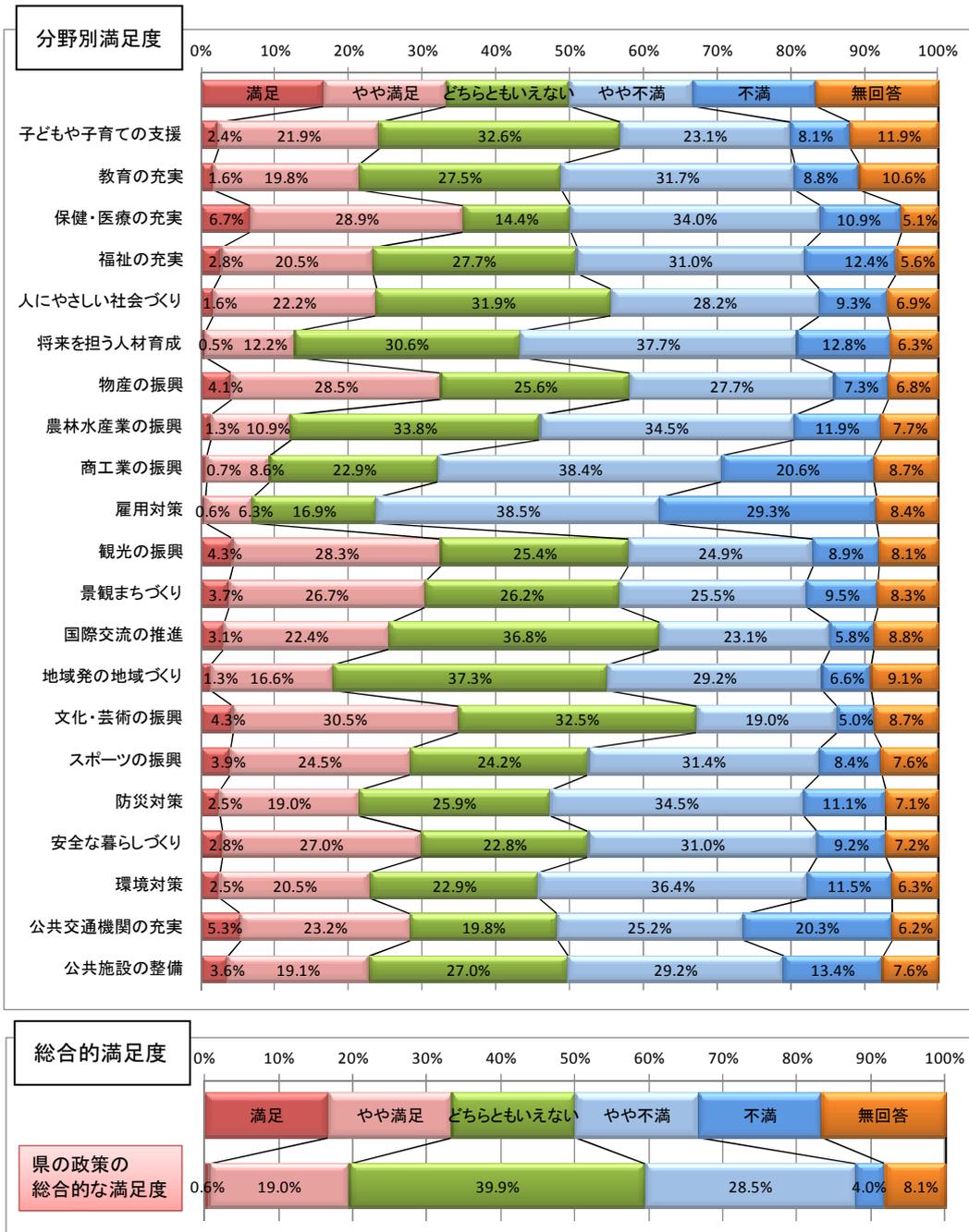
[職業別]

- ・「フルタイムだが残業のない仕事」は、学生（69.0%）、正規の従業員・職員（59.0%）、会社・団体役員（55.9%）が多い。
- ・「自由な時間に行える仕事、家でできる仕事」は、自営業者（42.4%）、家族従業者（39.2%）、専業主婦・主夫（34.1%）が多い。

2. 県の政策における満足度・政策の重要度

[問 5~6] 県の政策の満足度

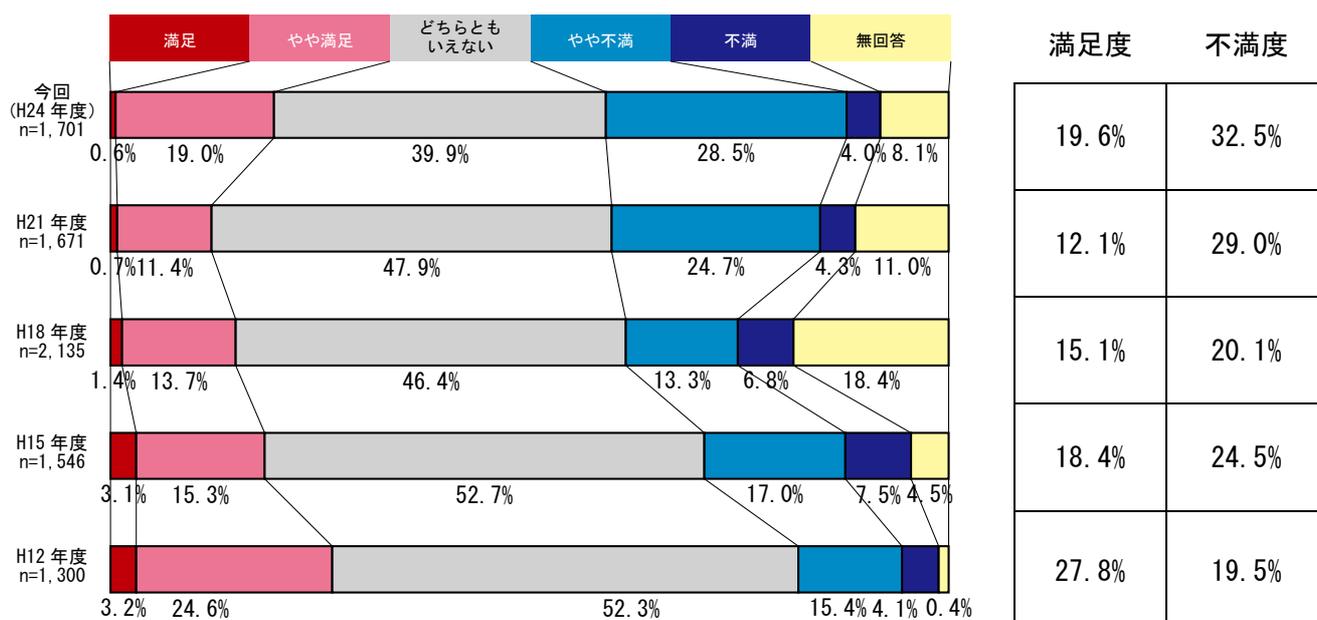
あなたが現在感じている【満足度】を1つだけ選んで○印をつけて下さい。



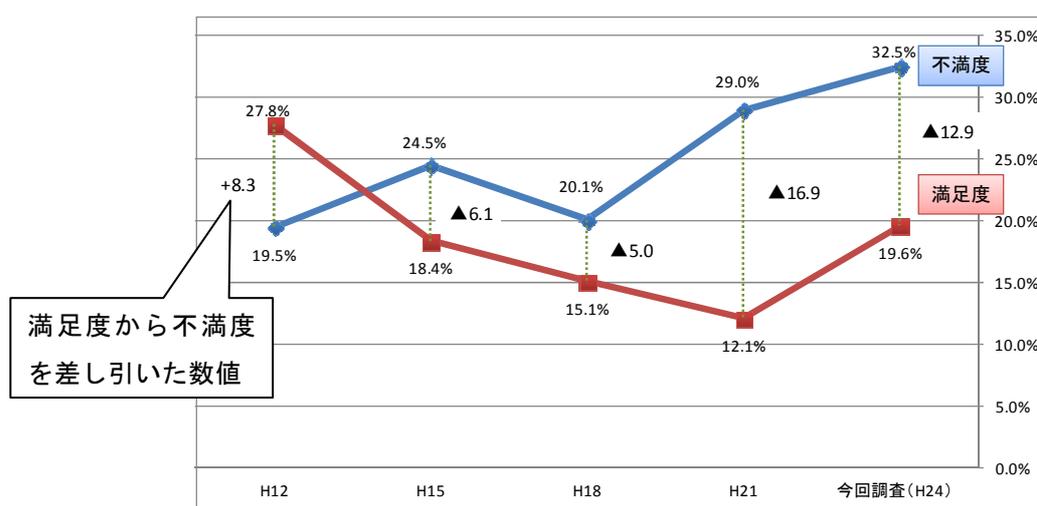
県の政策の総合的な満足度

[県の政策の総合的な満足度の経年変化]

- ・調査開始以来、3回連続で低下していた満足度が、前回調査より7.5ポイント増加した。一方、不満度も3.5ポイント増加している。
- ・なお、満足度から不満度を差し引いた数値は▲12.9ポイントとなり、前回（平成21年度）調査時点の差▲16.9ポイントからは改善している。



[満足度計と不満度計の経年変化]



[地域別・性別・年代別]

- ・地域別、性別では大きな特徴は見られなかったが、年代別に見ると、“20～29歳”で満足度（13.4%）が他の年代よりもやや低く、不満度（38.4%）が高くなった。“70歳以上”では満足度（26.1%）が高く、不満度（19.0%）が低くなった。

県の政策の満足度（分野別）

[指数化]

県の政策の満足度・不満度の総合的な傾向をみるため、分野毎に指数化し順位付けを行った。

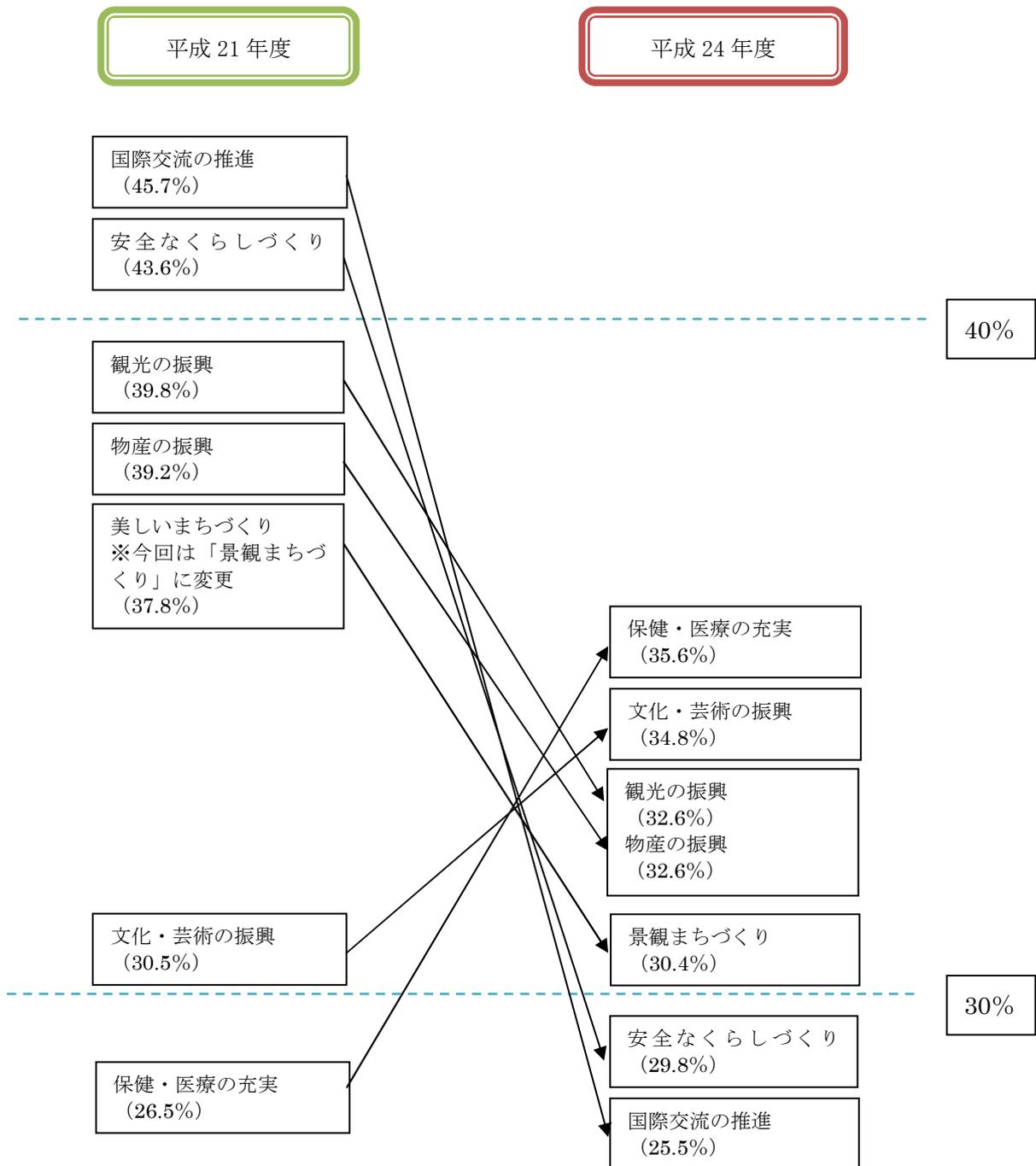
満足=2、 やや満足=1、 やや不満=-1、 不満=-2



「文化・芸術の振興」を除き、各分野で不満傾向が見られた。

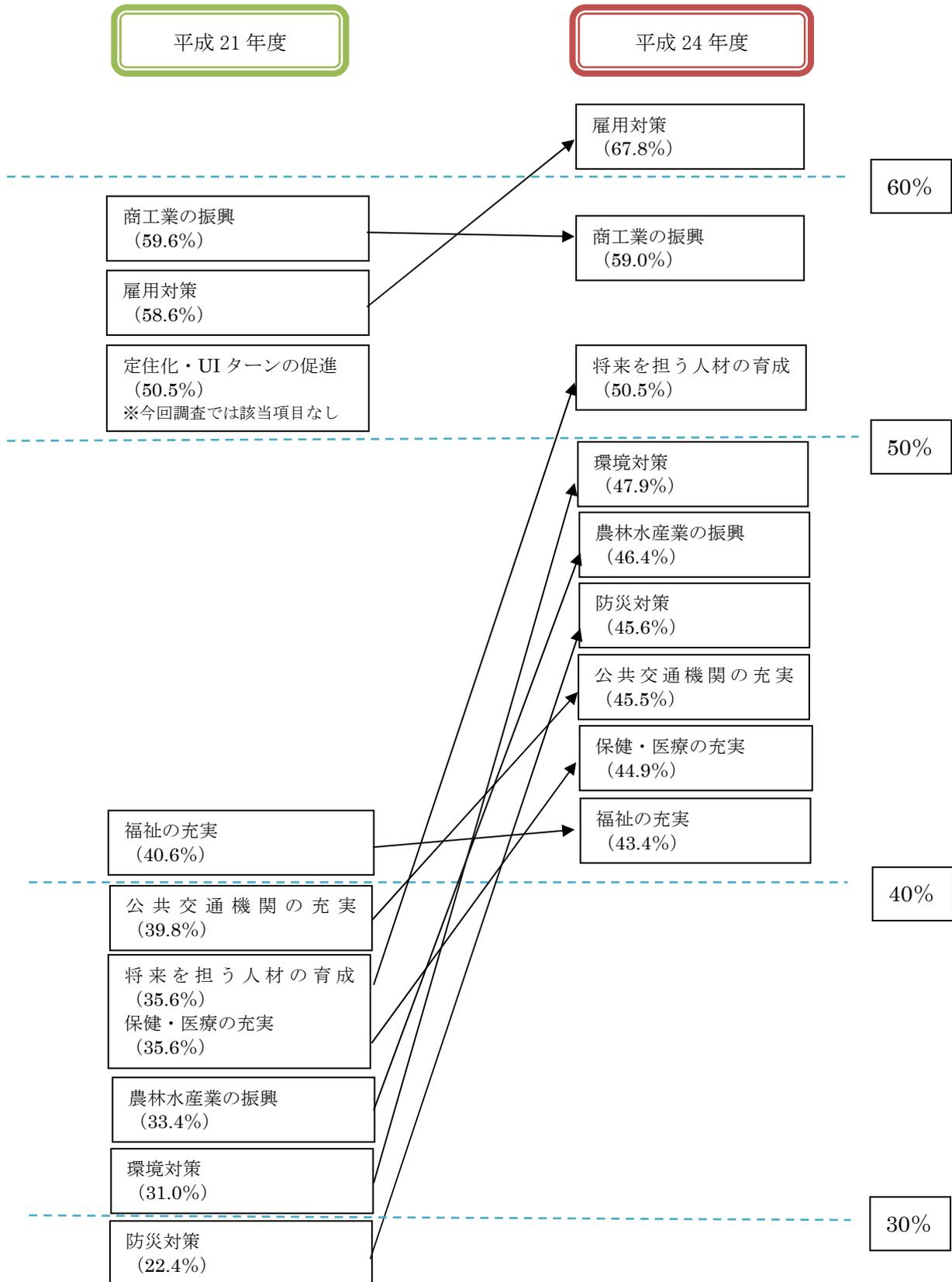
特に、「雇用対策」（-0.90）や「商工業の振興」（-0.70）は不満度が高くなっている。

「県の政策の満足度」（満足・やや満足の合計）上位項目の前回調査との比較



- ◆ 「保健・医療の充実」、「文化・芸術の振興」の満足度が増加している。
- ◆ 「国際交流の推進」、「安全なくらしづくり」は、10ポイント以上低下している。

「県の政策の不満度」（不満・やや不満の合計）上位項目の前回調査との比較



◆前回調査と同様に「雇用対策」、「商工業の振興」の不満度が高く、「雇用対策」は9.2ポイント増加している。

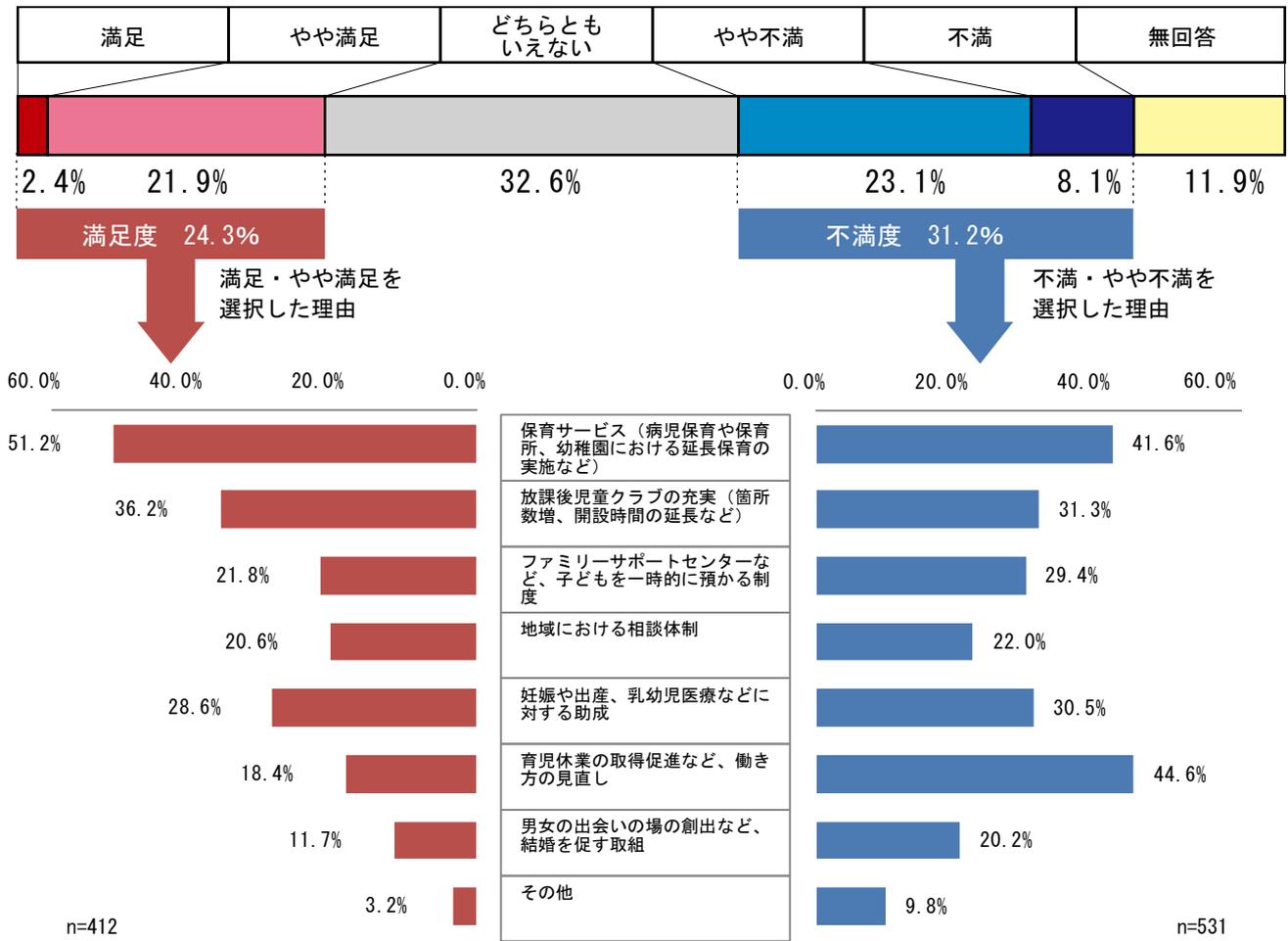
[問 5 詳細]

県の政策における分野ごとの満足度について尋ねた。

①はじめに、次の1から21までの分野ごとに、あなたが現在感じている【満足度】を1つだけ選んで○印をつけて下さい。

②また、そう感じる理由や背景を【取組の内容】から選んで、あてはまるものに3つまで○印をつけて下さい。

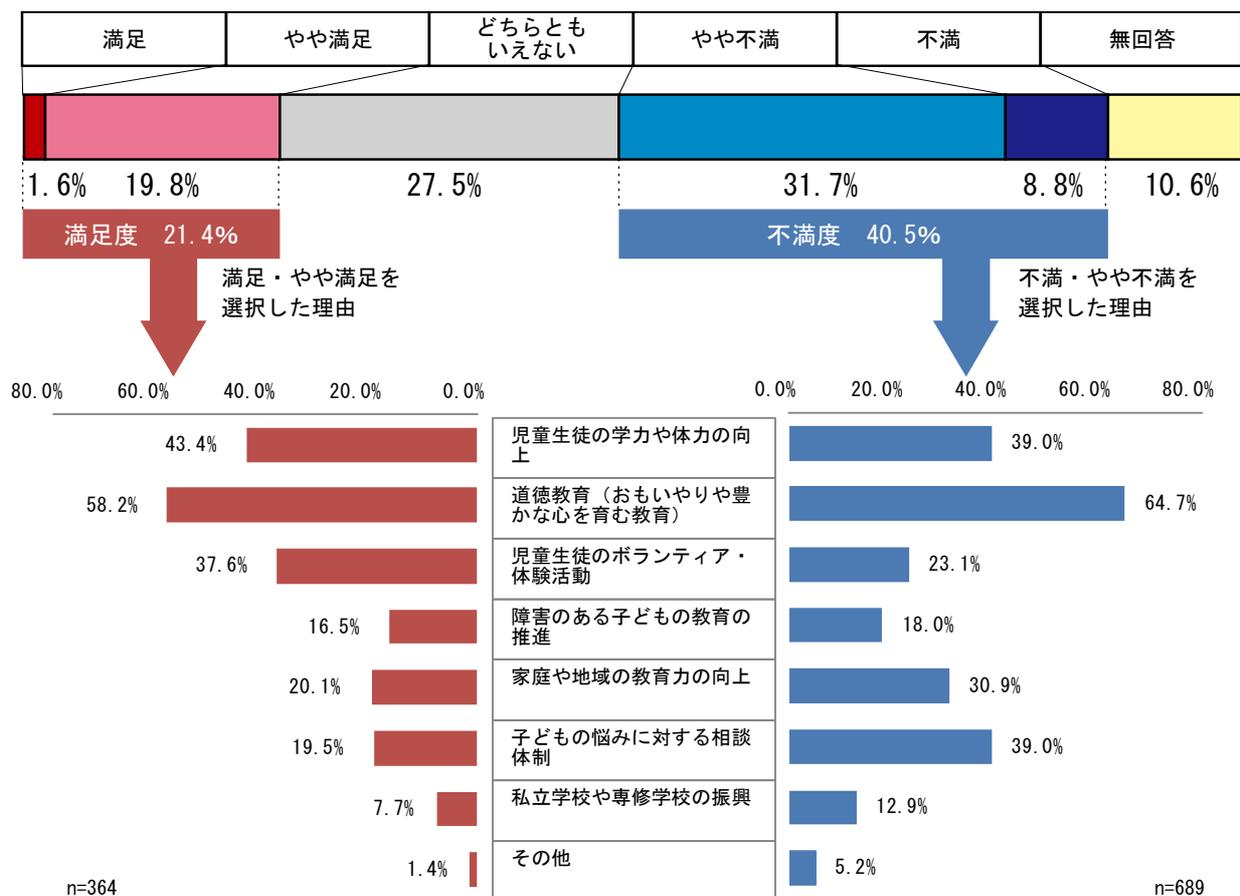
[5-1] 子どもや子育ての支援



【分析結果】

- ・ 不満度（31.2%）が満足度（24.3%）を 6.9 ポイント上回ったが、島原半島地域では、満足度（30.7%）が不満度（25.1%）を上回っている。
- ・ 不満度は 30 歳代（39.6%）で最も高く、60 歳以上の年代では低くなっている（60 歳代：26.6%、70 歳代：15.5%）。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「保育サービス」が最も多かったが、20～30 歳代では「妊娠や出産、乳幼児医療などに対する助成」の割合も多い。（20 歳代：41.9%、30 歳代：45.0%）
- ・ 不満度の要因をみると、全体では「育児休業の取得促進など、働き方の見直し」が最も多く、特に、20 歳代（63.6%）が多い。「保育サービス（病児保育所、幼稚園における延長保育の実施など）」については、30 歳代（53.7%）が最も多くなっている。

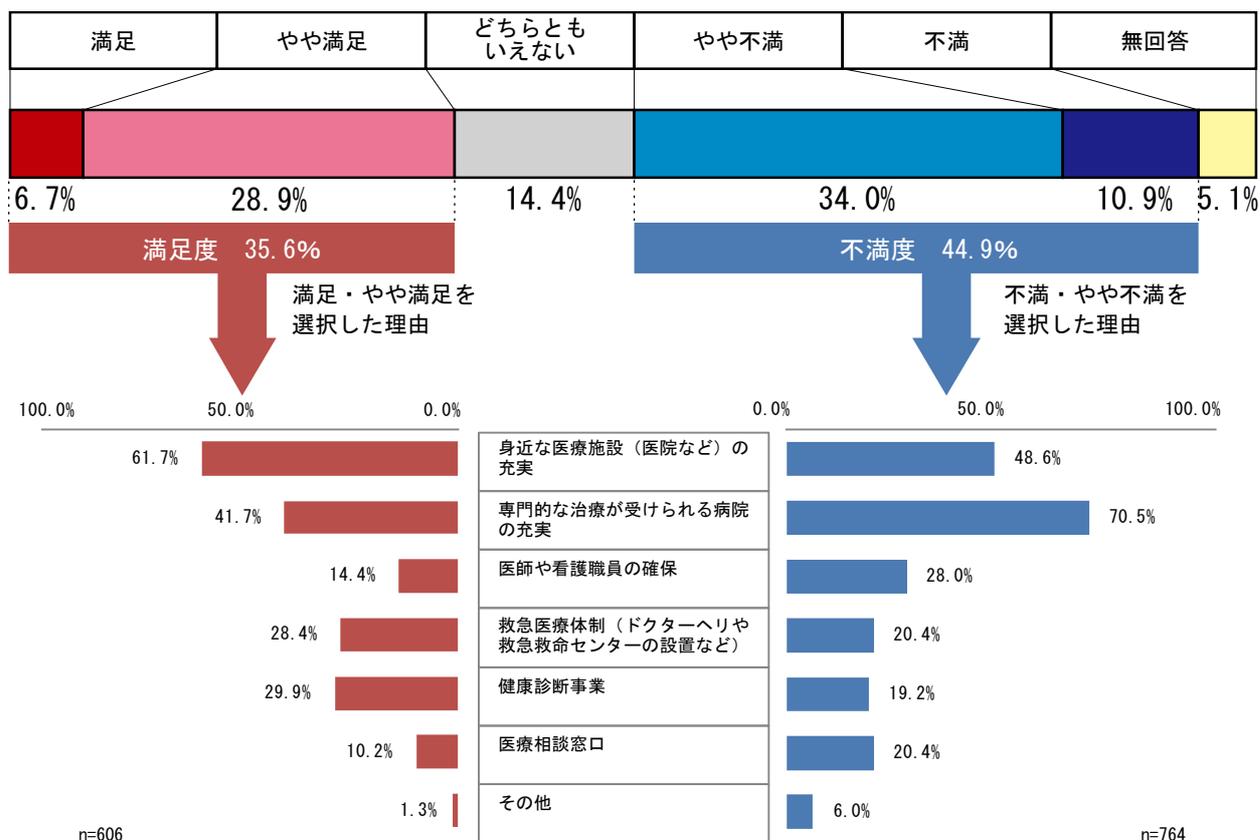
[5-2] 教育の充実



【分析結果】

- ・ 不満度（40.5%）が満足度（21.4%）を19.1ポイント上回った。
- ・ 島原半島地域では、他の地域に比べて満足度（26.3%）が高い。性別では、男性（44.0%）の不満度が女性（37.9%）に比べて高くなっており、年代別では、40歳代で満足度（25.7%）、不満度（49.7%）ともに他の年代より高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「道徳教育」が最も多かったが、40歳代では「児童生徒の学力や体力の向上」（50.6%）が最も多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、満足度の要因と同様に「道徳教育」が最も多かったが、40歳代では「児童生徒の学力や体力の向上」（55.5%）が最も多くなっている。

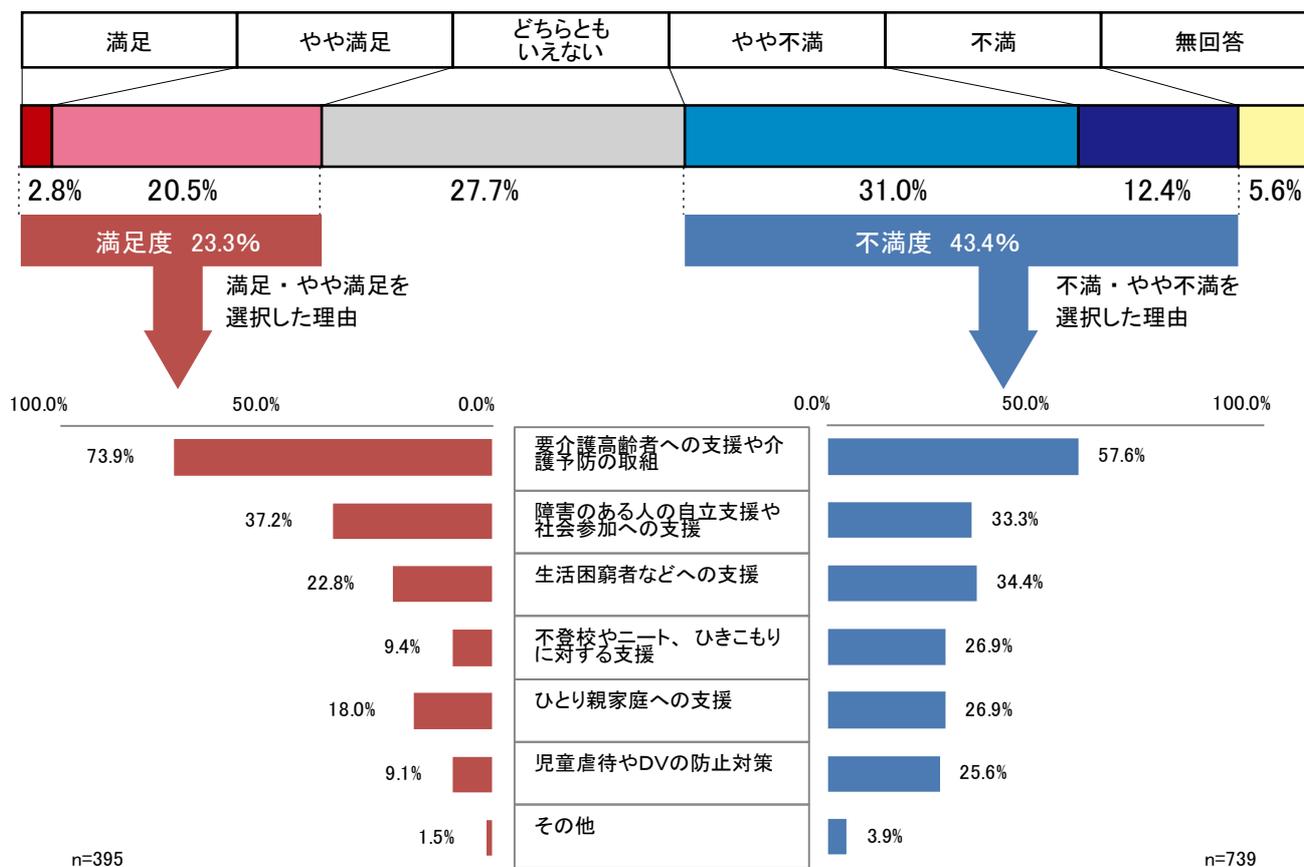
[5-3] 保健・医療の充実



【分析結果】

- ・ 不満度 (44.9%) が満足度 (35.6%) を 9.3 ポイント上回ったが、県央地域は、満足度 (48.8%) が不満度 (33.5%) を上回っている。また、60 歳以上の年齢層で満足度が高く (60 歳代 : 39.0%、70 歳以上 : 44.7%)、70 歳以上の年代では満足度 (44.7%) が不満度 (30.1%) を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「身近な医療施設 (医院など) の充実」が最も多く、特に 20 ~50 歳代の割合が多くなっている。(20 歳代 : 73.6%、30 歳代 : 67.9%、40 歳代 : 64.0%)
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「専門的な治療が受けられる病院の充実」が最も多くなっている。

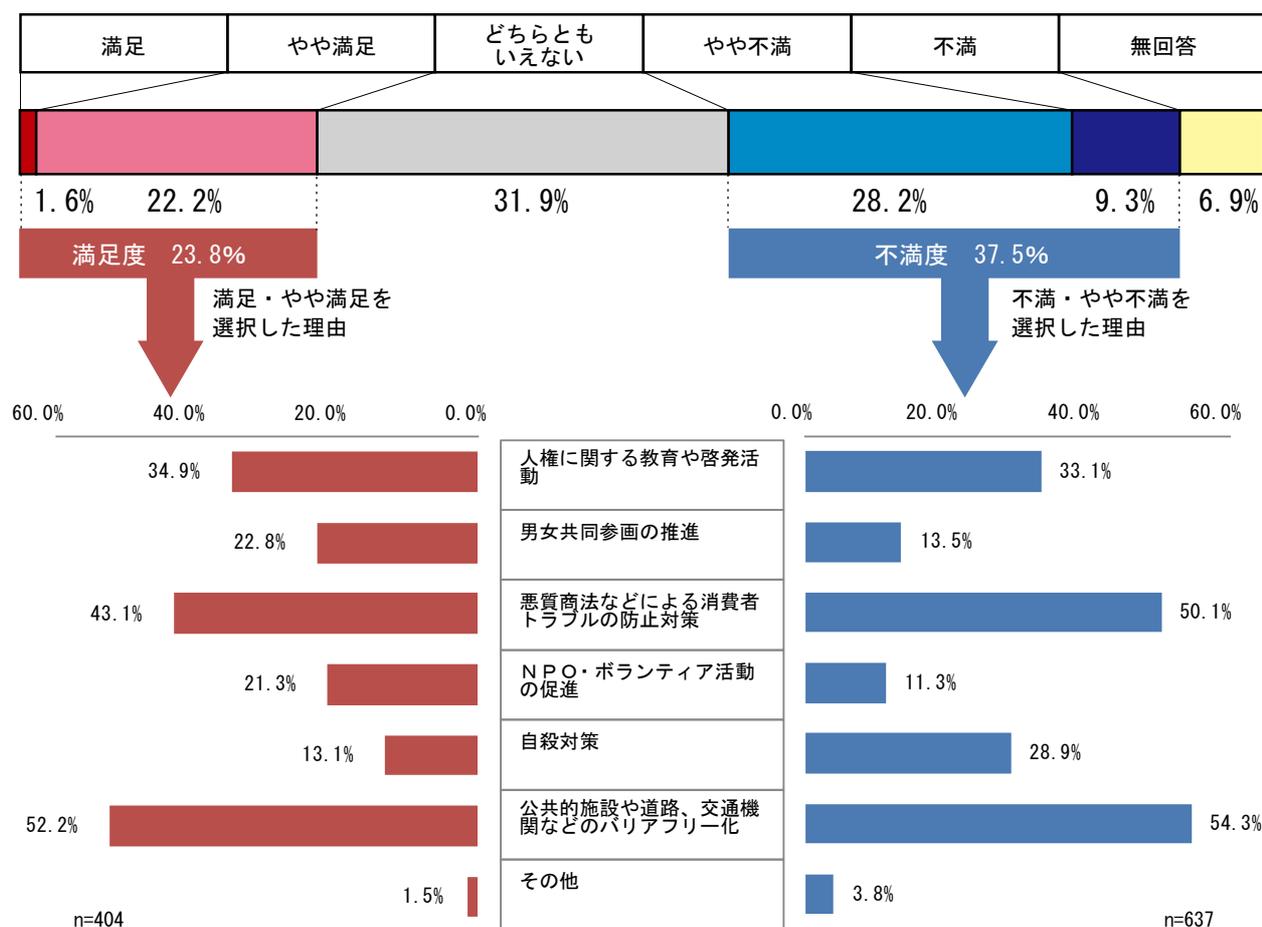
[5-4] 福祉の充実



【分析結果】

- ・ 不満度（43.4%）が満足度（23.3%）を 20.1 ポイント上回ったが、70 歳以上の年代では満足度が不満度を上回っている。性別をみると、男性（26.1%）の満足度が女性（20.9%）に比べて高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「要介護高齢者への支援や介護予防の取組」は全ての地域で 7 割を超え、年代別では、50 歳以上が多くなっている。（50 歳代：83.8%、60 歳代：75.7%、70 歳以上：77.3%）
- ・ 不満度の要因をみると、満足度の選択理由と同様に、地域や性別、年代を問わず「要介護高齢者への支援や介護予防の取組」が最も多く、特に、50 歳以上の年代で多くなっている。（50 歳代：64.4%、60 歳代：59.6%、70 歳以上：71.4%）

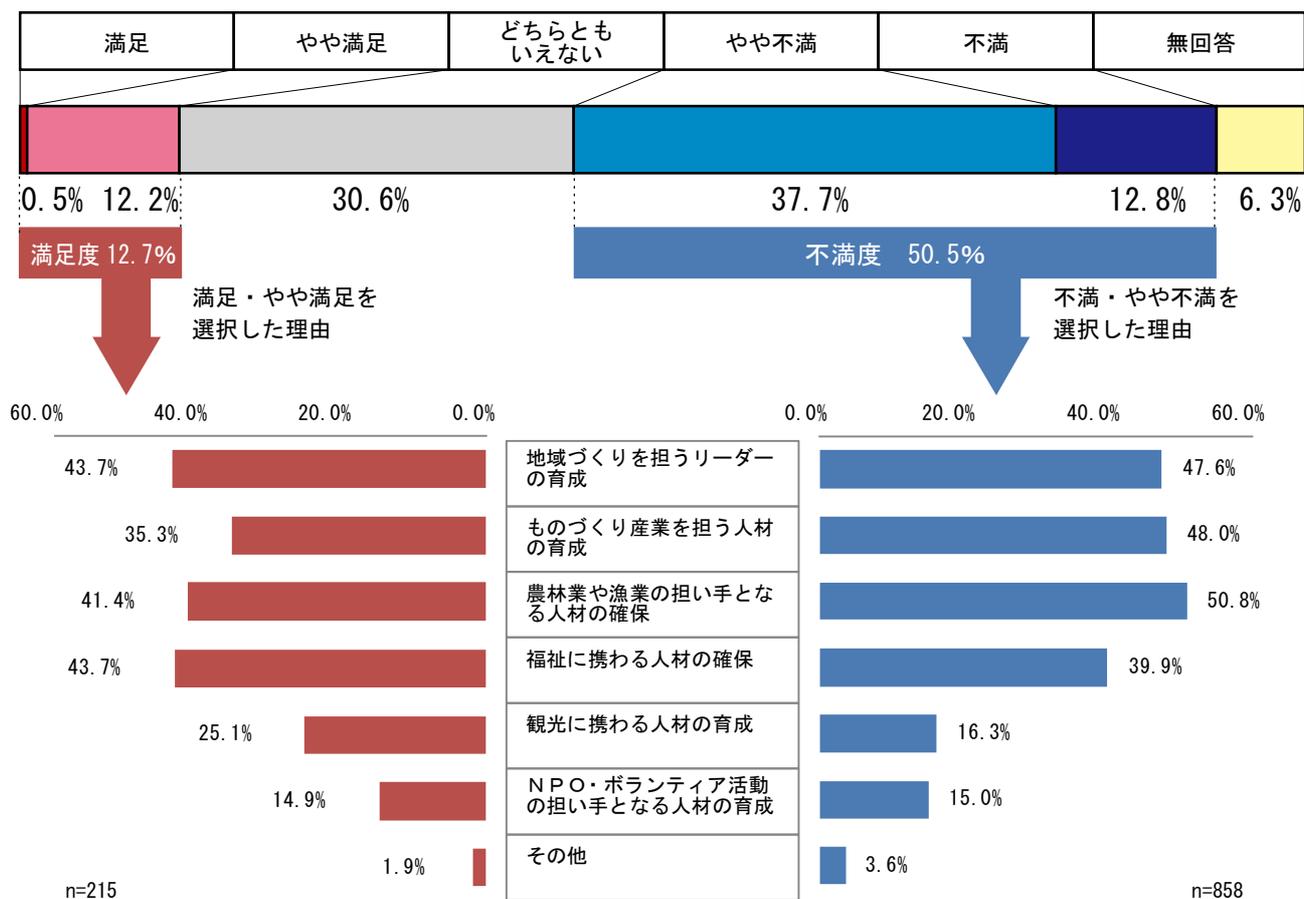
[5-5] 人にやさしい社会づくり



【分析結果】

- ・ 不満度（37.5%）が満足度（23.8%）を13.7ポイント上回った。
- ・ 男性（41.1%）の不満度が女性（34.8%）に比べて高く、年代別では、50歳代の不満度（46.4%）が他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「公共的施設や道路、交通機関などのバリアフリー化」が最も多く、特に、30歳代（63.6%）で他の年代に比べて多くなっている。「悪質商法などによる消費者トラブルの防止対策」は女性（47.7%）が男性（38.3%）に比べて多く、年代別では、60歳以上の年代が多くなっている。（60歳代：55.6%、70歳代：55.2%）
- ・ 不満度の要因をみると、全体では「公共的施設や道路、交通機関などのバリアフリー化」が最も多かったが、島原半島地域では「悪質商法などによる消費者トラブルの防止対策」（51.5%）が最も多くなっている。

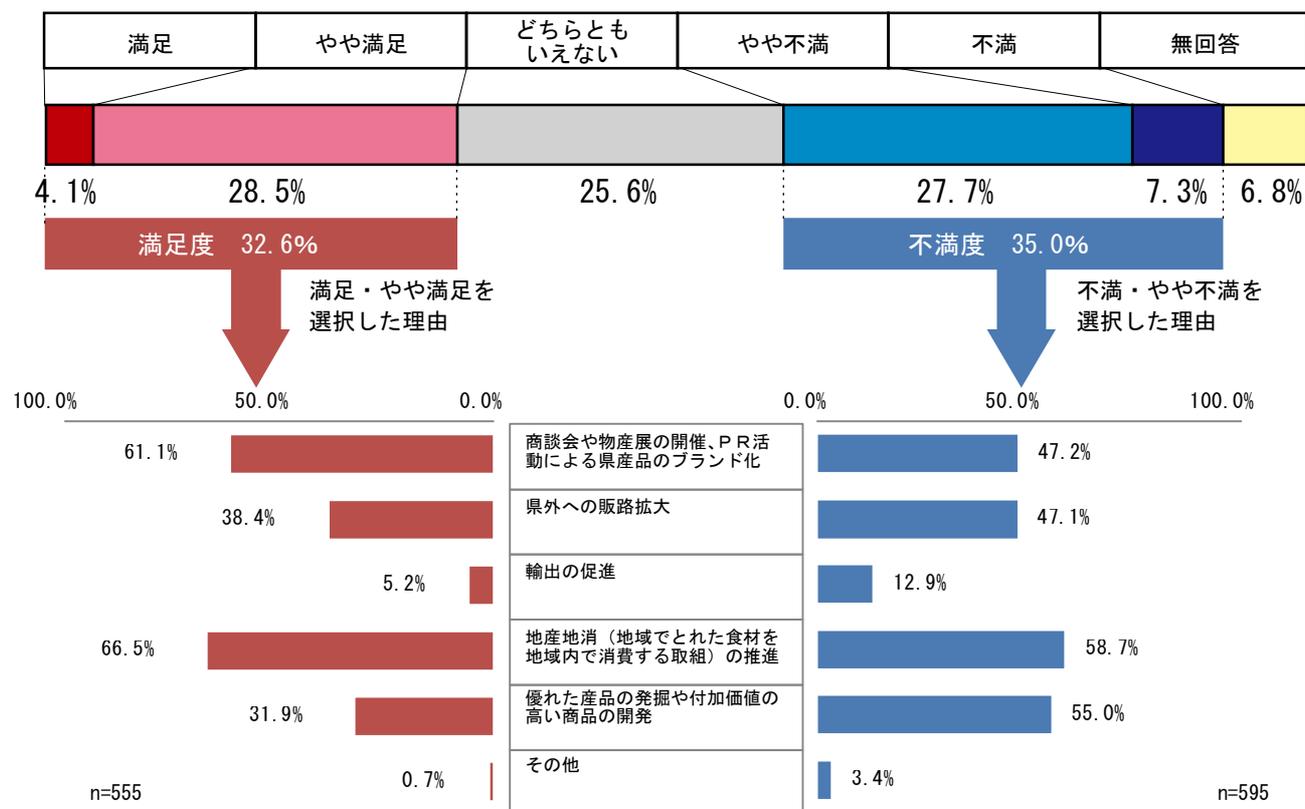
[5-6] 将来を担う人材育成



【分析結果】

- ・ 不満度（50.5%）が満足度（12.7%）を37.8ポイント上回った。
- ・ 40～60歳代では不満度が5割を超え、他の年代に比べて特に高くなっている。性別では、男性（57.2%）の不満度が女性（45.1%）に比べて高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「地域づくりを担うリーダーの育成」、「福祉に携わる人材の確保」が最も多く、次いで、「農林業や漁業の担い手となる人材の確保」となっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「農林業や漁業の担い手となる人材の確保」が最も多く、離島地域（59.7%）で他の地域より多くなっており、女性（43.2%）に比べて男性（58.5%）が多い。次いで「ものづくり産業を担う人材の育成」、「地域づくりを担うリーダーの育成」と続いている。「福祉に携わる人材の確保」は、男性（32.3%）に比べて女性（47.5%）が多くなっている。

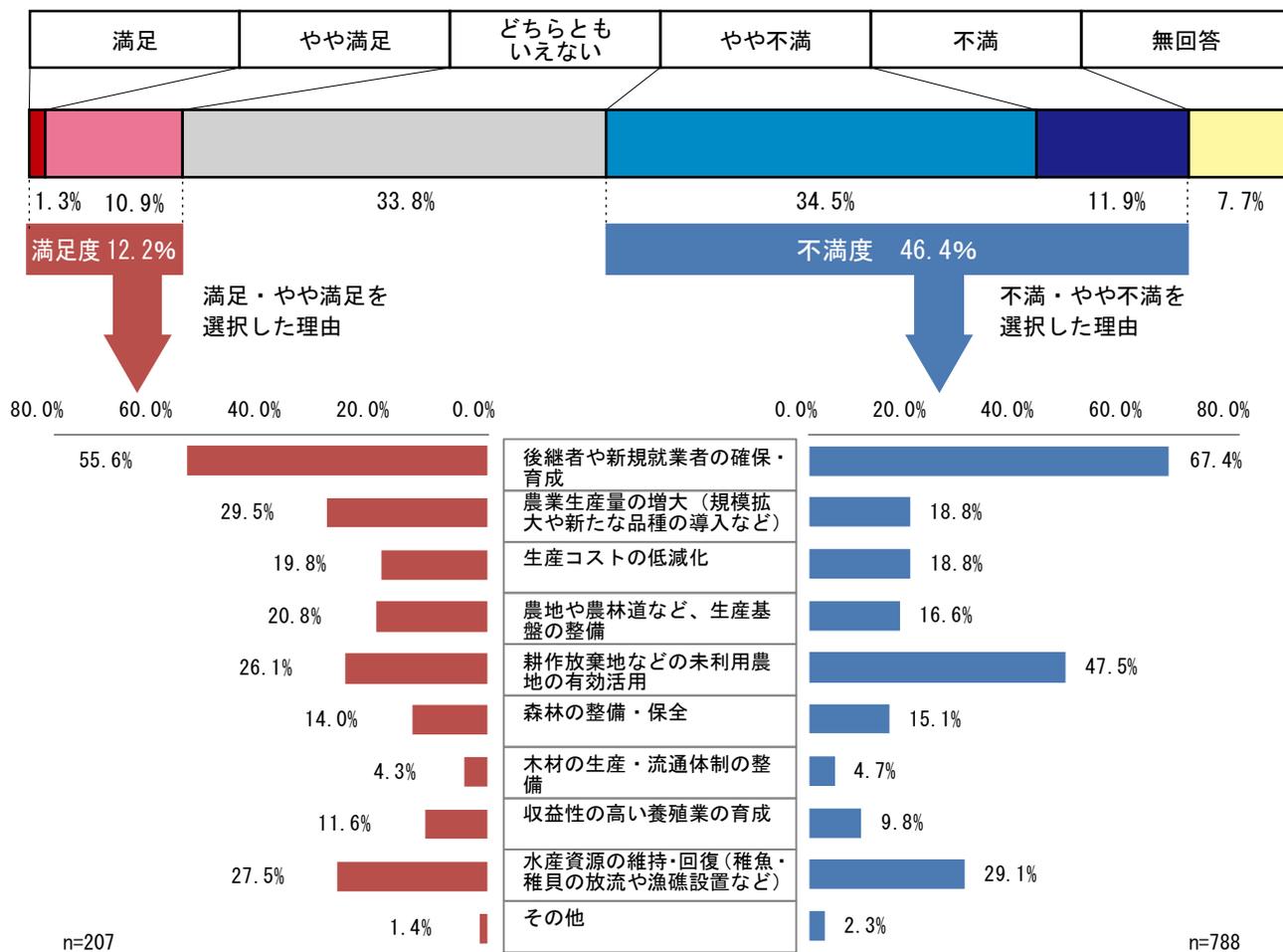
[5-7] 物産の振興



【分析結果】

- ・ 不満度（35.0%）が満足度（32.6%）を2.4ポイント上回ったが、県南地域（満足度：36.0%、不満度：31.8%）、県央地域（満足度：34.2%、不満度：33.1%）では満足度が不満度を上回っている。また、女性及び20～30歳の年代でも満足度が不満度を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、「地産地消の推進」が最も多く、県南地域、県北地域では他の地域に比べて多くなっている。次いで「商談会や物産展の開催、PR活動による県産品のブランド化」が続き、特に20～30歳代で他の年代に比べて多くなっている。（20歳代：66.7%、30歳代：68.1%）
- ・ 不満度の要因をみると、満足度の選択理由と同様に「地産地消の推進」が最も多く、地域別でもほぼ同様の傾向となっている。次いで「優れた製品の発掘や付加価値の高い商品の開発」となっており、県央地域（69.0%）では他の地域に比べて多くなっている。

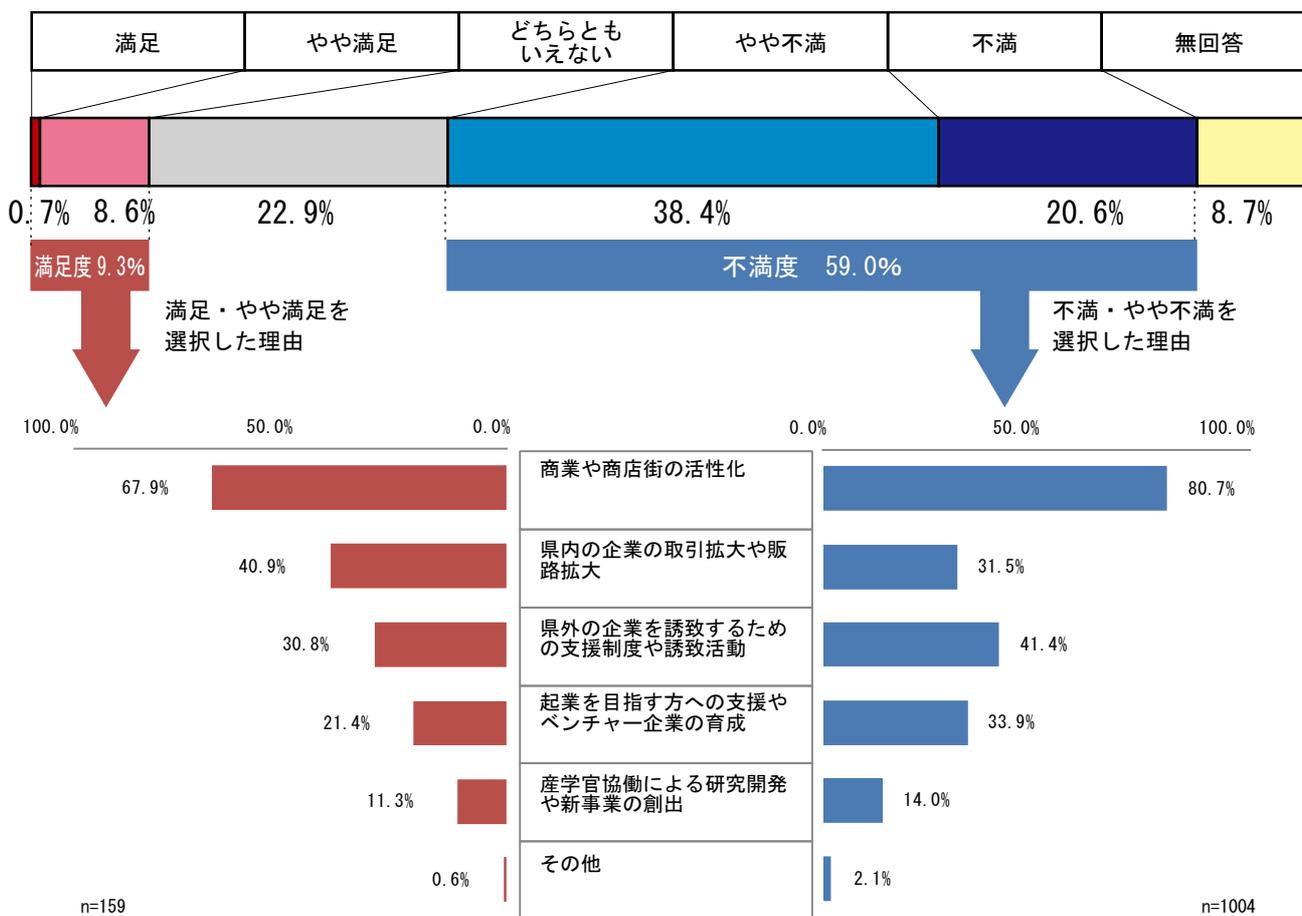
[5-8] 農林水産業の振興



【分析結果】

- ・ 不満度 (46.4%) が満足度 (12.2%) を 34.2 ポイント上回り、特に島原半島地域 (55.9%)、離島地域 (52.3%) の不満度が高い。女性 (40.0%) に比べて男性 (54.1%) の不満度が高く、年代別では 50～60 歳代の不満度が高い。(50 歳代 : 53.1%、60 歳代 : 50.0%)
- ・ 満足度の要因をみると、全ての地域で「後継者や新規就業者の確保・育成」が最も多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「後継者や新規就業者の確保・育成」が最も多くなっている。次いで「耕作放棄地などの未利用農地の有効活用」が続き、年代が高くなるとともに増加傾向となっている。

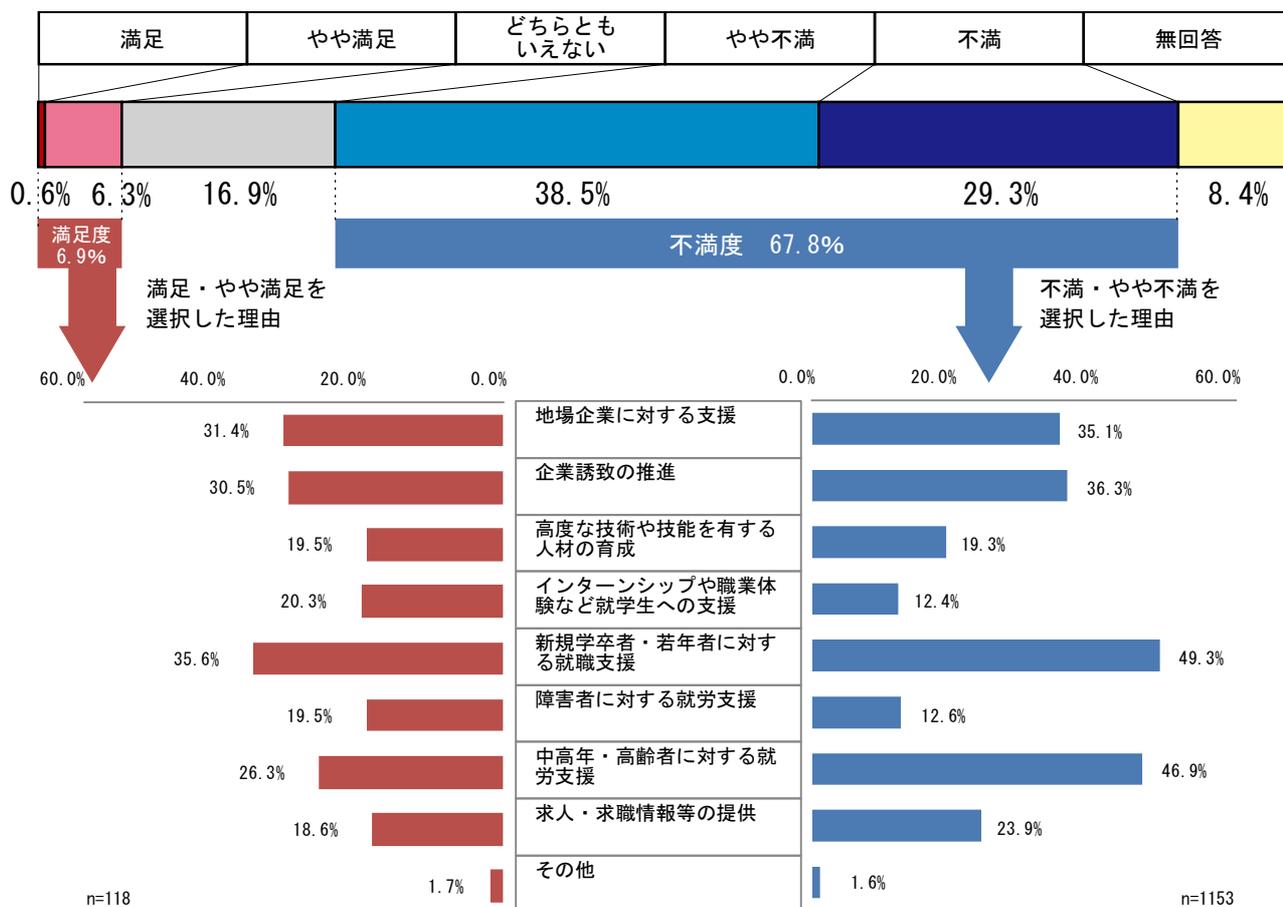
[5-9] 商工業の振興



【分析結果】

- ・ 不満度（59.0%）が満足度（9.3%）を 49.7 ポイント上回り、島原半島地域（65.4%）では不満度が他の地域に比べて高くなっている。年代別では、30～50 歳代で不満度が 6 割を超えている。（30 歳代：65.0%、40 歳代：65.5%、50 歳代：64.0%）
- ・ 満足度の要因をみると、「商業や商店街の活性化」が最も多く、性別、年代別でも同様の傾向となっている。
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「商業や商店街の活性化」が最も多くなっている。次いで、「県外の企業を誘致するための支援制度や誘致活動」が続いている。

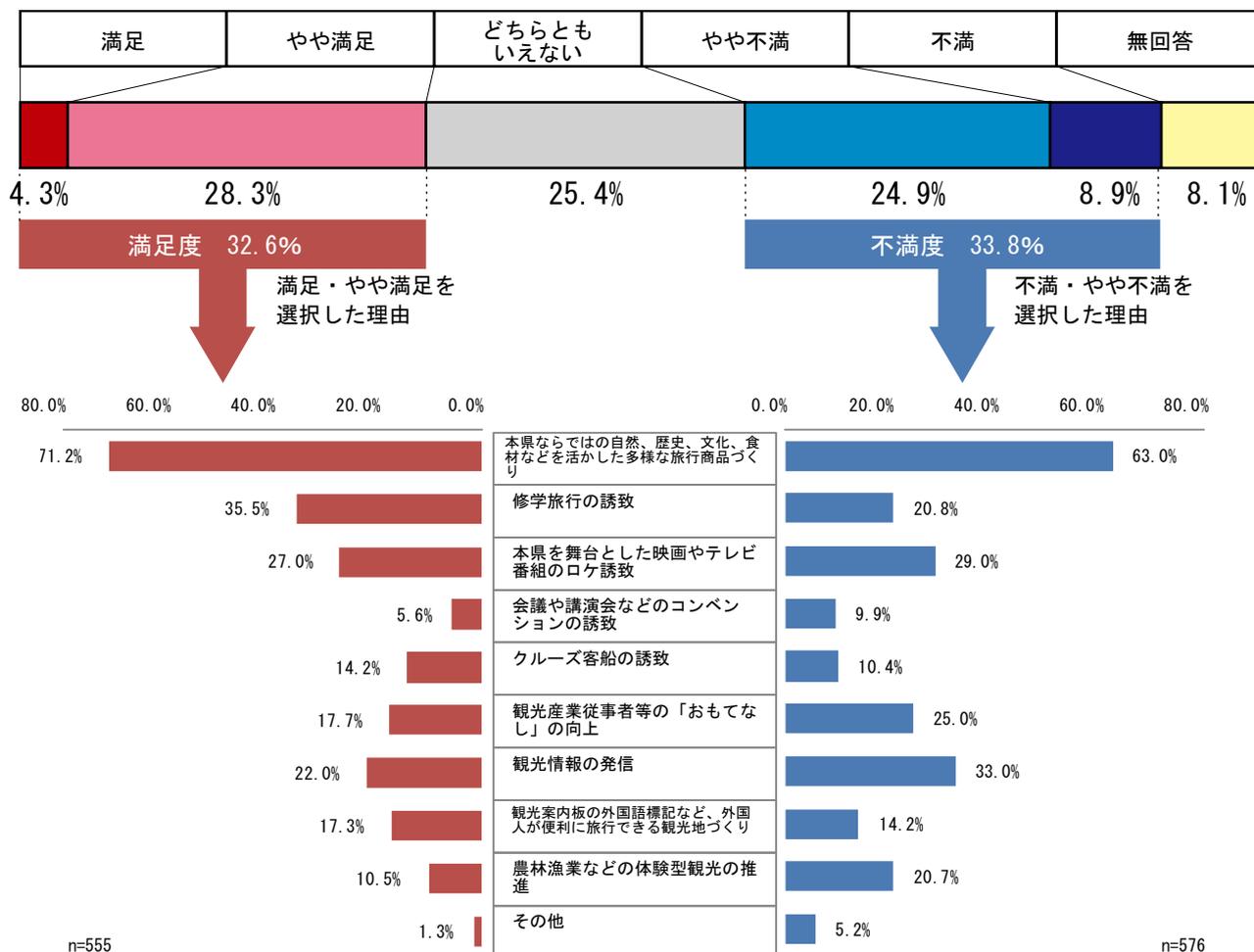
[5-10] 雇用対策



【分析結果】

- ・ 不満度（67.8%）が満足度（6.9%）を 60.9 ポイント上回った。満足度は全ての地域、年代で 1 割を下回り、不満度は 40～50 歳代で 7 割を超えている。
- ・ 満足度の要因をみると、「新規学卒者・若年者に対する就職支援」が最も多く、「地場企業に対する支援」、「企業誘致の推進」が続いている。
- ・ 不満度の要因をみると、「新規学卒者・若年者に対する就職支援」が最も多く、県南地域（52.2%）、県央地域（52.1%）、離島地域（54.3%）で同様の傾向となっている。「中高年・高齢者に対する就労支援」は、県北地域（49.2%）と離島地域（49.5%）で他の地域に比べて多く、年代別では 40～60 歳代で多くなっている。

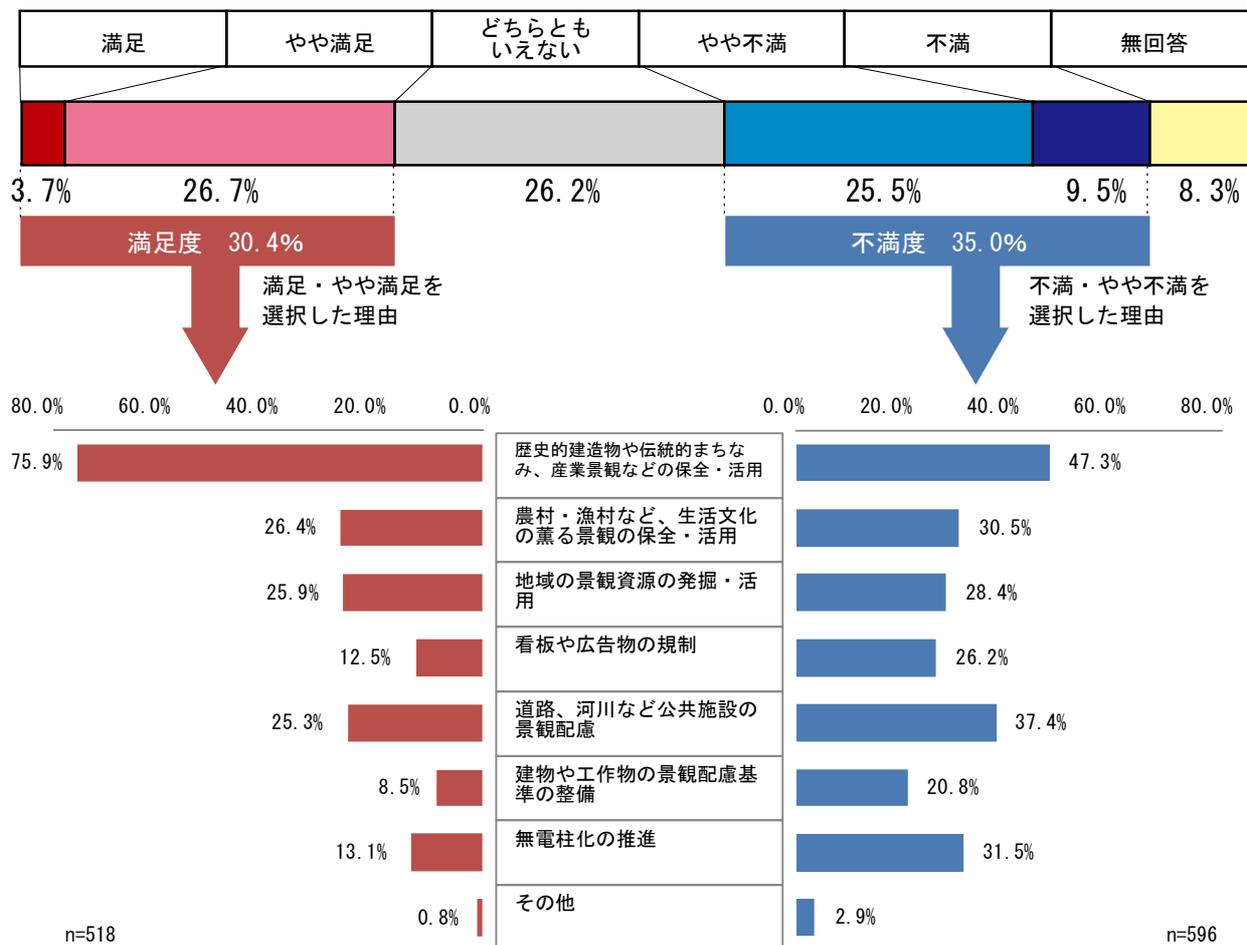
[5-11] 観光の振興



【分析結果】

- ・ 不満度 (33.8%) が満足度 (32.6%) を 1.2 ポイント上回ったが、県南地域では満足度 (40.7%) が不満度 (29.0%) を上回っている。島原半島地域では、満足度 (19.5%) が他の地域に比べて低く、不満度 (47.5%) が高い。
- ・ 性別では、男性 (39.5%) の不満度が女性 (29.4%) に比べて高い。年代別では、20～30 歳代及び 70 歳代以上の年代で満足度が不満度を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「本県ならではの自然、歴史、文化、食材などを活かした多様な旅行商品づくり」が最も多い。離島地域 (41.2%)、県南地域 (40.9%) では「修学旅行の誘致」が他の地域に比べて多く、島原半島地域 (42.9%) では「観光情報の発信」が他の地域に比べて多い。
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「本県ならではの自然、歴史、文化、食材などを活かした多様な旅行商品づくり」が最も多く、特に 50 歳代以上の年代で多い。

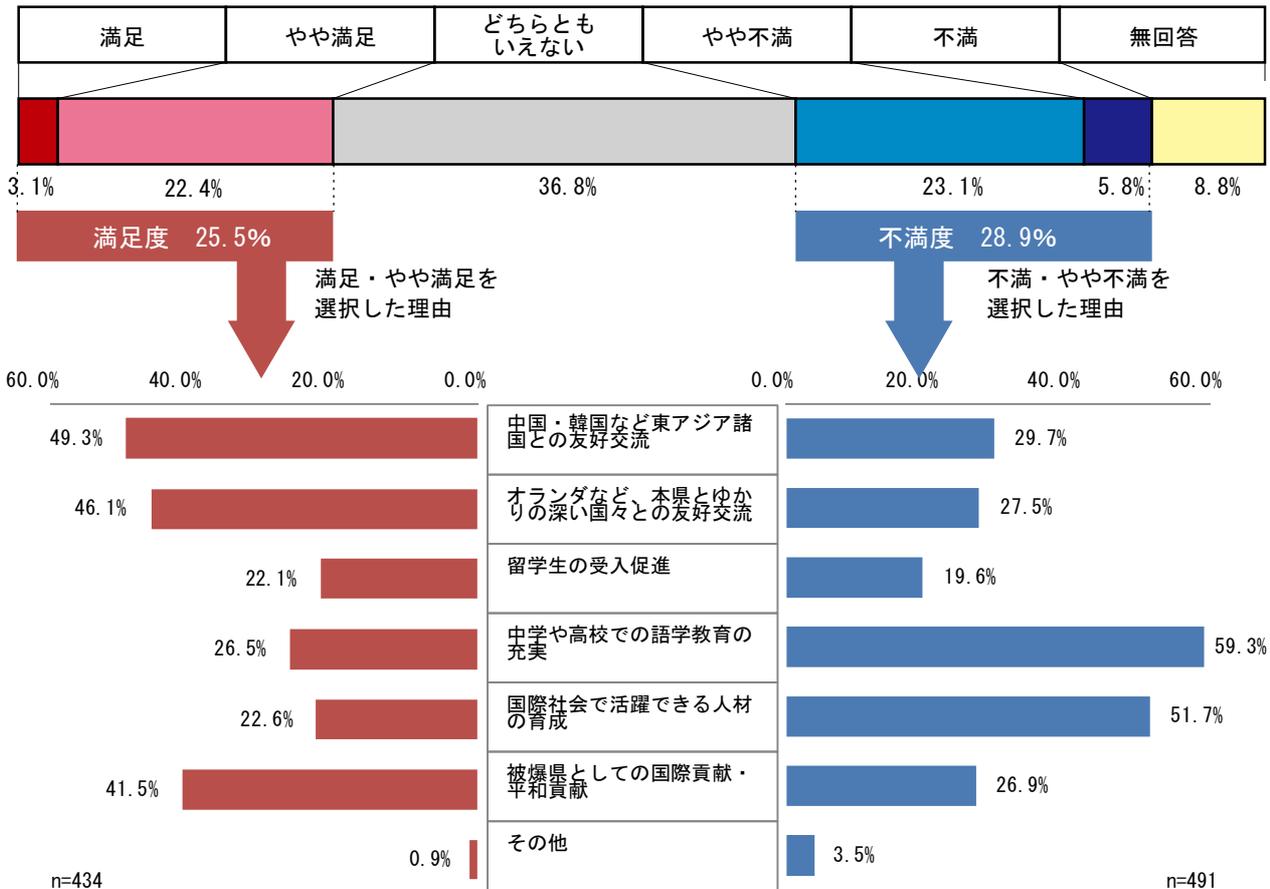
[5-12] 景観まちづくり



【分析結果】

- ・ 不満度（35.0%）が満足度（30.4%）を4.6ポイント上回ったが、20～30歳代では満足度が不満度を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「歴史的建造物や伝統的まちなみ、産業景観などの保全・活用」が最も多く、特に県南地域（85.5%）が他の地域に比べて多い。
- ・ 不満度の要因をみると、全体では「歴史的建造物や伝統的まちなみ、産業景観などの保全・活用」が最も多い。次いで「道路・河川など公共施設の景観配慮」となっており、20歳代（56.1%）が他の年代に比べて多い。

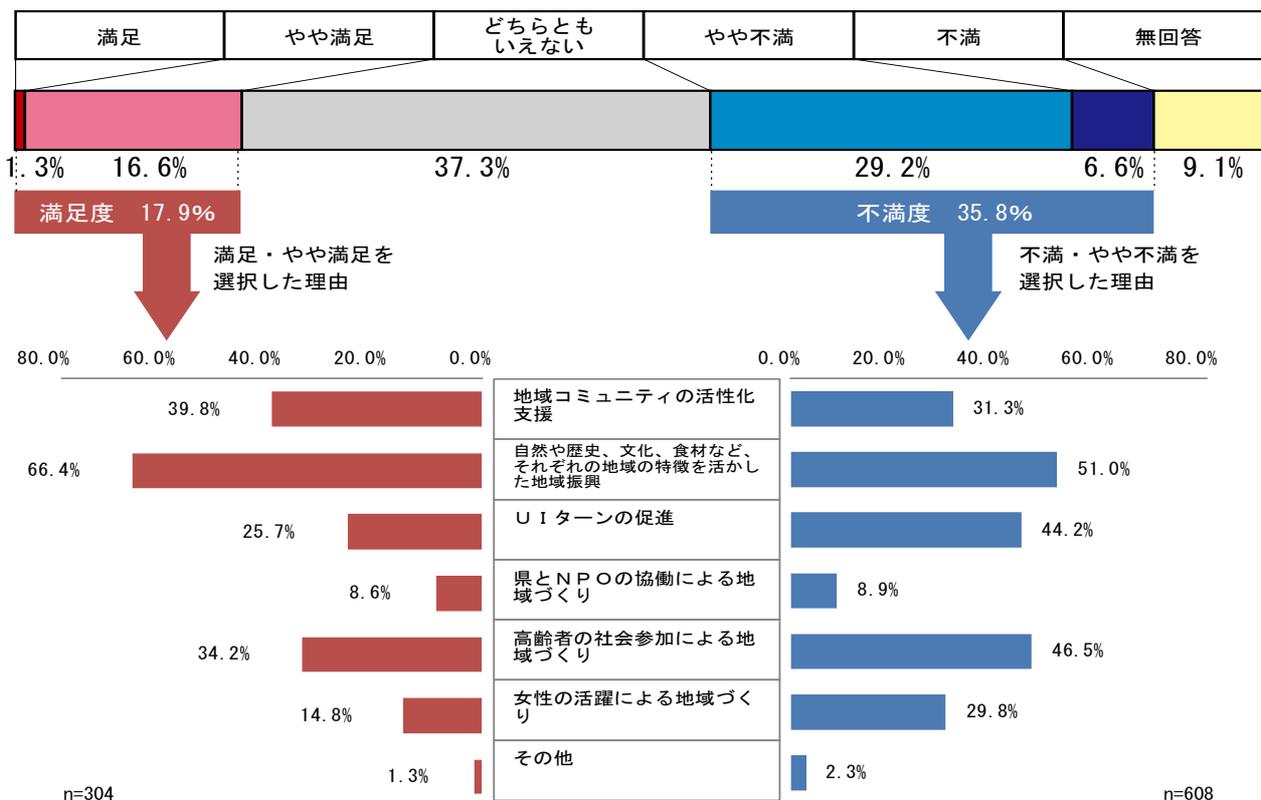
[5-13] 国際交流の推進



【分析結果】

- ・ 不満度 (28.9%) が満足度 (25.5%) を 3.4 ポイント上回ったが、県南地域では満足度 (29.2%) が不満度 (27.5%) を上回っている。年代別では、30 歳代で満足度 (27.1%) が不満度 (22.9%) を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、「中国・韓国など東アジア諸国との友好交流」が最も多く、次いで「オランダなど、本県とゆかりの深い国々との友好交流」、「被爆県としての国際貢献・平和貢献」となっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「中学や高校での語学教育の充実」が最も多く、全ての地域で同様の傾向が見られる。次いで「国際社会で活躍できる人材の育成」となっている。

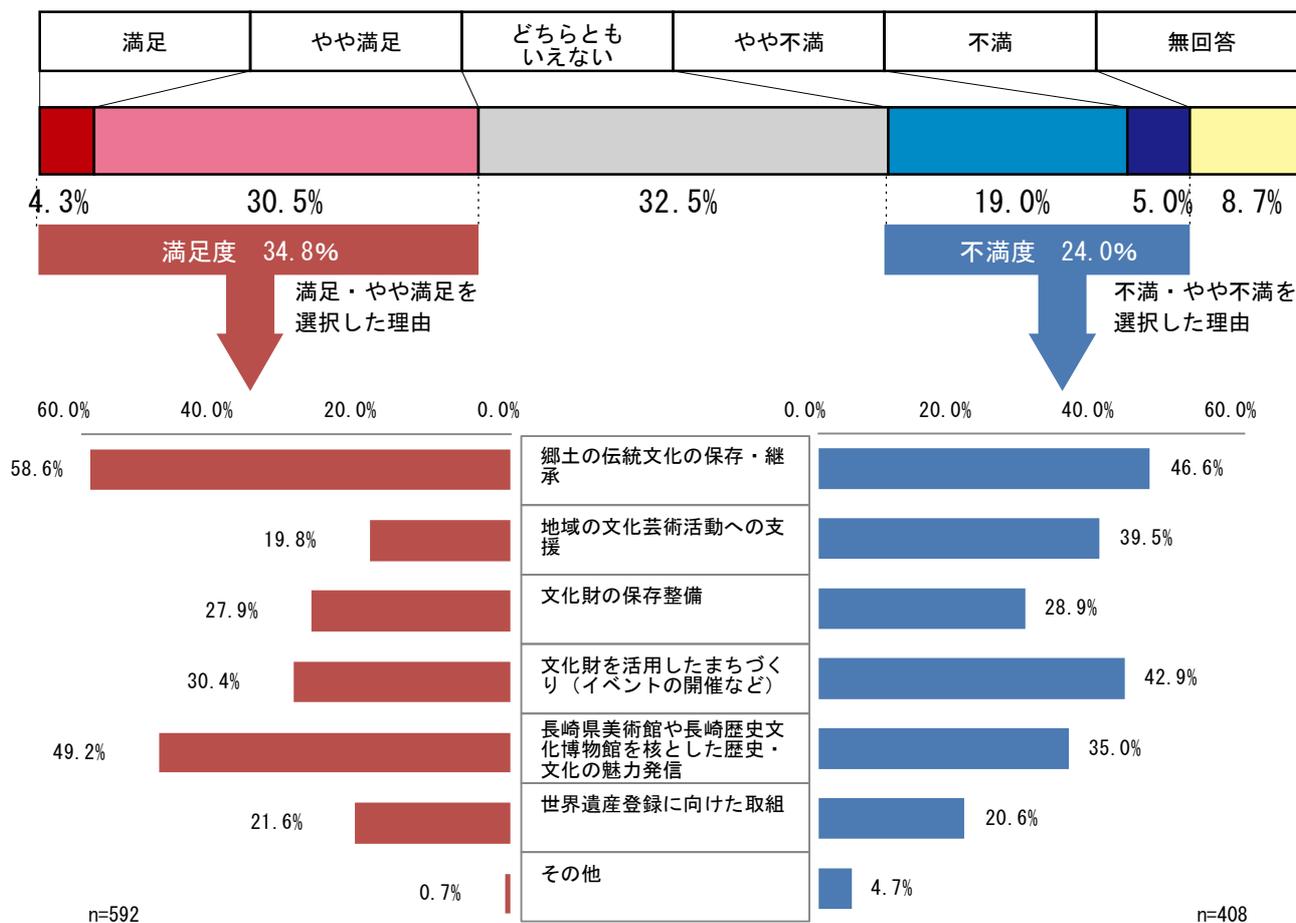
[5-14] 地域発の地域づくり



【分析結果】

- ・不満度 (35.8%) が満足度 (17.9%) を 17.9 ポイント上回っており、特に島原半島地域 (42.4%)、離島地域 (43.8%) の不満度が高くなっている。
- ・満足度の要因をみると、「自然や歴史、文化、食材などそれぞれの地域の特色を活かした地域振興」が最も多く、年代別でも全ての年代で同じ傾向が見られる。また、「U I ターンの促進」は、離島地域 (60.0%) の割合が他の地域に比べて多く、20 歳代 (44.8%) が他の年代より多くなっている。
- ・不満度の要因をみると、「自然や歴史、文化、食材などそれぞれの地域の特色を活かした地域振興」が最も多く、特に離島地域 (62.7%)、県央地域 (56.2%) で多くなっている。次いで「高齢者の社会参加による地域づくり」、「U I ターンの促進」となっており、60 歳以上が他の年代に比べて多い。「U I ターンの促進」は 30~50 歳代が多く、地域別で見ると、離島地域 (62.7%) が多くなっている。

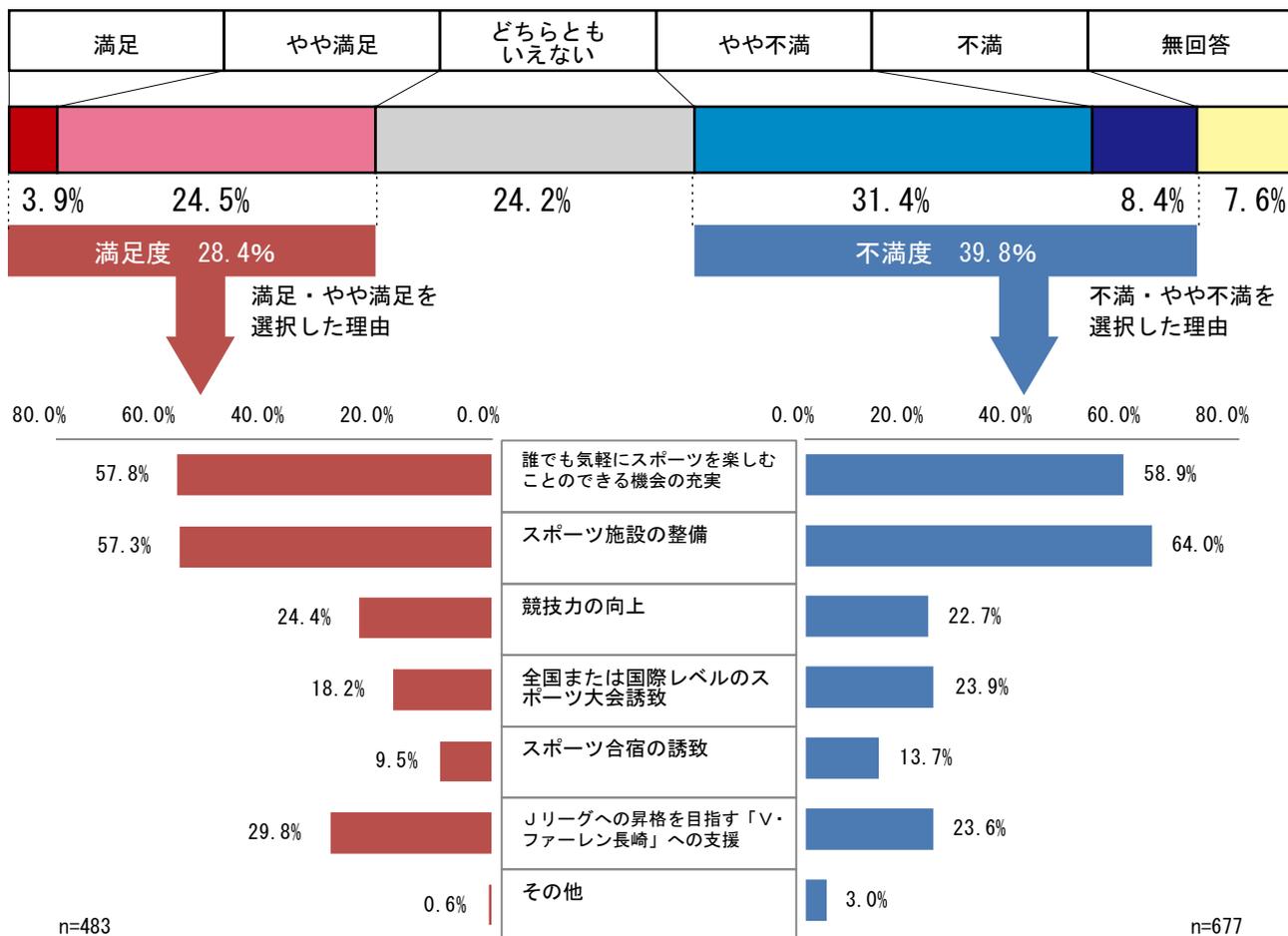
[5-15] 文化・芸術の振興



【分析結果】

- ・満足度 (34.8%) が不満度 (24.0%) を 10.8 ポイント上回っており、地域や性別、年代を問わず同様の傾向となっている。また、県南地域 (40.0%) の満足度が特に高くなっている。
- ・満足度の要因をみると、「郷土の伝統文化の保存・継承」が最も多く、島原半島地域 (67.3%)、離島地域 (63.3%) で多くなっている。年代別では 30 歳代を除く年代で最も多くなっている。次いで、「長崎県美術館や長崎歴史文化博物館を核とした歴史・文化の魅力発信」が続いており、県央地域 (54.8%)、県南地域 (58.5%) で多くなっている。性別では女性 (53.0%) が男性 (44.6%) に比べて多く、年代別では 30 歳代 (52.6%)、70 歳以上 (52.6%) が多くなっている。
- ・不満度の要因をみると、「郷土の伝統文化の保存・継承」が最も多く、離島地域 (66.7%) で多くなっている。次いで「文化財を活用したまちづくり」が続いており、20 歳代 (48.6%) が多くなっている。

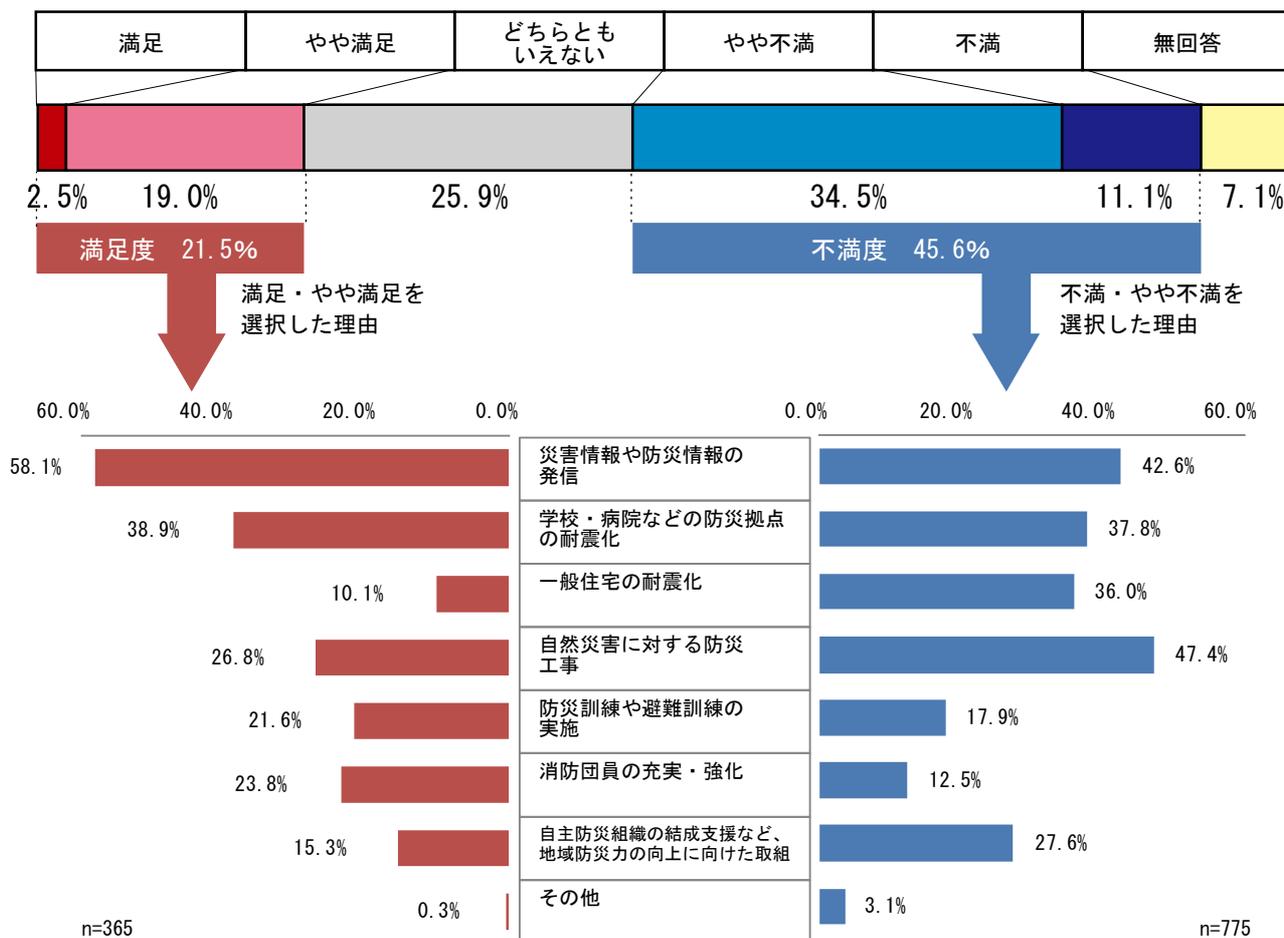
[5-16] スポーツの振興



【分析結果】

- ・ 不満度 (39.8%) が満足度 (28.4%) を 11.4 ポイント上回っている。70 歳代以上の年代では満足度が不満度を上回ったものの、地域や性別、年代を問わず同様の傾向となっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会の充実」が最も多く、離島地域 (76.7%) が多くなっている。次いで「スポーツ施設の充実」が続いており、県央地域 (67.6%)、島原半島地域 (65.5%) が多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「スポーツ施設の整備」が最も多く、特に 30 歳代 (71.4%) が多くなっている。次いで「誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会の充実」が続いており、特に県央地域 (65.1%)、離島地域 (64.7%) が多く、女性 (63.9%) が男性 (53.8%) に比べて多くなっている。

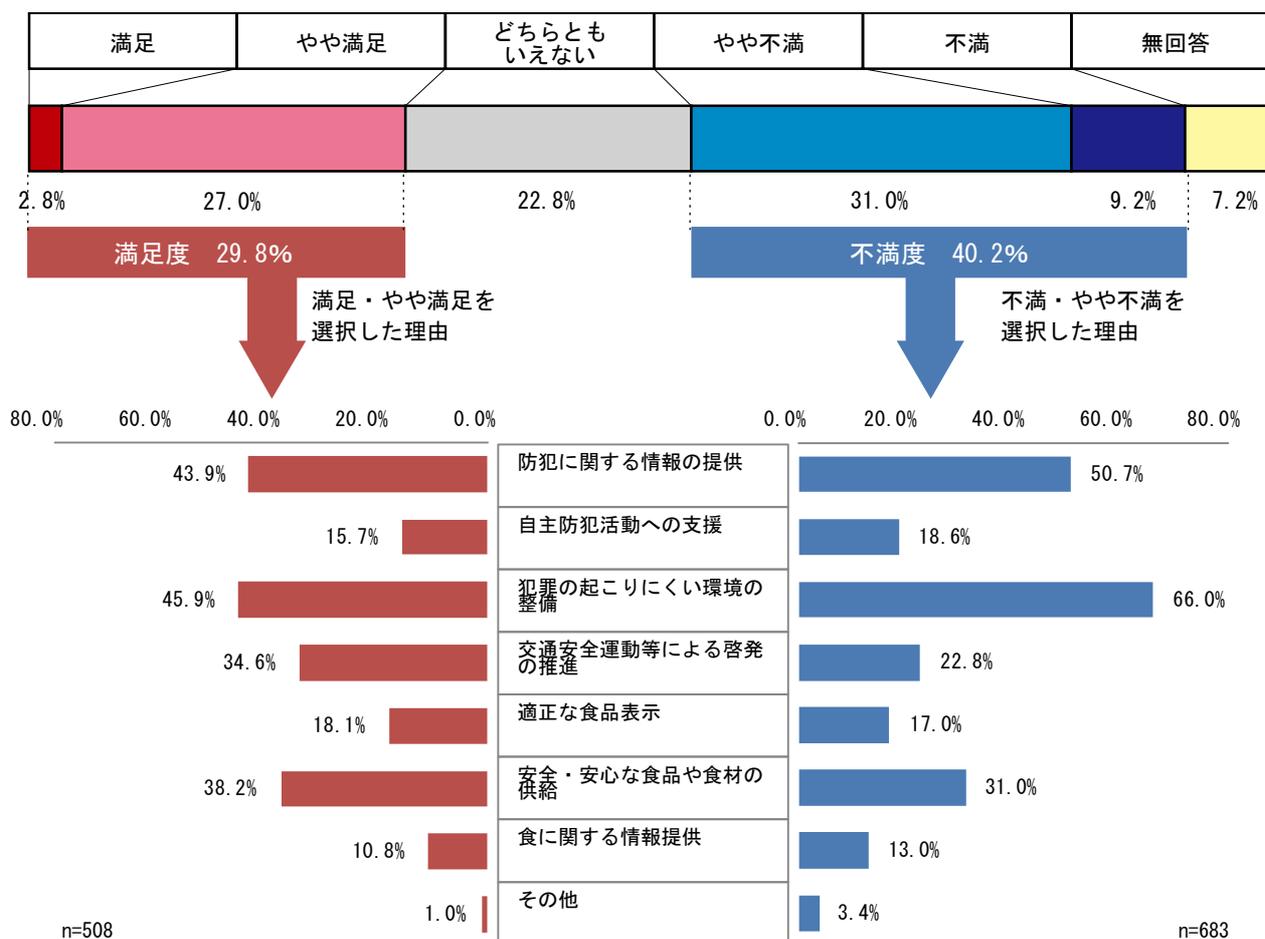
[5-17] 防災対策



【分析結果】

- ・ 不満度（45.6%）が満足度（21.5%）を 24.1 ポイント上回っており、地域や性別、年代を問わず同様の傾向となっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「災害情報や防災情報の発信」が最も多く、特に離島地域（69.4%）、県南地域（66.7%）、島原半島地域（66.7%）が多くなっている。年代別では特に 60 歳代（65.5%）が多い。次いで「学校・病院などの防災拠点の耐震化」が続いているが、島原半島地域（21.4%）、離島地域（25.0%）が他の地域に比べて少なくなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「自然災害に対する防災工事」が最も多く、全ての地域で同様の傾向となっている。次いで「災害情報や防災情報の発信」が続いている。

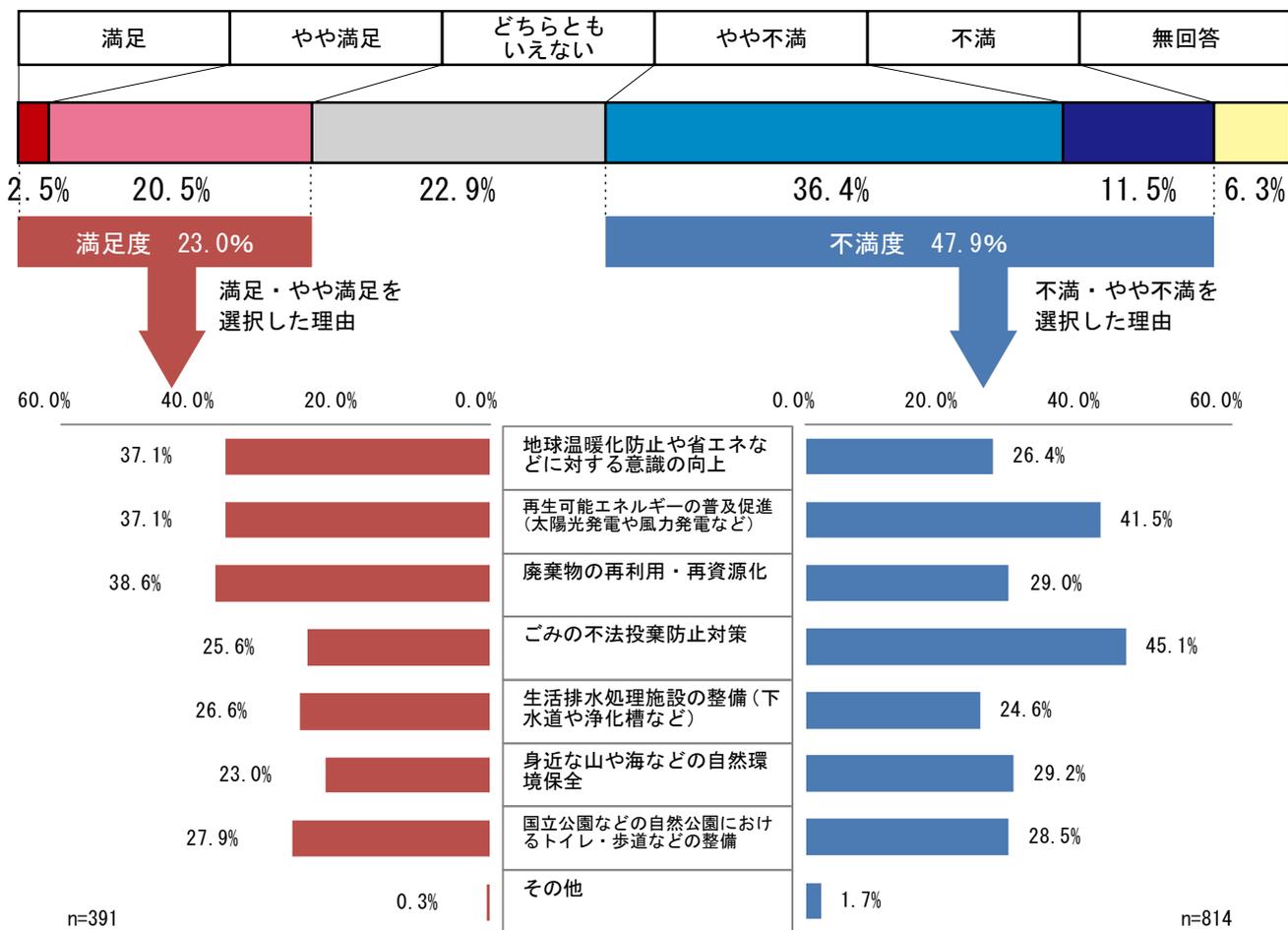
[5-18] 安全な暮らしづくり



【分析結果】

- ・ 不満度 (40.2%) が満足度 (29.8%) を 10.4 ポイント上回ったが、離島地域では満足度 (32.7%) が不満度 (32.0%) を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、「犯罪の起こりにくい環境の整備」が最も多く、男性 (52.6%) が女性 (40.8%) に比べて多くなっている。次いで「防犯に関する情報の提供」が続いている。
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「犯罪の起こりにくい環境の整備」が最も多くなっている。次いで「防犯に関する情報の提供」が続いている。

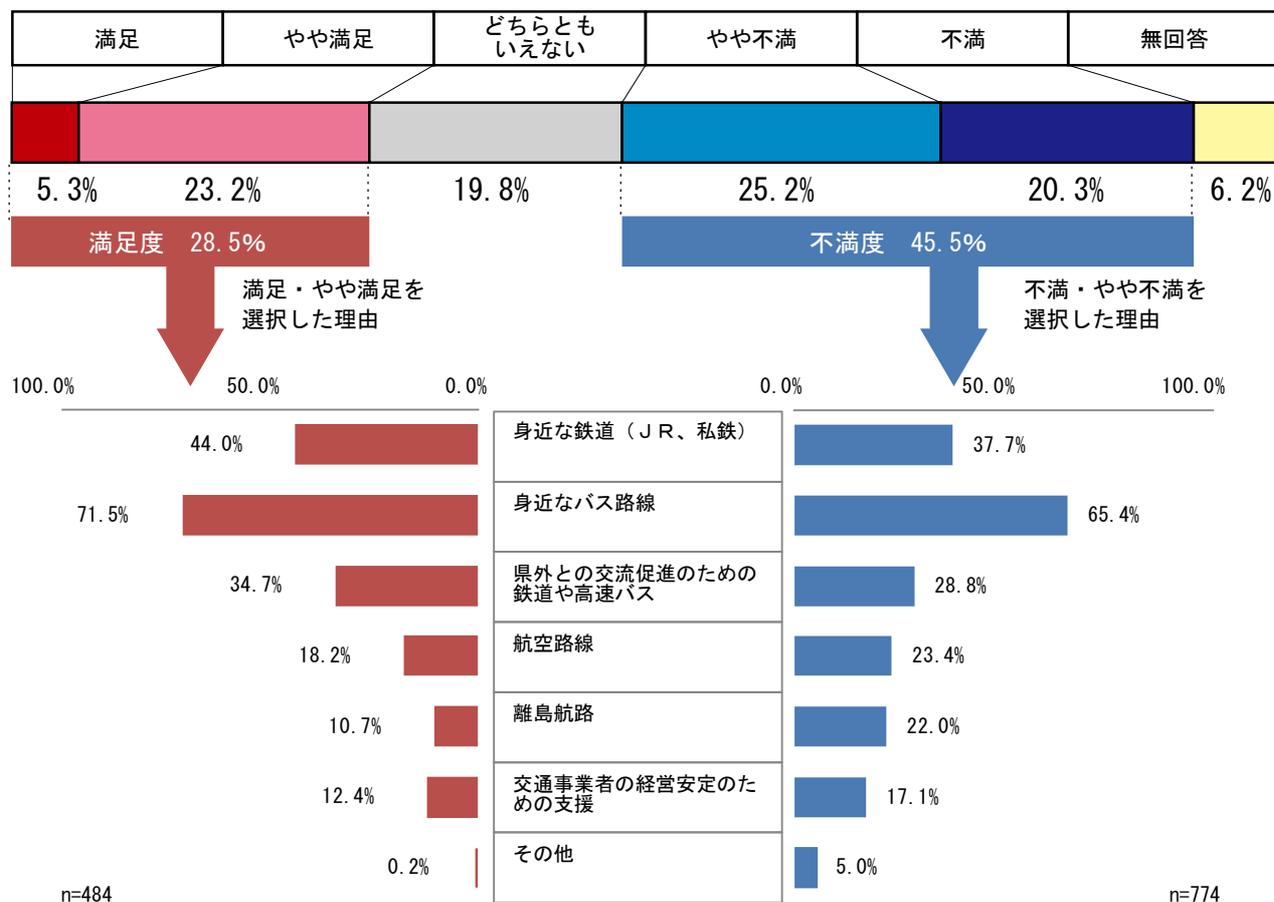
[5-19] 環境対策



【分析結果】

- ・不満度 (47.9%) が満足度 (23.0%) を 24.9 ポイント上回っており、特に離島地域 (54.9%)、島原半島地域 (54.2%) の不満度が高くなっている。
- ・満足度の要因をみると、「廃棄物の再利用・再資源化」、「地球温暖化防止や省エネなどに対する意識の向上」、「再生可能エネルギーの普及促進」の割合が拮抗している。
- ・不満度の要因をみると、「ごみの不法投棄防止対策」が最も多く、県央地域を除く地域で最も多くなっている。次いで「再生可能エネルギーの普及促進」が続いている。

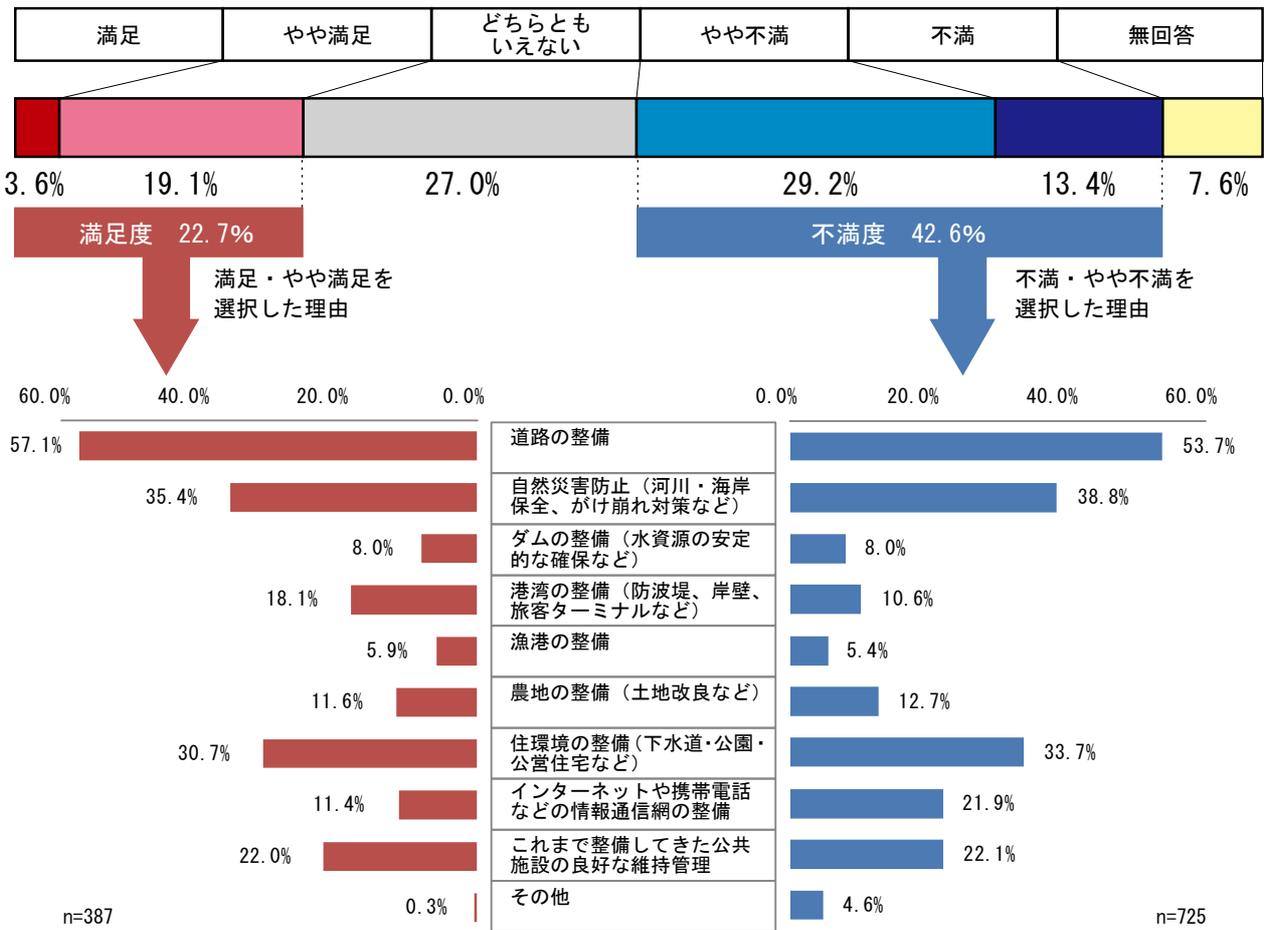
[5-20] 公共交通機関の充実



【分析結果】

- ・ 不満度（45.5%）が満足度（28.5%）を 17.0 ポイント上回っている。
- ・ 県南地域のみ満足度（37.7%）が不満度（37.5%）を上回っている。特に島原半島地域（満足度：12.3%、不満度：62.0%）、離島地域（満足度：12.4%、不満度：59.5%）では満足度が低く、不満度が高くなっている。
- ・ 60 歳以上の年代では、満足度と不満度がほぼ同じ割合となっているが、特に 20～40 歳代で他の年代に比べて不満度が高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「身近なバス路線」が最も多く、特に県南地域（80.3%）、県北地域（72.7%）で多くなっている。次いで「身近な鉄道」が続いており、特に県央地域（59.3%）、県北地域（51.7%）で多く、年代別では 20～30 歳代で多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、「身近なバス路線」が最も多く、特に県央地域（79.1%）、県北地域（72.7%）が多くなっている。次いで「身近な鉄道」が続いており、島原半島地域（61.3%）、県央地域（51.2%）が多くなっている。

[5-21] 公共施設の整備

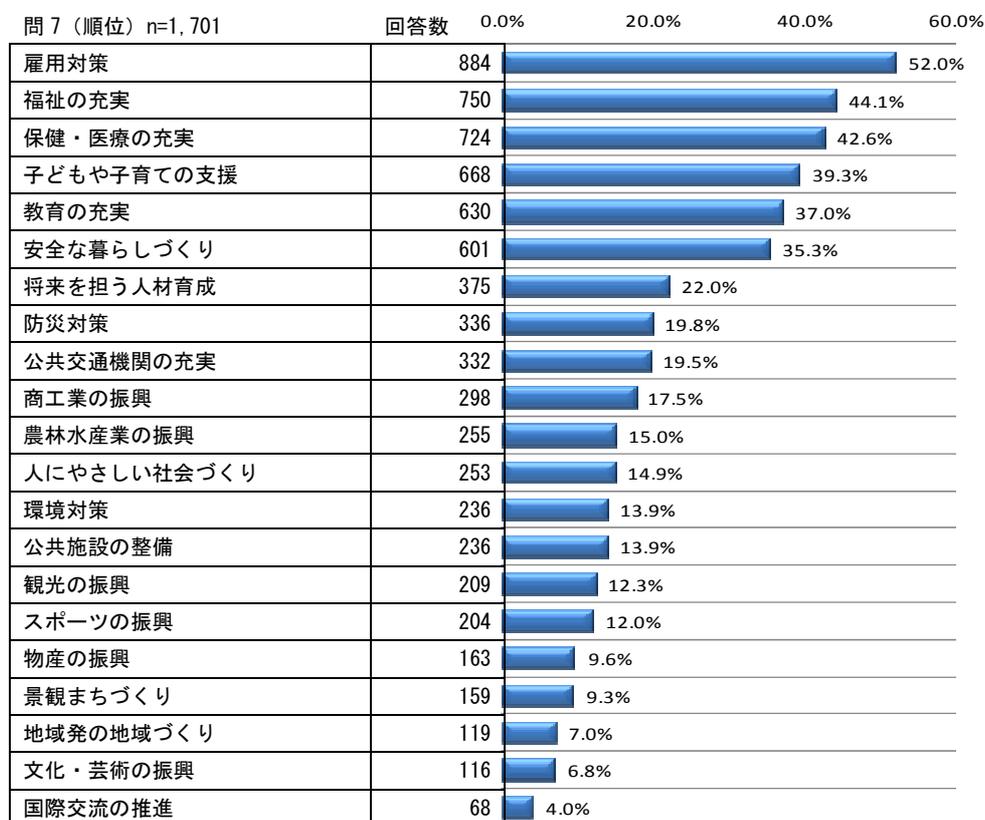


【分析結果】

- ・ 不満度（42.6%）が満足度（22.7%）を19.9ポイント上回っており、県北地域（44.6%）、島原半島地域（46.4%）、離島地域（45.1%）の不満度がやや高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「道路の整備」が最も多く、次いで「自然災害防止」、「住環境の整備」と続いている。また、「自然災害防止」は年代が高くなるとともに増加傾向がみられ、離島地域では、「自然災害防止（河川・海岸保全、がけ崩れ対策など）」（50.0%）、「港湾の整備（防波堤・岸壁・旅客ターミナルなど）」（46.7%）が他の地域に比べて多い。
- ・ 不満度の要因をみると、「道路の整備」が最も多く、特に県南地域（59.6%）、県央地域（53.7%）、県北地域（53.4%）が多くなっている。年代別でみると特に20～30歳代が多い。次いで「自然災害防止」、「住環境の整備」と続いている。また、「インターネットや携帯電話などの情報通信網の整備」は特に20歳代（45.5%）が多い。

〔問 7〕 あなたは、今後、県がどのような分野に力を入れて行くべきだと思いますか？
 （該当するもの5つまで数字に○印をつけてください。）

（重要度の高い順）



〔全体〕

- ・「雇用対策」（52.0%）が最も多く、次いで「福祉の充実」（44.1%）、「保健・医療の充実」（42.6%）となった。

〔地域別〕

- ・全ての地域で「雇用対策」が最も多くなった。
- ・離島地域では「将来を担う人材育成」（29.4%）、「農林水産業の振興」（28.1%）、「公共交通機関の充実」（26.8%）が他の地域より多く、島原半島地域では「農林水産業の振興」（22.3%）、「商工業の振興」（24.0%）が他の地域より多くなっている。
- ・「安全な暮らしづくり」は、離島地域（26.1%）、島原半島地域（25.7%）が他の地域より少なくなっている。

〔性別〕

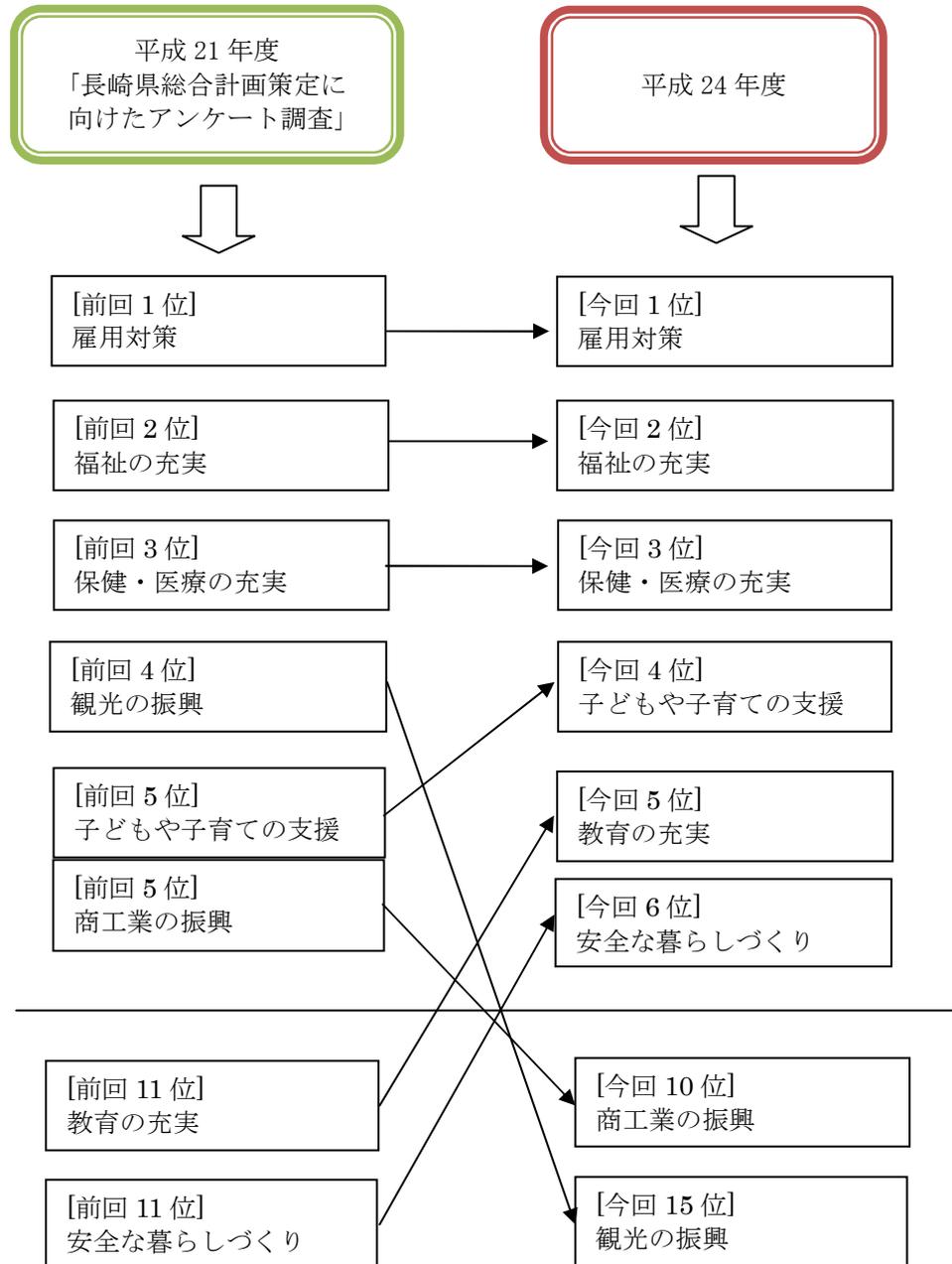
- ・男性、女性ともに「雇用対策」が最も多くなった。
- ・男性に比べて女性では、「保健・医療の充実」（男性：38.3%、女性：45.7%）、「福祉の充実」（男性：38.3%、女性：48.3%）、「安全な暮らしづくり」（男性：30.8%、女性：38.7%）が多くなっている。

〔年代別〕

- ・20歳代、40～60歳代では「雇用対策」が最も多くなったが、30歳代では「子どもや子育ての支援」（67.9%）が最も多く、70歳以上では「福祉の充実」（54.4%）が最も多くなっている。
- ・「福祉の充実」は、年代が上がるとともに増加傾向である。

「今後県が力を入れて行くべき分野」上位項目の前回調査との比較

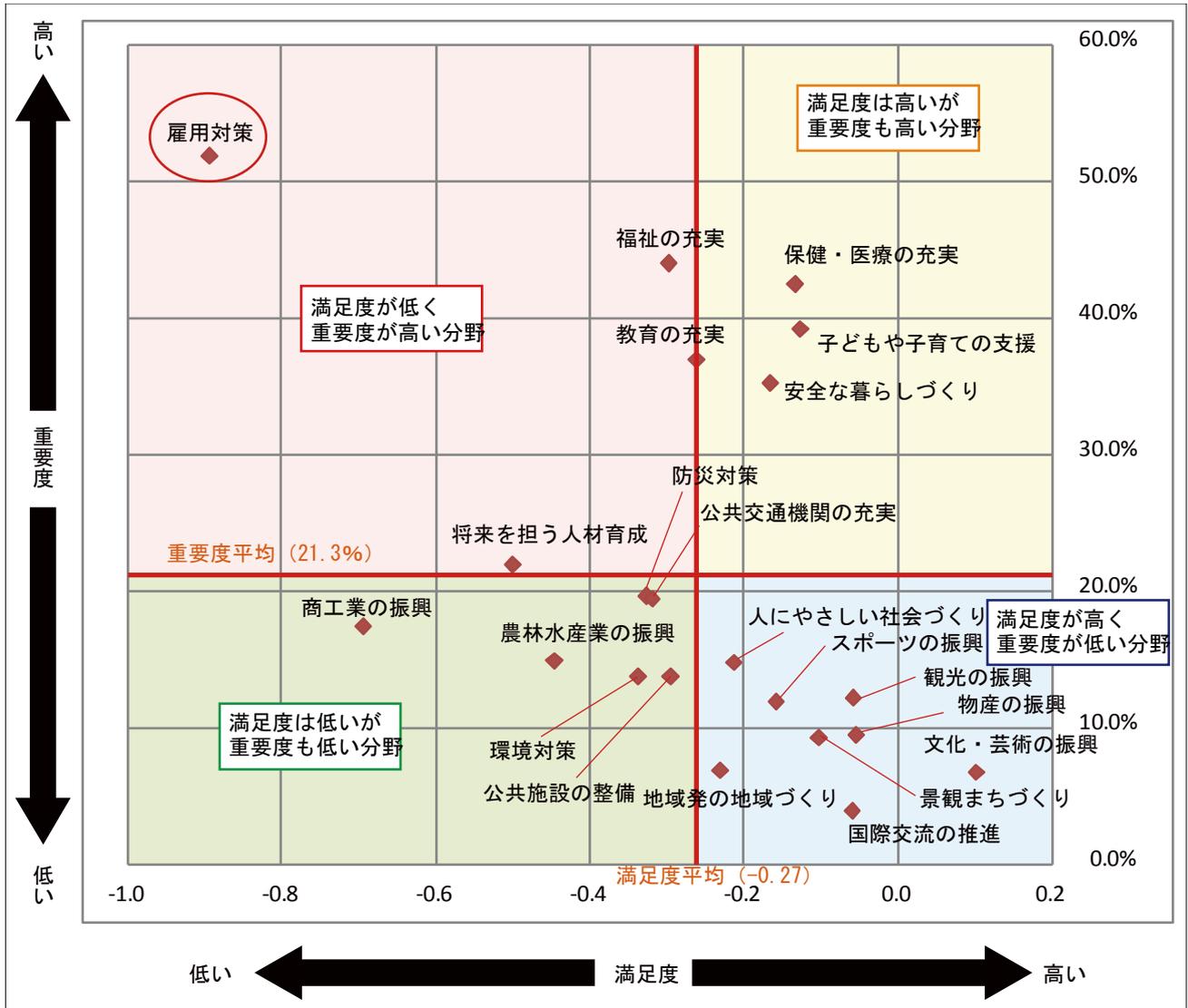
※「長崎県総合計画策定に向けたアンケート調査」（平成 21 年 6～7 月実施）との経年比較



- ◆ 「雇用対策」、「福祉の充実」、「保健・医療の充実」は前回調査に引き続き上位項目となっている。
- ◆ 「教育の充実」、「安全な暮らしづくり」は前回より大きく順位を上げた。逆に「観光の振興」、「商工業の振興」は大きく順位を下げている。

〔分野別重要度〕と〔満足度〕の関係

県の政策の重要度（平均：21.3%）、満足度（平均：-0.26）のそれぞれの平均点をもとに、「満足度が低く重要度が高い分野」、「満足度は高いが重要度も高い分野」、「満足度は低いが重要度も低い分野」、「満足度が高く重要度が低い分野」の4つの分野に整理した。



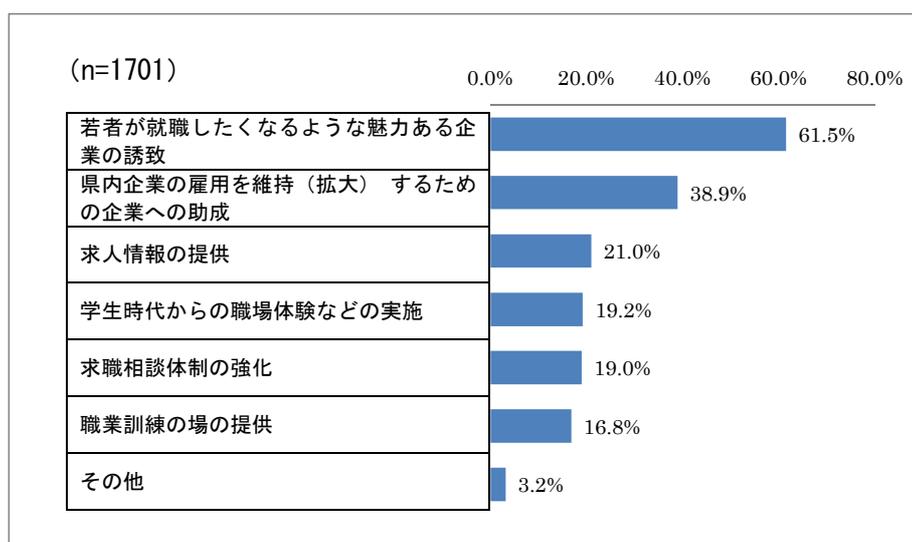
最重要課題分野と考えられる“満足度が低く重要度が高い分野”には、「雇用対策」などが該当する。また、“満足度は高いが重要度も高い分野”には「保健・医療の充実」、「子どもや子育ての支援」、「安全な暮らしづくり」が該当する。

3. 個別施策に関する調査

【雇用・産業振興】

[問 8]

県内で就職してもらうために、新卒者や若者向けの雇用対策として、今後、県ではどのような取り組みが必要だと思いますか。2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

・「若者が就職したくなるような魅力ある企業の誘致」（61.5%）が最も多く突出している。次いで、「県内企業の雇用を維持（拡大）するための企業への助成」（38.9%）となった。

【地域別】

・全ての地域で「若者が就職したくなるような魅力ある企業の誘致」が最も多く、島原半島地域（69.3%）が他の地域に比べ多い。

【性別】

・男性、女性ともほぼ同様の結果となり、性別による傾向は特にみられない。

【年代別】

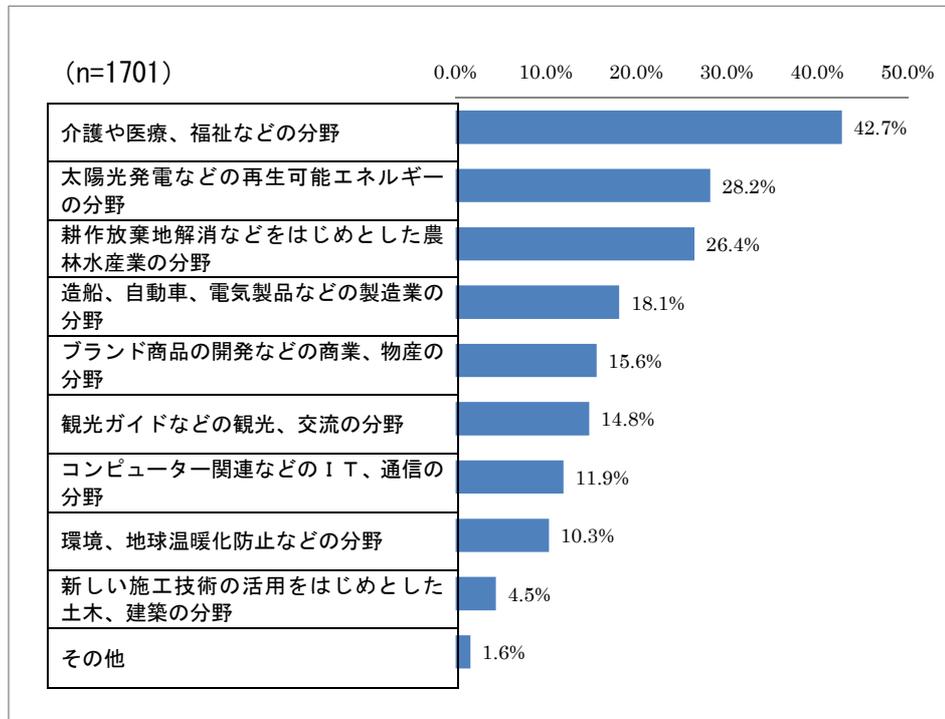
・「求人情報の提供」は、20歳代（35.4%）が最も多く、年代が高くなるとともに減少傾向がみられた。

【職業別】

・「求職相談体制の強化」、「求人情報の提供」で学生（34.5%）が多くなっている。また、「県内企業の雇用を維持（拡大）するための企業への助成」は、家族従業者（51.0%）が多い。

[問 9]

今後、本県において、新しい雇用を生み出す分野として期待される分野はどの分野だと思いますか。
2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「介護や医療、福祉などの分野」(42.7%)が最も多く、突出している。次いで、「太陽光発電などの再生可能エネルギーの分野」(28.2%)、「耕作放棄地解消などをはじめとした農林水産業の分野」(26.4%)となった。

【地域別】

- ・「太陽光発電などの再生可能エネルギーの分野」は、特に県央地域(32.3%)、県北地域(31.6%)で他の地域より多くなっている。
- ・「耕作放棄地解消などをはじめとした農林水産業の分野」は、離島地域(30.7%)、島原半島地域(29.1%)で他の地域より多くなっている。

【性別】

- ・「介護や医療、福祉などの分野」は男性(36.8%)に比べて女性(47.2%)が多い。
- ・「太陽光発電などの再生可能エネルギーの分野」(男性:33.1%、女性:24.4%)、「造船、自動車、電気製品などの製造業の分野」(男性22.8%、女性:14.4%)は女性に比べて男性が多い。

【年代別】

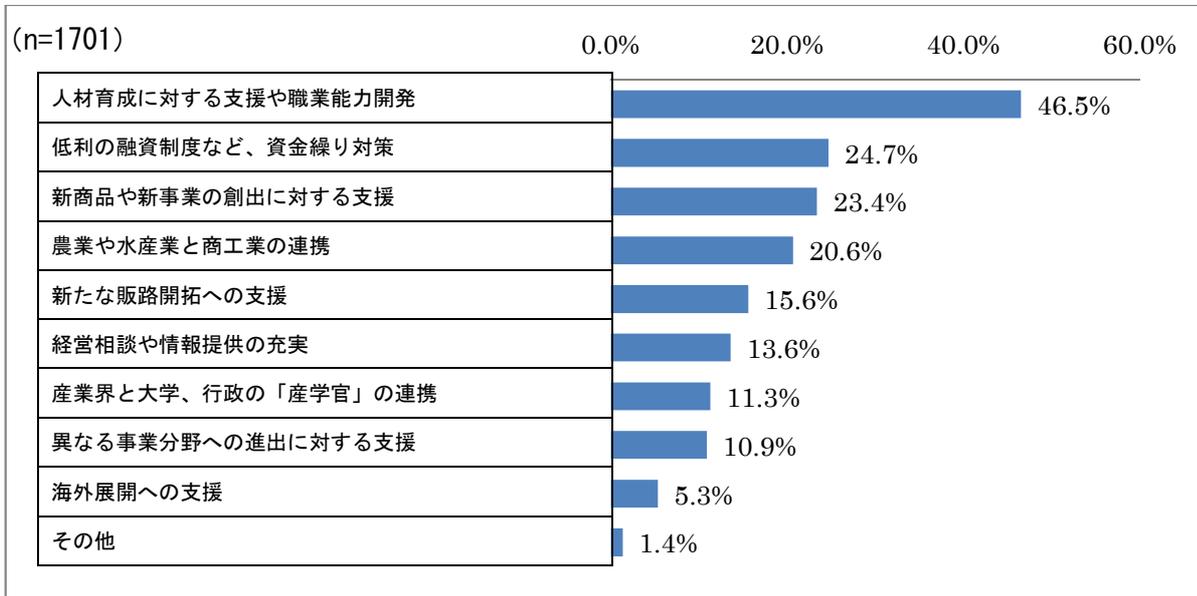
- ・「介護や医療、福祉などの分野」は20歳代(49.4%)が他の年代に比べやや多い。
- ・「耕作放棄地解消などをはじめとした農林水産業の分野」は、60歳代(35.7%)、70歳以上(32.7%)で他の年代より多い。

【職業別】

- ・「介護や医療、福祉などの分野」は、学生(55.2%)が多い。

[問 10]

市場企業を活性化させるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。
2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

・「人材育成に対する支援や職業能力開発」（46.5%）が最も多く、突出している。

【地域別】

・全ての地域で「人材育成に対する支援や職業能力開発」が最多。

・「農業や水産業と商工業の連携」は、島原半島地域（29.6%）、離島地域（32.0%）で他の地域より多くなっている。

【性別】

・男性、女性ともに「人材育成に対する支援や職業能力開発」が最も多く、男性（42.8%）に比べて女性（49.5%）が多い。

【年代別】

・「人材育成に対する支援や職業能力開発」は、20歳代（54.9%）が非常に多い。

・「農業や水産業と商工業の連携」は、年代が高くなるとともに増加傾向となっている。

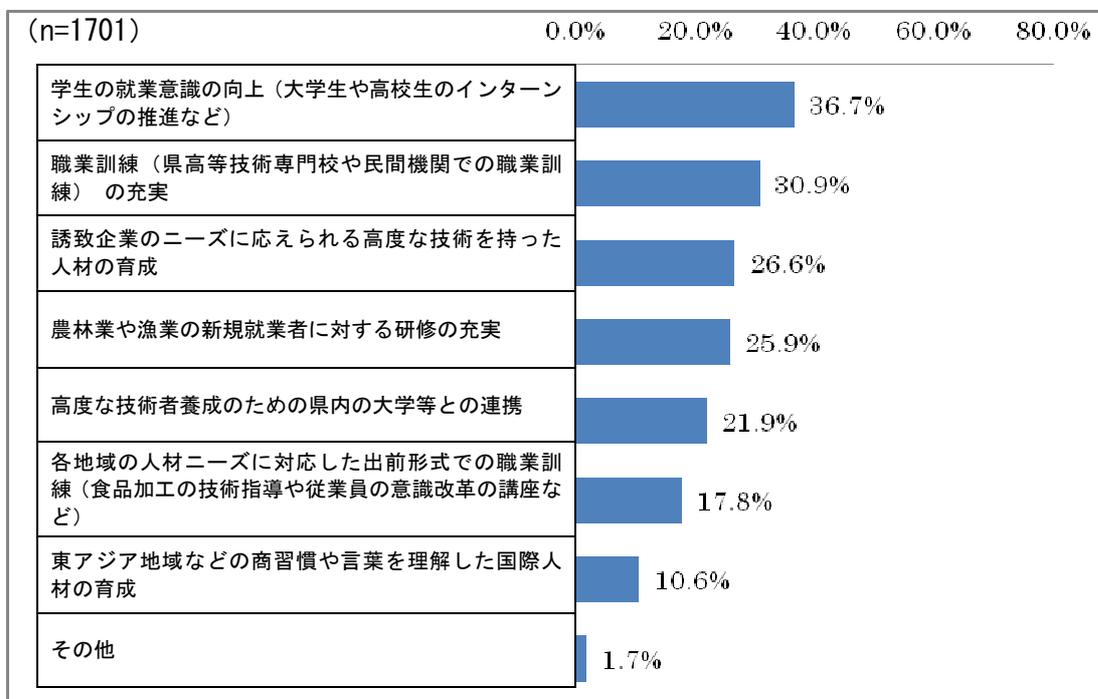
【職業別】

・「人材育成に対する支援や職業能力開発」（65.5%）、「異なる事業分野への進出に対する支援」（20.7%）は学生が多い。

・「農業や水産業と商工業の連携」（自営業主：25.3%、家族従業者：31.4%）、「低利の融資制度など、資金繰り対策」（自営業主：33.1%、家族従業者：39.2%）は、自営業主、家族従業者が多い。

[問 11]

県内の産業を支える人材を育成するために、今後、県はどのような支援に力を入れていくべきだと思いますか。2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

・「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」（36.7%）が最も多く、次いで、「職業訓練（県高等技術専門校や民間機関での職業訓練）の充実」（30.9%）となった。

【地域別】

・離島地域を除く全ての地域で「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」が最も多く、離島地域では「職業訓練（県高等技術専門校や民間機関での職業訓練）の充実」（34.6%）が最も多い。
 ・「農林業や漁業の新規就業者に対する研修の充実」は、離島地域（31.4%）、島原半島地域（30.7%）が他の地域より多い。

【性別】

・「高度な技術者養成のための県内の大学等との連携」（男性：25.3%、女性：19.3%）や「誘致企業のニーズに応えられる高度な技術を持った人材の育成」（男性：29.6%、女性：24.4%）では、女性に比べて男性が多い。

【年代別】

・「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」は、年代が高くなるとともに減少傾向である。
 ・「農林業や漁業の新規就業者に対する研修の充実」は、60歳代以上で多くなっている。

【職業別】

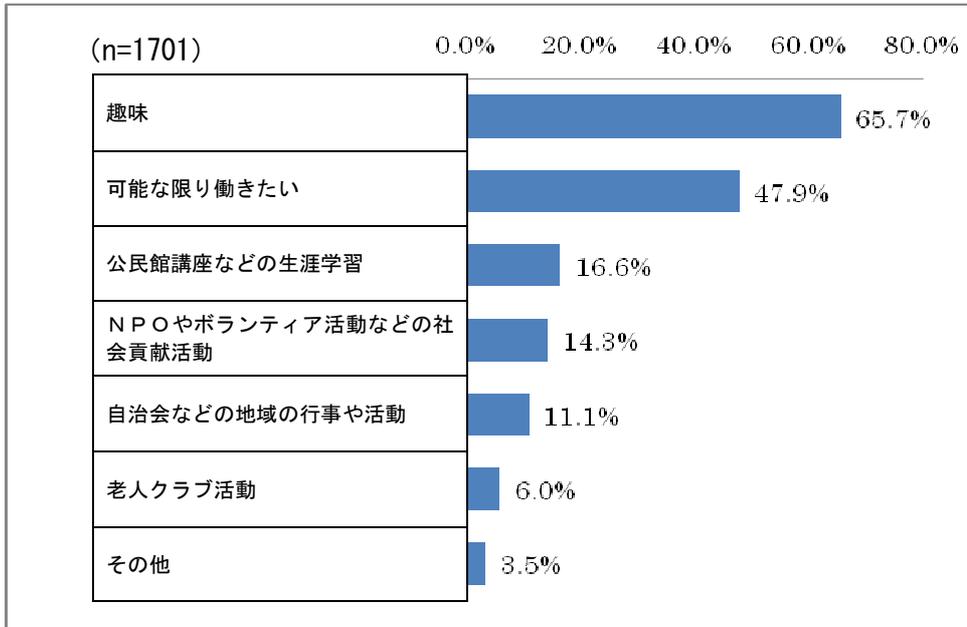
・「学生の就業意識の向上（大学生や高校生のインターンシップの推進など）」や「高度な技術者養成のための県内の大学等との連携」は、学生が多くなっている。
 ・「農林業や漁業の新規就業者に対する研修の充実」は、自営業主（38.6%）が多い。

【人材の育成・活用について】

[問 13]

あなたが65歳以降の高齢期を迎えたときに行いたいことは何ですか。
2つまで○印をつけてください。

(65歳以上の方は、現在行いたいことに○印をつけてください。)



【分析結果】

【全体】

- ・「趣味」(65.7%)が最も多く、次いで「可能な限り働きたい」(47.9%)となった。

【地域別】

- ・「趣味」は、離島地域(58.8%)で他の地域に比べ少ない。

【性別】

- ・「可能な限り働きたい」は、女性(42.9%)に比べて男性(54.9%)が多い。
- ・「公民館講座などの生涯学習」は、男性(11.4%)に比べて女性(20.8%)が多い。

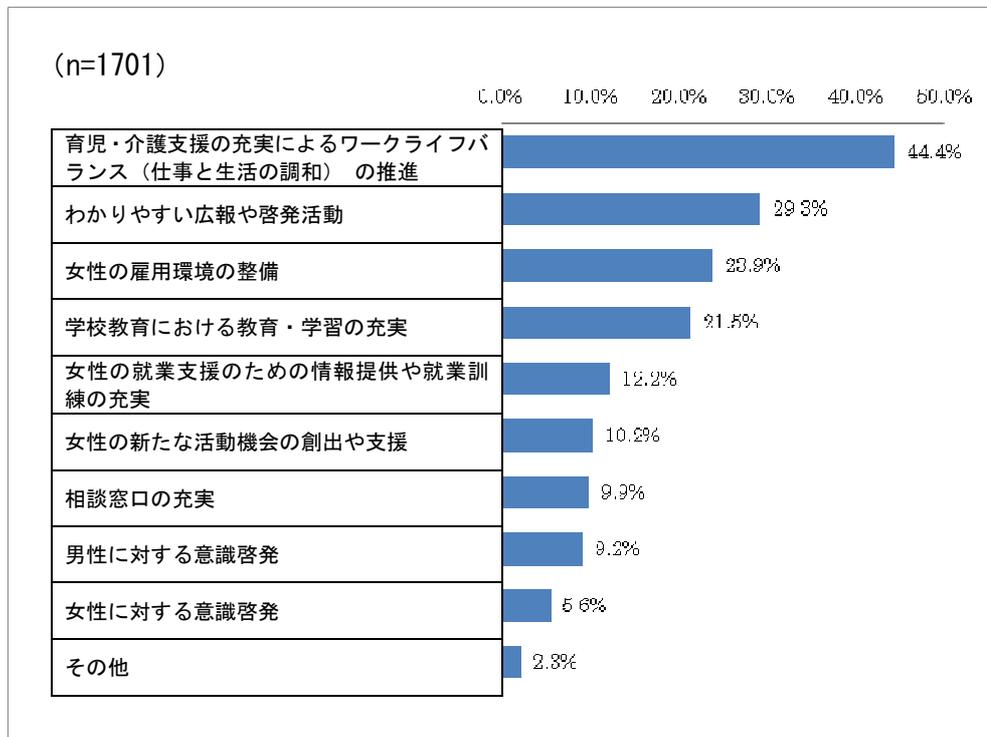
【年代別】

- ・「可能な限り働きたい」は、40歳代(56.1%)、50歳代(57.2%)で多い。

[問 14]

性別にかかわらず、個人の個性と能力を發揮することができる「男女共同参画社会」を実現するためには、どのような取組が必要だと思いますか。

2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「育児・介護支援の充実によるワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」（44.4%）が最も多く、突出している。次いで、「わかりやすい広報や啓発活動」（29.3%）、「女性の雇用環境の整備」（23.9%）となった。

【地域別】

- ・「女性の雇用環境の整備」は、県央地域（29.1%）がやや多い。

【性別】

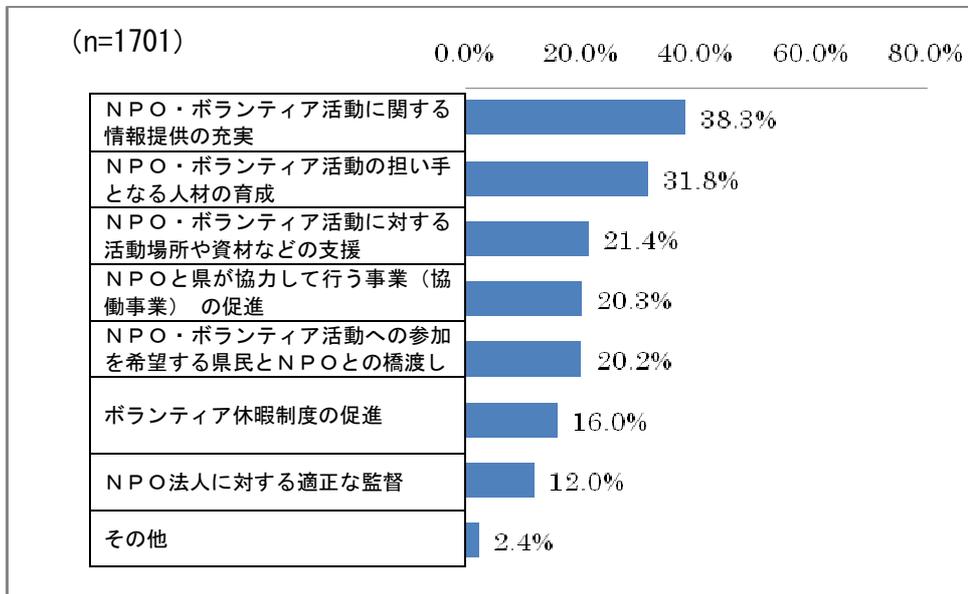
- ・「女性の就業支援のための情報提供や就業訓練の充実」（男性：8.2%、女性：15.6%）、「女性の雇用環境の整備」（男性：20.6%、女性：26.5%）で、女性が男性に比べ多くなった。

【年代別】

- ・「育児・介護支援の充実によるワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」は、20歳代（54.3%）30歳代（57.5%）が多い。
- ・「わかりやすい広報や啓発活動」は、年代が高くなるとともに増加傾向となった。
- ・「女性の雇用環境の整備」、「育児・介護支援の充実によるワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」は年代が高くなるとともに減少傾向となっている。

[問 15]

あなたは、今後、NPO・ボランティア活動が一層活発になるためには、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「NPO・ボランティア活動に関する情報提供の充実」（38.3%）が最も多く、次いで、「NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成」（31.8%）となった。

【地域別】

- ・「NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成」は、島原半島地域（34.6%）、離島地域（35.3%）が多い。

【性別】

- ・「NPO・ボランティア活動に対する活動場所や資材などの支援」は、女性（18.7%）に比べて男性（25.0%）が多い。

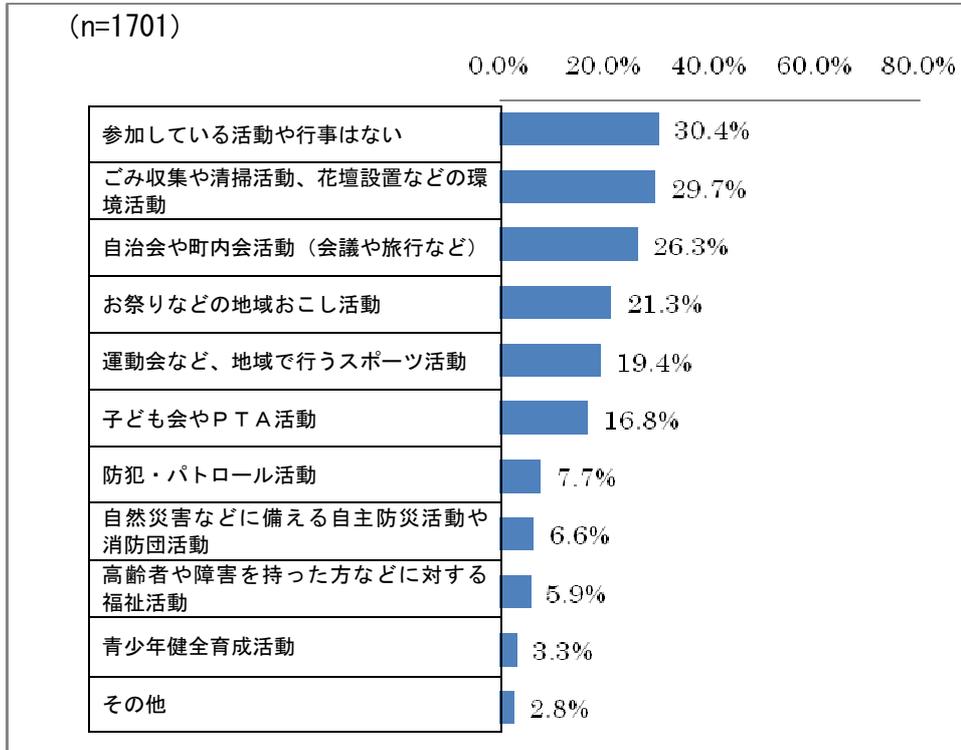
【年代別】

- ・「NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成」は、年代が高くなるとともに、増加傾向である。

【地域コミュニティの活性化について】

[問 16]

地域コミュニティ活動への参加状況についてお聞きします。あなたは、お住まいの地域でどのような活動や行事に参加していますか。該当するものすべてに○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「参加している活動や行事はない」（30.4%）が最も多い。
- ・参加している活動は、「ごみ収集や清掃活動、花壇設置などの環境活動」（29.7%）が最も多く、次いで「自治会や町内会活動（会議や旅行など）」（26.3%）となった。

【地域別】

- ・「参加している活動や行事はない」は、県南地域（37.2%）が最多。
- ・「ごみ収集や清掃活動、花壇設置などの環境活動」は、県南地域（23.1%）、島原半島地域（24.0%）が少ない。
- ・「自治会や町内会活動（会議や旅行など）」は、県南地域（21.0%）、離島地域（24.2%）が少ない。
- ・「お祭りなどの地域おこし活動」は、島原半島地域（33.5%）が他の地域に比べて非常に多い。

【性別】

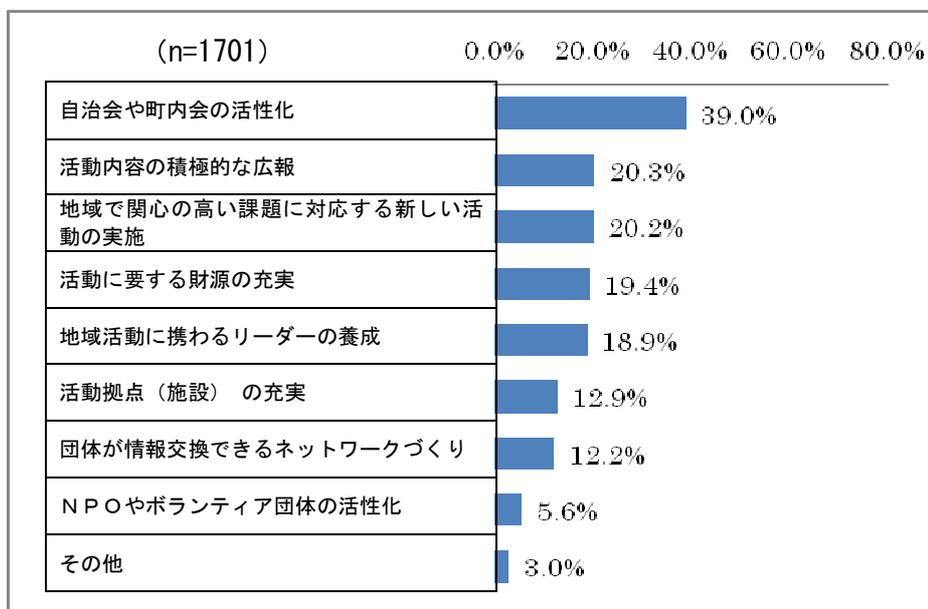
- ・「子ども会やPTA活動」は、男性（13.9%）に比べて女性（19.3%）が多い。
- ・「自然災害などに備える自主防災活動や消防団活動」は、女性（4.4%）に比べて男性（9.5%）が多い。

【年代別】

- ・「参加している活動や行事がない」は、20歳代（54.9%）が最も多く、突出している。

[問 17]

あなたの地域のコミュニティ活動が、さらに活性化するためにはどのようなことが必要だと思いますか。2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「自治会や町内会の活性化」（39.0%）が最も多く、突出している。次いで、「活動内容の積極的な広報」（20.3%）、「地域で関心の高い課題に対応する新しい活動の実施」（20.2%）となった。

【地域別】

- ・「自治会や町内会の活性化」は、島原半島地域（44.7%）が他の地域よりやや多い。
- ・「地域活動に携わるリーダーの養成」は、離島地域（26.1%）が他の地域より多い。

【性別】

- ・「活動に要する財源の充実」は、男性（22.4%）の割合が女性（17.2%）よりも多い。

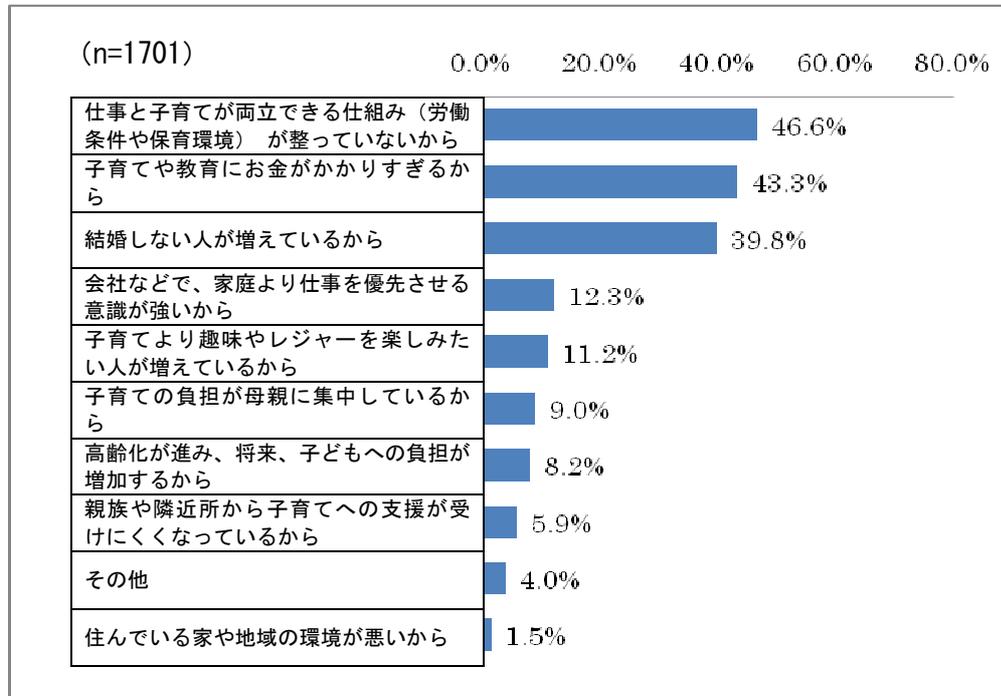
【年代別】

- ・「地域活動に携わるリーダーの養成」は、年代が高くなるとともに、増加傾向となった。
- ・「活動内容の積極的な広報」は、20歳代（26.8%）、30歳代（27.1%）が多い。
- ・「団体が情報交換できるネットワークづくり」は20歳代（20.7%）が多い。

【福祉・保健・医療について】

【問 18】

全国的に少子化が進んでいますが、その理由は何だと思えますか。
2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

・「仕事と子育てが両立できる仕組み（労働条件や保育環境）が整っていないから」（46.6%）が最多、次いで、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（43.3%）、「結婚しない人が増えているから」（39.8%）となった。

【地域別】

・「仕事と子育てが両立できる仕組み（労働条件や保育環境）が整っていないから」は、島原半島地域（39.1%）が少ない。

【性別】

・「子育ての負担が母親に集中しているから」は女性（11.4%）が男性（6.3%）よりも多い。

【年代別】

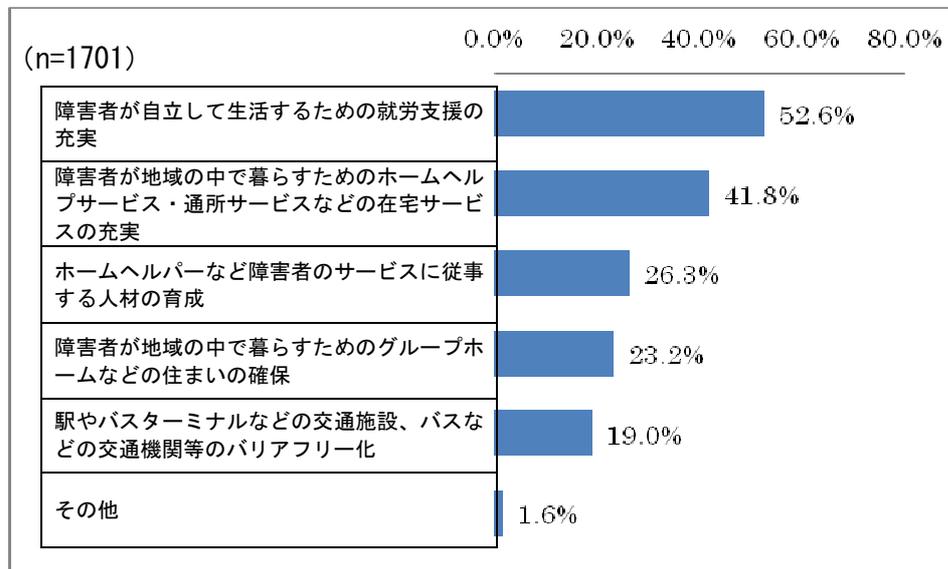
・「仕事と子育てが両立できる仕組み（労働条件や保育環境）が整っていないから」は、20～30歳代で5割を超え、年代が高くなるとともに減少傾向である。

【その他】

・「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は、既婚者（46.3%）や子どもがいる人（46.5%）で多い。

[問 19]

あなたは、今後、障害者の福祉の充実のためには、以下の施策（事業）の中でどれに力を入れていくべきだと思いますか。2つまで○印をつけください。



【分析結果】

【全体】

- ・「障害者が自立して生活するための就労支援の充実」（52.6%）が最も多く、次いで、「障害者が地域の中で暮らすためのホームヘルプサービス・通所サービスなどの在宅サービスの充実」（41.8%）となった。

【地域別】

- ・「障害者が自立して生活するための就労支援の充実」は、島原半島地域（44.1%）が少ない。
- ・「駅やバスターミナルなどの交通施設、バスなどの交通機関等のバリアフリー化」は、県南地域（23.3%）がやや多い。

【性別】

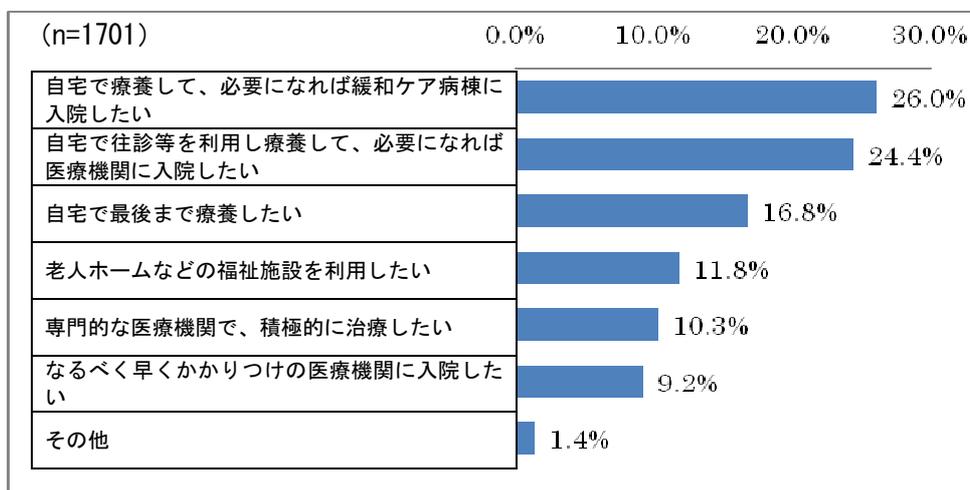
- ・男性・女性ともに全体の結果と同様の傾向であり、性別による特徴は見られない。

【年代別】

- ・「駅やバスターミナルなどの交通施設、バスなどの交通機関等のバリアフリー化」は、20～30歳代が多い。

[問 20]

超高齢社会を迎え、病院・診療所における医療のみならず住み慣れた家や施設で医療を受ける「在宅医療・療養」の推進が必要とされています。あなたは、終末期（人生で死を迎える間際の時期）の療養場所について、どのようにお考えですか。該当するものに1つ○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

・「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」(26.0%)が最も多く、次いで、「自宅で往診等を利用し療養して、必要になれば医療機関に入院したい」(24.4%)となった。

【地域別】

・離島地域で、「自宅で往診等を利用し療養して、必要になれば医療機関に入院したい」(30.1%)が最多、次いで、「老人ホームなどの福祉施設を利用したい」(17.0%)となった。他の地域に比べ、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」(15.7%)が少ない。

【性別】

・「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」(男性：22.6%、女性：28.6%)、「老人ホームなどの福祉施設を利用したい」(男性：9.8%、女性：13.5%)は、男性に比べ女性が多い。
 ・「自宅で最後まで療養したい」は、女性(12.2%)に比べ男性(22.0%)が非常に多い。

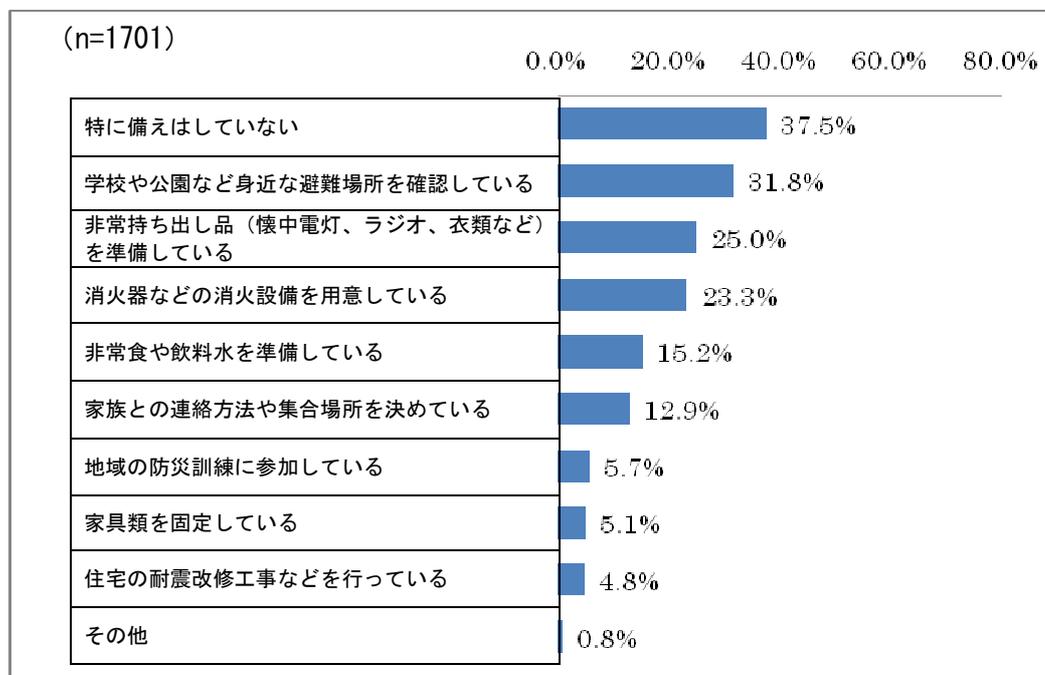
【年代別】

・「自宅で往診等を利用し療養して、必要になれば医療機関に入院したい」は、年代が高くなるとともに、減少傾向にある。
 ・「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」は、30歳代(33.3%)が最多。

【防災対策について】

【問 21】

地震や風水害などの自然災害に備えて、あなたの家で行っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

・防災対策を行っている家では、「学校や公園など身近な避難場所を確認している」（31.8%）、「非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、衣類など）を準備している」（25.0%）、「消火器などの消火設備を用意している」（23.3%）が多い。

【地域別】

・島原半島地域では、「消火器などの消火設備を用意している」（44.1%）をはじめ、「家具類を固定している」（10.1%）、「地域の防災訓練に参加している」（11.7%）が他の地域より多く、一方、「特に備えはしていない」（30.7%）は最も少ない。

【性別】

・「特に備えはしていない」は女性（35.4%）に比べて男性（40.4%）が多い。

【年代別】

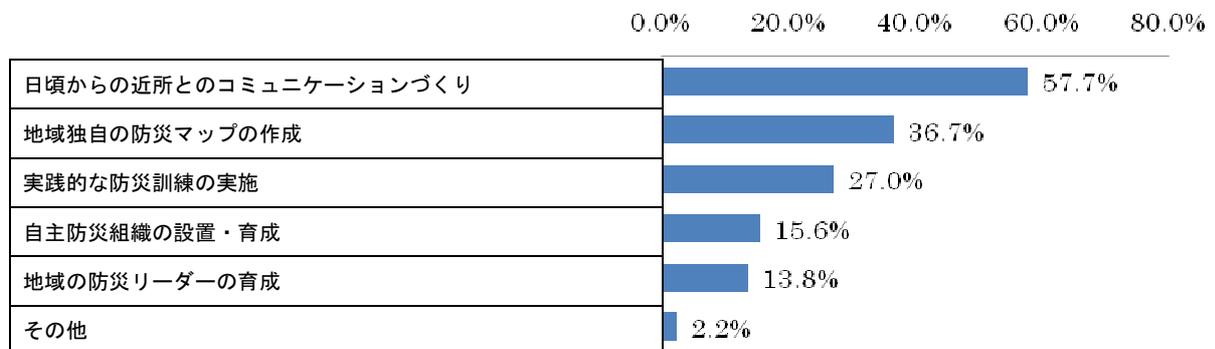
・「特に備えはしていない」は、20歳代（53.7%）が最多で、年代が高くなるとともに減少傾向となった。
・「非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、衣類など）を準備している」や「消火器などの消火設備を用意している」で、年代が高くなるとともに増加傾向となった。

[問 22]

地域の自主防災力を高めるためには、何が最も重要だと思いますか。

2つまで○印をつけてください。

(n=1701)



【分析結果】

【全体】

- ・「日頃からの近所とのコミュニケーションづくり」(57.7%)が最も多く、突出している。次いで、「地域独自の防災マップの作成」(36.7%)となった。

【地域別】

- ・「日頃からの近所とのコミュニケーションづくり」は、県南地域(59.8%)、島原半島地域(63.7%)が多い。

【性別】

- ・男性、女性ともに全体と同様の結果となり、性別による特徴は見られない。

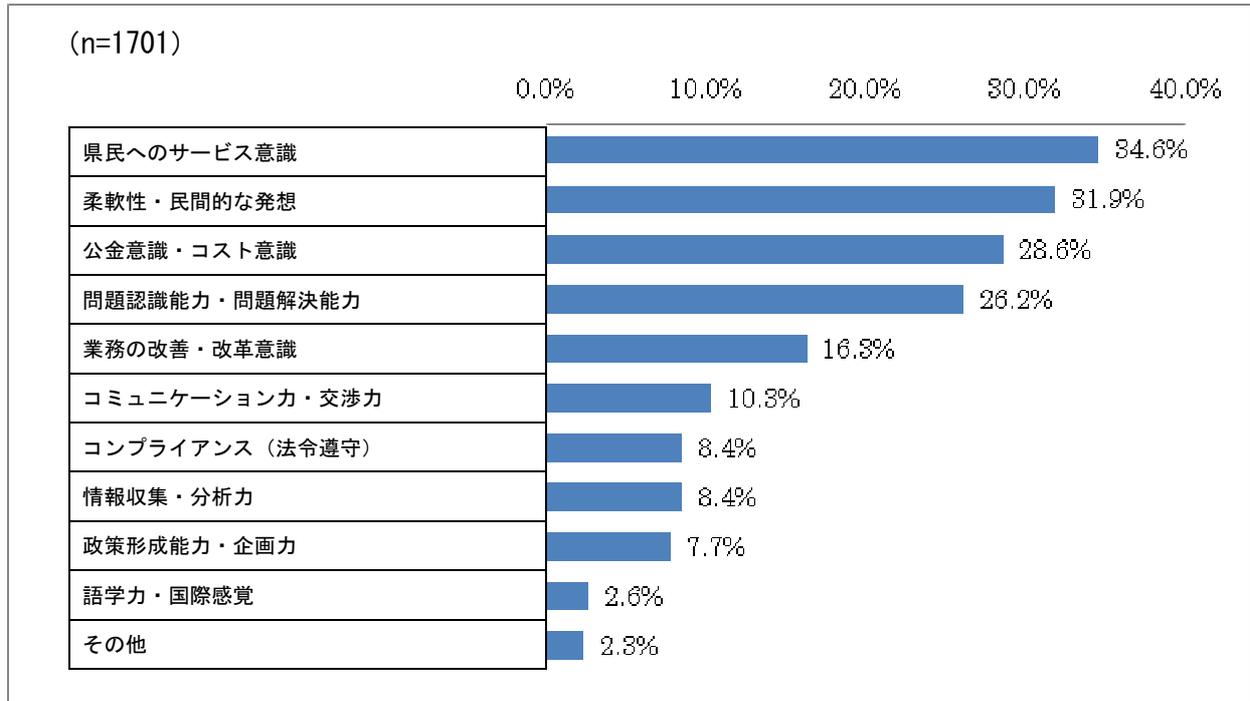
【年代別】

- ・「日頃からの近所とのコミュニケーションづくり」は、年代が高くなるとともに増加傾向にある。

【県の職員について】

[問 23]

県の職員が持つべき意識や能力の中で、どれが重要だと思いますか。
2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

・「県民へのサービス意識」（34.6%）が最多、次いで、「柔軟性・民間的な発想」（31.9%）、「公金意識・コスト意識」（28.6%）となった。

【地域別】

・「公金意識・コスト意識」は、県南地域（33.7%）、県央地域（30.3%）で多く、島原半島地域（24.0%）、離島地域（16.3%）で少ない。

【性別】

・「県民へのサービス意識」は、男性（37.1%）が女性（32.8%）よりもやや多い。

【年代別】

・「県民へのサービス意識」は、70歳以上（45.6%）が非常に多い。
・「コミュニケーション力・交渉力」は、年代が高くなるとともに減少傾向となった。

付録



アンケート調査票



はじめに、ご自身のことについておたずねします。

Q. 現在お住まいの市町はどちらですか。

長崎県() 市・町)

Q. ご出身はどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|------|
| 1 現在お住まいの市町 | 3 県外 |
| 2 (上記以外の) 県内の市町 | |

Q. 長崎県内での居住年数(通算)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 5年未満 | 4 20年以上～30年未満 |
| 2 5年以上～10年未満 | 5 30年以上 |
| 3 10年以上～20年未満 | |

Q. あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

Q. あなたの年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------|----------|
| 1 20～29歳 | 4 50～59歳 |
| 2 30～39歳 | 5 60～69歳 |
| 3 40～49歳 | 6 70歳以上 |

Q. あなたの世帯は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 単身世帯 | 4 三世帯世帯(祖父母・親・子ども) |
| 2 夫婦のみの世帯 | 5 その他 |
| 3 二世帯世帯(親と子ども) | |

Q. あなたは、結婚していらっしゃいますか。

- 1 既婚 2 未婚 3 離別・死別

Q. あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。

- 1 いる 2 いない



お子さんが「いる」と答えた方にお聞きします。
同居しているお子さんで、次にあげる方はいらっしゃいますか。
該当する方すべてに○印をおつけください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 3歳以下 | 4 中学生 |
| 2 4歳以上の未就学児 | 5 高校生 |
| 3 小学生 | 6 短大・各種学校・大学生など |

Q. あなたのご職業（業種）は次のどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 自営業主 | 6 学生 |
| 2 家族従業者 | 7 専業主婦（主夫） |
| 3 会社・団体役員 | 8 無職 |
| 4 正規の従業員・職員 | 9 その他（ ） |
| 5 パート・アルバイト・派遣・嘱託 | |



（1～5を選んだ方へ）
従事している職業は、次のうち、どの分野にあたりますか。
（あてはまるものに1つ○）

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1 農林業 | 6 飲食業 |
| 2 水産業 | 7 サービス業 |
| 3 建築・土木業 | 8 公務（官公庁など） |
| 4 製造業 | 9 在宅ワーク・内職 |
| 5 商業 | 10 その他（ ） |

問1

日常生活についての満足度についてお聞きします。
(それぞれ該当するものに、1つ○印をつけてください。)

	満足度（それぞれ○をつけてください）				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
1 住んでいる家（住宅）	5	4	3	2	1
2 自分および家族の健康	5	4	3	2	1
3 子育て	5	4	3	2	1
4 子どもの教育	5	4	3	2	1
5 今の仕事の内容	5	4	3	2	1
6 収入	5	4	3	2	1
7 老後・将来の生活設計	5	4	3	2	1
8 娯楽・レジャー	5	4	3	2	1
9 教養・文化活動	5	4	3	2	1
10 交際・人間関係	5	4	3	2	1
11 ボランティア活動への参加	5	4	3	2	1
問2 現在の日常生活の総合的な満足度は？	5	4	3	2	1

問3

あなたは、今後も現在の住所で暮らしたいと思いませんか？
(該当するものに、1つ○印をつけてください。)

- 1 今の住所に住み続けたい
- 2 同じ市町の中で別の場所に移りたい
- 3 長崎県内の別の市や町に移りたい
- 4 県外に移りたい
- 5 わからない

問4

あなたの日常生活についてお聞きします。

(1) から (3) のそれぞれの質問にお答え下さい。

(1) 現在、あなたが一番優先していることは何ですか？

(該当するもの1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 仕事 (学生の場合は学習) | 6 ボランティア活動・地域活動 |
| 2 家事 | 7 友人・知人との付き合い |
| 3 子育て | 8 生涯学習 |
| 4 介護 | 9 その他 () |
| 5 趣味 | |

(2) 今後の希望として、あなたが一番優先したいことは何ですか？

(該当するもの1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 仕事 (学生の場合は学習) | 6 ボランティア活動・地域活動 |
| 2 家事 | 7 友人・知人との付き合い |
| 3 子育て | 8 生涯学習 |
| 4 介護 | 9 その他 () |
| 5 趣味 | |

(3) 現在の家族構成において、今の仕事の内容にかかわらず、あなたが理想とする働き方はどのようなものですか？

(該当するもの1つに○)

- 1 残業もあるフルタイムの仕事
- 2 フルタイムだが残業のない仕事
- 3 フルタイムではない短時間の仕事
- 4 自由な時間にできる仕事、家でできる仕事
- 5 家事・育児・介護等に専念したい
- 6 働く必要がない
- 7 その他 ()



問5

県の政策における分野ごとの満足度についてお聞きします。

- ① はじめに、次の1から21までの分野ごとに、あなたが現在感じている【満足度】を1つだけ選んで○印をつけて下さい。
- ② また、そう感じる理由や背景を【取組の内容】から選んで、あてはまるものに3つまで○印をつけて下さい。（○印は1つでも2つでも構いません。）
※「どちらともいえない」を選ばれた場合は、【取組の内容】を選ぶ必要はありません。

① その分野全体としての、あなたの満足度を選んで下さい。

② 左の満足度で、1または2を選んだ場合は、あなたが満足している項目を、3または4を選んだ場合は、あなたが不満に思う項目を選んでください。

記入例

【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
子どもや子育ての支援	1 満足 <input checked="" type="radio"/> 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 保育サービス（病児保育や保育所、幼稚園における延長保育の実施など） <input checked="" type="radio"/> イ ファミリーサポートセンターなど、子どもを一時的に預かる制度 <input checked="" type="radio"/> ウ 地域における相談体制 <input checked="" type="radio"/> エ その他（直接記入してください。）

1, 4 を選んだら右へ

ここから調査開始です。あなたのご意見を率直にお聞かせください。



番号	【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
1	子どもや子育ての支援	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 保育サービス（病児保育や保育所、幼稚園における延長保育の実施など） イ 放課後児童クラブの充実（箇所数増、開設時間の延長など） ウ ファミリーサポートセンター*など、子どもを一時的に預かる制度 エ 地域における相談体制 オ 妊娠や出産、乳幼児医療などに対する助成 カ 育児休業の取得促進など、働き方の見直し キ 男女の出会いの場の創出など、結婚を促す取組 ク その他（ ）

番号	【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
2	教育の充実	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 児童生徒の学力や体力の向上 イ 道徳教育（おもいやりや豊かな心を育む教育） ウ 児童生徒のボランティア・体験活動 エ 障害のある子どもの教育の推進 オ 家庭や地域の教育力の向上 カ 子どもの悩みに対する相談体制 キ 私立学校や専修学校の振興 ク その他（ ）
3	保健・医療の充実	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 身近な医療施設（医院など）の充実 イ 専門的な治療が受けられる病院の充実 ウ 医師や看護職員の確保 エ 救急医療体制（ドクターヘリや救急救命センター*の設置など） オ 健康診断事業 カ 医療相談窓口 キ その他（ ）
4	福祉の充実	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 要介護高齢者への支援や介護予防の取組 イ 障害のある人の自立支援や社会参加への支援 ウ 生活困窮者などへの支援 エ 不登校やニート*、ひきこもりに対する支援 オ ひとり親家庭への支援 カ 児童虐待やDV*の防止対策 キ その他（ ）
5	人にやさしい社会づくり	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 人権に関する教育や啓発活動 イ 男女共同参画の推進 ウ 悪質商法などによる消費者トラブルの防止対策 エ NPO*・ボランティア活動の促進 オ 自殺対策 カ 公共的施設や道路、交通機関などのバリアフリー*化 キ その他（ ）

番号	【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
6	将来を担う 人材育成	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 地域づくりを担うリーダーの育成 イ ものづくり産業を担う人材の育成 ウ 農林業や漁業の担い手となる人材の確保 エ 福祉に携わる人材の確保 オ 観光に携わる人材の育成 カ NPO・ボランティア活動の担い手となる 人材の育成 キ その他 ()
7	物産の振興	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 商談会や物産展の開催、PR活動による 県産品のブランド化 イ 県外への販路拡大 ウ 輸出の促進 エ 地産地消（地域でとれた食材を地域内 で消費する取組）の推進 オ 優れた商品の発掘や付加価値の高い 商品の開発 カ その他 ()
8	農林水産業 の振興	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 後継者や新規就業者の確保・育成 イ 農業生産量の増大（規模拡大や新たな 品種の導入など） ウ 生産コストの低減化 エ 農地や農林道など、生産基盤の整備 オ 耕作放棄地 [*] などの未利用農地の有効活用 カ 森林の整備・保全 キ 木材の生産・流通体制の整備 ク 収益性の高い養殖業の育成 ケ 水産資源の維持・回復（稚魚・稚貝の 放流や漁礁設置など） コ その他 ()

番号	【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
9	商工業の振興	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 商業や商店街の活性化 イ 県内の企業の取引拡大や販路拡大 ウ 県外の企業を誘致するための支援制度や誘致活動 エ 起業*を目指す方への支援やベンチャー企業の育成 オ 産学官協働による研究開発や新事業の創出 カ その他 ()
10	雇用対策	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 地場企業に対する支援 イ 企業誘致の推進 ウ 高度な技術や技能を有する人材の育成 エ インターンシップ*や職業体験など就学生への支援 オ 新規学卒者・若年者に対する就職支援 カ 障害者に対する就労支援 キ 中高年・高齢者に対する就労支援 ク 求人・求職情報等の提供 ケ その他 ()
11	観光の振興	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 本県ならではの自然、歴史、文化、食材などを活かした多様な旅行商品づくり イ 修学旅行の誘致 ウ 本県を舞台とした映画やテレビ番組のロケ誘致 エ 会議や講演会などのコンベンション*の誘致 オ クルーズ客船の誘致 カ 観光産業従事者等の「おもてなし」の向上 キ 観光情報の発信 ク 観光案内板の外国語標記など、外国人が便利に旅行できる観光地づくり ケ 農林漁業などの体験型観光の推進 コ その他 ()

番号	【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
12	景観まちづくり	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 歴史的建造物や伝統的まちなみ、産業景観などの保全・活用 イ 農村・漁村など、生活文化の薫る景観の保全・活用 ウ 地域の景観資源の発掘・活用 エ 看板や広告物の規制 オ 道路、河川など公共施設の景観配慮 カ 建物や工作物の景観配慮基準の整備 キ 無電柱化の推進 ク その他 ()
13	国際交流の推進	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 中国・韓国など東アジア諸国との友好交流 イ オランダなど、本県とゆかりの深い国々との友好交流 ウ 留学生の受入促進 エ 中学や高校での語学教育の充実 オ 国際社会で活躍できる人材の育成 カ 被爆県としての国際貢献・平和貢献 キ その他 ()
14	地域発の地域づくり	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 地域コミュニティ [*] の活性化支援 イ 自然や歴史、文化、食材など、それぞれの地域の特徴を活かした地域振興 ウ UIターン [*] の促進 エ 県とNPOの協働による地域づくり オ 高齢者の社会参加による地域づくり カ 女性の活躍による地域づくり キ その他 ()
15	文化・芸術の振興	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 郷土の伝統文化の保存・継承 イ 地域の文化芸術活動への支援 ウ 文化財の保存整備 エ 文化財を活用したまちづくり (イベントの開催など) オ 長崎県美術館や長崎歴史文化博物館を核とした歴史・文化の魅力発信 カ 世界遺産登録に向けた取組 キ その他 ()

番号	【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
16	スポーツの 振興	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会の充実 イ スポーツ施設の整備 ウ 競技力の向上 エ 全国または国際レベルのスポーツ大会誘致 オ スポーツ合宿の誘致 カ Jリーグへの昇格を目指す「V・ファーレン長崎」への支援 キ その他 ()
17	防災対策	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 災害情報や防災情報の発信 イ 学校・病院などの防災拠点の耐震化 ウ 一般住宅の耐震化 エ 自然災害に対する防災工事 オ 防災訓練や避難訓練の実施 カ 消防団員の充実・強化 キ 自主防災組織 [*] の結成支援など、地域防災力の向上に向けた取組 ク その他 ()
18	安全な暮らし づくり	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 防犯に関する情報の提供 イ 自主防犯活動への支援 ウ 犯罪の起こりにくい環境の整備 エ 交通安全運動等による啓発の推進 オ 適正な食品表示 カ 安全・安心な食品や食材の供給 キ 食に関する情報提供 ク その他 ()
19	環境対策	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 地球温暖化防止や省エネなどに対する意識の向上 イ 再生可能エネルギーの普及促進 (太陽光発電や風力発電など) ウ 廃棄物の再利用・再資源化 エ ごみの不法投棄防止対策 オ 生活排水処理施設の整備 (下水道や浄化槽など) カ 身近な山や海などの自然環境保全 キ 国立公園などの自然公園におけるトイレ・歩道などの整備 ク その他 ()

番号	【分野】	【満足度】 (1つに○)	【取組の内容】 (あてはまるものに3つまで○)
20	公共交通機関 の充実	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 身近な鉄道 (JR、私鉄) イ 身近なバス路線 ウ 県外との交流促進のための鉄道や高速バス エ 航空路線 オ 離島航路 カ 交通事業者の経営安定のための支援 キ その他 ()
21	公共施設 の整備	1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 どちらともいえない	ア 道路の整備 イ 自然災害防止 (河川・海岸保全、 がけ崩れ対策など) ウ ダムの整備 (水資源の安定的な確保など) エ 港湾の整備 (防波堤、岸壁、旅客 ターミナルなど) オ 漁港の整備 カ 農地の整備 (土地改良など) キ 住環境の整備 (下水道・公園・公営 住宅など) ク インターネットや携帯電話などの情報 通信網の整備 ケ これまで整備してきた公共施設の良好な 維持管理 コ その他 ()

問6

県の政策の総合的な満足度をお聞かせ下さい。
(問5の1～21の分野の総合評価)

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
5	4	3	2	1

問7

あなたは、今後、県がどのような分野に力を入れて行くべきだと思いますか？
 (該当するもの5つまで数字に○印をつけてください。)

	【分野】	【内容】(主な取り組み)
1	子どもや子育ての支援	地域ぐるみでの支援体制、保育の充実、子育て相談、子どもの健全育成 など
2	教育の充実	学力向上、命の大切さなどの道徳教育 など
3	保健・医療の充実	医療体制・施設の充実、健康づくりの支援、各種サービスの充実 など
4	福祉の充実	高齢者や障害者、その他支援を必要とする人が安心して暮らせる環境づくり など
5	人にやさしい社会づくり	男女共同参画、バリアフリー、人権教育・啓発、消費生活の安全・安心、NPO、ボランティア など
6	将来を担う人材育成	地域を支えるリーダーの育成、各産業の人材育成 など
7	物産の振興	農林水産品等のブランド化、県産品の販路拡大 など
8	農林水産業の振興	農林水産業の生産性・収益性の向上、農地・森林などの整備、漁港・漁場の整備 など
9	商工業の振興	地場企業の支援、企業誘致、起業・創業支援、商店街の活性化 など
10	雇用対策	企業誘致等による雇用の拡大、就職情報の提供、職業訓練 など
11	観光の振興	自然、歴史文化などを活かした旅行商品や観光地づくり、受入体制の整備、PR 強化 など
12	景観まちづくり	景観まちづくりの推進、自然景観・文化的景観の保全・創出 など
13	国際交流の推進	海外との友好交流、被爆県としての国際貢献・平和貢献 など
14	地域発の地域づくり	地域コミュニティの活性化、交流人口の拡大、UI ターンの促進、県とNPOとの協働事業 など
15	文化・芸術の振興	文化に触れる機会の充実、伝統文化・芸能の継承 など
16	スポーツの振興	スポーツに親しめる地域の環境づくり など
17	防災対策	自然災害の防止、建築物の耐震化、防災都市づくり など
18	安全な暮らしづくり	犯罪防止、治安対策、食の安全・安心 など
19	環境対策	地球温暖化防止、再生可能エネルギーの普及促進、水質の保全、自然公園の整備、ごみ対策 など
20	公共交通機関の充実	新幹線やJR 在来線、私鉄、バス、航路、航空路線の充実 など
21	公共施設の整備	道路、公園、港湾、河川、ダムなどの公共施設の整備、補修 など

問8

県内で就職してもらうために、新卒者や若者向けの雇用対策として、今後、県ではどのような取り組みが必要だと思いますか。2つまで○印をつけてください。

- 1 求職相談体制の強化
- 2 求人情報の提供
- 3 職業訓練の場の提供
- 4 学生時代からの職場体験などの実施
- 5 若者が就職したくなるような魅力ある企業の誘致
- 6 県内企業の雇用を維持（拡大）するための企業への助成
- 7 その他（)

問9

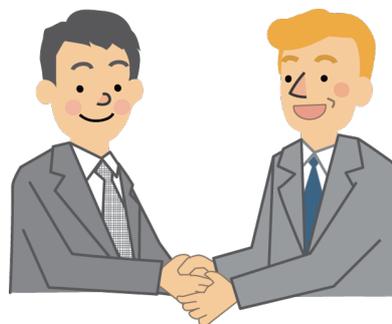
今後、本県において、新しい雇用を生み出す分野として期待される分野はどの分野だと思いますか。2つまで○印をつけてください。

- 1 介護や医療、福祉などの分野
- 2 環境、地球温暖化防止などの分野
- 3 太陽光発電などの再生可能エネルギーの分野
- 4 耕作放棄地解消などをはじめとした農林水産業の分野
- 5 新しい施工技術の活用をはじめとした土木、建築の分野
- 6 造船、自動車、電気製品などの製造業の分野
- 7 コンピューター関連などのIT^{*}、通信の分野
- 8 ブランド商品の開発などの商業、物産の分野
- 9 観光ガイドなどの観光、交流の分野
- 10 その他（)

問10

地場企業を活性化させるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。2つまで○印をつけてください。

- 1 人材育成に対する支援や職業能力開発
- 2 経営相談や情報提供の充実
- 3 異なる事業分野への進出に対する支援
- 4 新商品や新事業の創出に対する支援
- 5 新たな販路開拓への支援
- 6 海外展開への支援
- 7 産業界と大学、行政の「産学官」の連携
- 8 農業や水産業と商工業の連携
- 9 低利の融資制度など、資金繰り対策
- 10 その他（)



問 13

あなたが65歳以降の高齢期を迎えたときに行いたいことは何ですか。
2つまで○印をつけてください。
(65歳以上の方は、現在行いたいことに○印をつけてください。)

- 1 可能な限り働きたい
- 2 NPOやボランティア活動などの社会貢献活動
- 3 自治会などの地域の行事や活動
- 4 老人クラブ活動
- 5 公民館講座などの生涯学習
- 6 趣味
- 7 その他 ()



問 14

性別にかかわらず、個人の個性と能力を発揮することができる「男女共同参画社会」を実現するためには、どのような取組が必要だと思いますか。
2つまで○印をつけてください。

- 1 わかりやすい広報や啓発活動
- 2 男性に対する意識啓発
- 3 女性に対する意識啓発
- 4 学校教育における教育・学習の充実
- 5 女性の新たな活動機会の創出や支援
- 6 女性の就業支援のための情報提供や就業訓練の充実
- 7 女性の雇用環境の整備
- 8 育児・介護支援の充実によるワークライフバランス*（仕事と生活の調和）の推進
- 9 相談窓口の充実
- 10 その他 ()

問 15

あなたは、今後、NPO・ボランティア活動が一層活発になるためには、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。2つまで○印をつけてください。

- 1 NPO・ボランティア活動に関する情報提供の充実
- 2 NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成
- 3 NPO・ボランティア活動に対する活動場所や資材などの支援
- 4 NPO・ボランティア活動への参加を希望する県民とNPOとの橋渡し
- 5 ボランティア休暇制度の促進
- 6 NPO法人に対する適正な監督
- 7 NPOと県が協力して行う事業（協働事業）の促進
- 8 その他 ()

問 18

全国的に少子化が進んでいますが、その理由は何だと思えますか。
2つまで○印をつけてください。

- 1 仕事と子育てが両立できる仕組み（労働条件や保育環境）が整っていないから
- 2 親族や隣近所から子育てへの支援が受けにくくなっているから
- 3 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 4 子育ての負担が母親に集中しているから
- 5 会社などで、家庭より仕事を優先させる意識が強いから
- 6 結婚しない人が増えているから
- 7 住んでいる家や地域の環境が悪いから
- 8 高齢化が進み、将来、子どもへの負担が増加するから
- 9 子育てより趣味やレジャーを楽しみたい人が増えているから
- 10 その他（ ）

問 19

あなたは、今後、障害者の福祉の充実のためには、以下の施策（事業）の中で、
どれに力を入れていくべきだと思えますか。2つまで○印をつけてください。

- 1 障害者が地域の中で暮らすためのホームヘルプサービス・通所サービスなどの
在宅サービスの充実
- 2 障害者が地域の中で暮らすためのグループホーム^{*}などの住まいの確保
- 3 障害者が自立して生活するための就労支援の充実
- 4 ホームヘルパーなど障害者のサービスに従事する人材の育成
- 5 駅やバスターミナルなどの交通施設、バスなどの交通機関等のバリアフリー化
- 6 その他（ ）

問 20

超高齢社会を迎え、病院・診療所における医療のみならず住み慣れた家や
施設で医療を受ける「在宅医療・療養」の推進が必要とされています。
あなたは、終末期（人生で死を迎える間際の時期）の療養場所について、
どのようにお考えですか。
該当するものに1つ○印をつけてください。

- 1 なるべく早くかかりつけの医療機関に入院したい
- 2 自宅で往診等を利用し療養して、必要になれば医療機関に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟^{*}に入院したい
- 4 自宅で最後まで療養したい
- 5 専門的な医療機関で、積極的に治療したい
- 6 老人ホームなどの福祉施設を利用したい
- 7 その他（ ）

問 23

県の職員が持つべき意識や能力の中で、どれが重要だと思いますか。
2つまで○印をつけてください。

- 1 県民へのサービス意識
- 2 公金意識・コスト意識
- 3 柔軟性・民間的な発想
- 4 コンプライアンス* (法令遵守)
- 5 コミュニケーション力・交渉力
- 6 情報収集・分析力
- 7 政策形成能力・企画力
- 8 問題認識能力・問題解決能力
- 9 業務の改善・改革意識
- 10 語学力・国際感覚
- 11 その他 ()



以上で調査項目は終了です。ご協力ありがとうございました。